

# ViewLight<sup>®</sup>

ビューライト

## NP3250J/NP2250J/NP1250J NP3250WJ

### 取扱説明書

本機を安全にお使いいただくために  
ご使用前に必ずお読みください



1. 添付品や名称を —● 1  
確認する
2. 設置と接続 —● 2
3. 映像を投写する —● 3  
(基本操作)
4. 便利な機能 —● 4
5. ビューワを使う —● 5
6. オンスクリーン —● 6  
メニュー
7. 本体のお手入れ / —● 7  
ランプの交換
8. 別売のレンズ —● 8  
ユニットを使用する
9. 付録 —● 9

## はじめに

このたびは、NEC データプロジェクター NP3250J/NP2250J/NP1250J/NP3250WJ（以降「NP3250J/NP2250J/NP1250J/NP3250WJ 本体」を「本機」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品は、パソコンや DVD プレーヤなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。本書は、NP3250J/NP2250J/NP1250J/NP3250WJ 共通の取扱説明書です。NP3250J を主にして説明しています。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

### ※ モデル名について

本機に貼付しているラベルでは、モデル名を「NP3250」、「NP2250」、「NP1250」、または「NP3250W」と表記しています。

取扱説明書では、モデル名を「NP3250J」、「NP2250J」、「NP1250J」、または「NP3250WJ」と末尾に「J」を付けて表記しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。



### ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。




# 本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

## 絵表示の例

	△ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

# 警告

## 本機は日本国内専用です



国内では交流 100 ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流 100 ボルトで使用してください。  
添付の電源コードは国内使用専用です。日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。  
詳細に関しては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

## 電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
    - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
    - ・ コードの上に重い物をのせない
    - ・ コードをプロジェクターの下敷きにしな
    - い
    - ・ コードの上を敷物などで覆わない
    - ・ コードを傷つけない、加工しない
    - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
    - ・ コードを加熱しない
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

## 故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なおいや音がする場合やプロジェクターを落したり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。

## 水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるようなおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
    - ・ 雨天や降雪中、海岸や水辺で使用しない
    - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
    - ・ プロジェクターの上に花瓶、植木鉢を置かない
    - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
- 万一プロジェクターの内部に水などがいった場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

## 次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
  - ・ 暖房の近くや振動の多い所
  - ・ 湿気やほこりの多い場所
  - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
  - ・ 調理台や加湿器のそば



# 警告

本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください

## 内部に物を入れない



異物挿入禁止

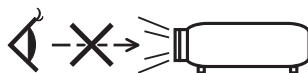
- プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

## プロジェクターのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



## キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

## ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約 1 時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。詳細は [175 ページ](#) をご覧ください。

## 動作中にレンズにふたをしない



- 動作中にレンズにふたをしないでください。ふたの部分が高温になり変形します。
- 動作中にレンズの前に物を置かないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



## 無線 LAN ユニットの使用について



- 無線 LAN ユニットは、医療機器、原子力設備／機器、航空宇宙機器、輸送設備／機器など人命に関する設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されていませんので、使用しないでください。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで無線 LAN ユニットを使用しないでください。
- 医療機器の近くで無線 LAN ユニットを使用しないでください。医療機器に電磁障害を及ぼし生命の危険があります。

## 警告

### 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

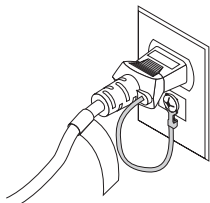
### 天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

## 注意

### 機器のアースは確実にとってください



- 本機の電源プラグはアースつき2芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。詳細は [43ページ](#) をご覧ください。

### 通風孔をふさがない



- プロジェクターの通風孔をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として10cm以上）あけてください。

### ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

### 移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

### 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 持ち運びのときレンズ部分に手をかけない



- プロジェクターを持ち運ぶとき、レンズ部分に手をかけないでください。フォーカスリングが回転し、プロジェクターが落下してけがをするおそれがあります。

# ⚠ 注意

## 投写中および投写終了直後は排気口をさわらない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があります、やけどの原因となることがあります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



## 過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない



- 本機の LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

## 電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
  - ・ 指定以外の電池は使用しない
  - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
  - ・ 電池を入れるときは、極性（+と-の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

## 点検・本体内部の清掃について



内部の清掃は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気が多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

## レーザーポインタのレーザー光源をのぞかない



レーザー光源をのぞかない

- レーザーポインタのレーザー光源をのぞき込まないでください。また、レーザー光を人に向けしないでください。レーザー光が目にあたると目を痛める原因となることがあります。お子様には使用させないでください。

## 電源コードはコンセントに接続する



- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

## お手入れの際は電源コードを抜く



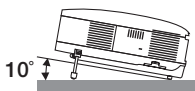
電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

# お願い

## 性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。  
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。  
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。  
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 本機を傾けて使用する場合は、チルトフットの傾き範囲以内（ $0 \sim 10^\circ$ ）にしてください。チルトフットの範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
  - ・たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（5時間／日または260日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめNEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
  - ・本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、「ファンモード」を「高速」にしてください。（▶167ページ）
  - ・パソコンなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄が画面に若干残りますが、しばらくすると消えます。これは液晶パネルの特性上発生するもので、故障ではありません。パソコン側でスクリーンセーバーをお使いになることをおすすめします。
- 標高約1600m以上の場所では本機を使用する場合は、必ず「ファンモード」を「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。  
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。  
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて  
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。  
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
  - ・本体はキャリングハンドルを持って移動してください。その際キャリングハンドルを必ずロックして固定してください。  
キャリングハンドルをロックする手順は「本機を移動する際の注意」（▶21ページ）をご覧ください。
  - ・レンズに傷が付かないように必ずレンズキャップを取り付けてください。
  - ・振り回したりして、プロジェクター本体に強い衝撃を与えないでください。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。

投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手を触れないでください。

また、本機を使用されないときは、添付のレンズキャップをかぶせておいてください。

● **廃棄について**

本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

## 別売のレンズユニット取り扱い上の注意

- 別売のレンズユニットを装着しているときに本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してから行ってください。移動する際にレンズユニットに衝撃を与えると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。

## ランプ取り扱い上の注意

- プロジェクターの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入／切の繰り返しも、輝度低下を早めます。
- ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記載してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。

なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。

- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ず NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

## 電源プラグを抜く際の注意

- ダイレクトパワーオフは、本機の電源を入れたあと（投写開始後）20分以上経過してから行ってください。
- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、本機の主電源スイッチ、テーブルタップのスイッチ、ブレーカなどを利用してください。
- ランプ点灯後約 1 分間（電源インジケータが緑色で点滅中）は AC 電源を切断しないでください。ランプ交換時間（目安）\*が短くなります。

※保証時間ではありません。

- 本機の電源を切ったあとの冷却ファンの回転中は、電源プラグをコンセントから抜くことができます。

電源を切ったあとの冷却ファン回転中に、電源プラグをコンセントから抜くと、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

## 電波に関する注意

- 添付の無線LANユニット（以降「本ユニット」と省略します）は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、本ユニットを使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本ユニットは、日本国内でのみ使用できます。
- 本ユニットは、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - ・ 分解／改造すること。
  - ・ 本ユニットに貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz帯の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
  - ・ 本ユニットを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  - ・ 万一本ユニットと「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、すみやかに本ユニットの使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
  - ・ その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、NECプロジェクター・カスタマサポートセンター（☎裏表紙）にお問い合わせください。
- 本ユニットは5GHz帯域の電波を使用しています。5.2/5.3/5.6GHz帯域の電波は同時に出力されるため、屋外での使用は電波法により禁じられています。
- IEEE802.11aで使用するチャンネルは、36/40/44/48ch (W52) と、52/56/60/64ch (W53) と、100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch (W56) です。本ユニットは、従来のIEEE802.11aで使用する34/38/42/46ch (J52) の装置とIEEE802.11aモードでの通信はできません。



・ W52 (5.2GHz帯：36/40/44/48ch)、W53 (5.3GHz帯：52/56/60/64ch) が利用できます。  
 W56 (5.6GHz帯：100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) が利用できます。

- W53 (52/56/60/64ch) またはW56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
  - ・ 各チャンネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
  - ・ 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OF-DM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



**2.4** : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す。  
**DS-OF** : DS-SS 方式および OF-DM 方式を示す。  
**4** : 想定される与干渉距離が 40m 以下であることを示す。  
**— — —** : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。



## 無線 LAN 製品で使用時におけるセキュリティに関する注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- ・ 通信内容を盗み見られる
  - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、  
IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報  
メールの内容  
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- ・ 不正に侵入される
  - 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、  
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）  
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）  
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）  
コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）  
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

## 投写する映像の著作権について

営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

次の機能を使用する場合はご注意ください。

アスペクト、スクリーン設定、台形補正、4点補正、幾何学補正、PIP/SIDE BY SIDE、MAGNIFYなど。

# 目次

## はじめに

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください …	3
お願い ……………	8
目次 ……………	12
本書の表記について……………	14

## 1. 添付品や名称を確認する …………… 15

1-1. 特長 ……………	15
1-2. 添付品の確認 ……………	17
1-3. 本体各部の名称 ……………	19
1-4. リモコン各部の名称 ……………	26

## 2. 設置と接続 …………… 30

2-1. 設置と接続の流れ ……………	30
2-2. スクリーンとプロジェクターを設置する ……………	31
2-3. パソコンと接続する ……………	33
2-4. ディスプレイと接続する ……………	35
2-5. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する……………	37
2-6. 書画カメラと接続する ……………	39
2-7. LAN と接続する ……………	40
2-8. 電源コードを接続する ……………	43

## 3. 映像を投写する（基本操作） …………… 44

3-1. 映像を投写する流れ ……………	44
3-2. 本機の電源を入れる ……………	45
3-3. 入力信号を選択する ……………	47
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する ……………	50
3-5. 台形歪みを調整する ……………	54
3-6. 映像を自動調整する ……………	56
3-7. 本機の音量を調整する ……………	57
3-8. レーザーポインタを使う ……………	58
3-9. 本機の電源を切る ……………	59
3-10. あとかたづけ ……………	60

## 4. 便利な機能 …………… 61

4-1. 映像と音声を消去する ……………	61
4-2. 動画を静止画にする ……………	61
4-3. 映像を拡大する ……………	62
4-4. ランプモードを切り替える ……………	62
4-5. 本機の操作説明を投写する ……………	64
4-6. 市販の USB マウスを使って操作する……………	65
4-7. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う ……………	67
4-8. 台形歪みを調整する（4点補正）……………	69
4-9. 2つの映像を同時に投写する ……………	72
4-10. セキュリティを設定して無断使用を防止する ……………	75



4-11.「アドバンスト」メニューと「ベーシック」メニューを切り替える	80
4-12.HTTP を使用したブラウザによる操作	81
4-13.LAN 経由でパソコンの画面を本機へ送信して投写する（ネットワークプロジェクタ）	84
4-14.本機から LAN 経由でパソコンを操作する（リモートデスクトップ）	90
<b>5. ビューワを使う</b>	<b>97</b>
5-1. ビューワでできること	97
5-2. USB メモリへデータを保存する	100
5-3. USB メモリの画像や動画を投写する（ビューワ）	101
5-4. 共有フォルダの画像や動画を投写する（ビューワ）	109
5-5. メディアサーバの画像や動画を投写する（ビューワ）	112
<b>6. オンスクリーンメニュー</b>	<b>114</b>
6-1. オンスクリーンメニューの基本操作	114
6-2. オンスクリーンメニュー一覧	121
6-3. 入力端子	125
6-4. 調整	129
6-5. セットアップ	139
6-6. 情報	169
6-7. リセット	171
<b>7. 本体のお手入れ／ランプの交換</b>	<b>172</b>
7-1. フィルタの清掃	172
7-2. レンズの清掃	173
7-3. キャビネットの清掃	174
7-4. ランプとフィルタの交換	175
<b>8. 別売のレンズユニットを使用する</b>	<b>180</b>
8-1. レンズユニットの種類と投写距離	180
8-2. レンズシフト範囲	182
8-3. レンズユニットを交換する	183
<b>9. 付 録</b>	<b>185</b>
故障かな？と思ったら	185
インジケータ表示一覧	190
投写距離とスクリーンサイズ	192
対応解像度一覧	196
無線 LAN ユニットを取り外す	197
外観図	200
別売品	201
コンピュータ 1 映像入力端子のピン配列と信号名	201
仕様	202
トラブルチェックシート	204
海外でご使用になる場合：トラベルケアのご紹介	206
索引	214
保証と修理サービス（必ずお読みください）	217
NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターとビューライトクラブのご案内	裏表紙

# 本書の表記について

## マークの意味

	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
	注意や制限事項を表しています。
	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。
	特定の機種についての説明を表しています。

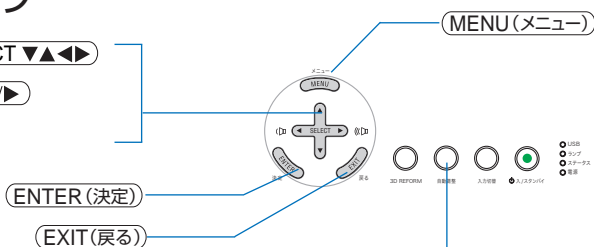
## 操作ボタンの表記例

### ●本体の操作ボタン

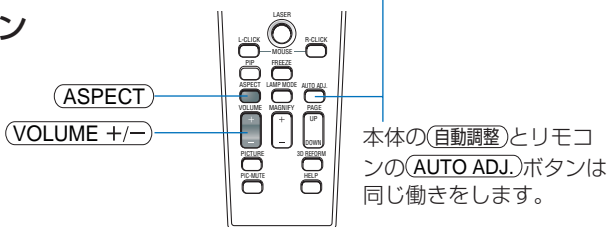
上下左右の場合： (SELECT ▼▲◀▶)

左右の場合： (SELECT ◀▶)

下の場合： (SELECT ▼)

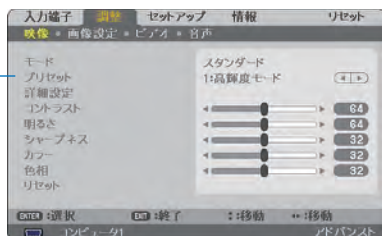


### ●リモコンの操作ボタン



## メニュー項目の表記例

[プリセット]



### 参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

# 1. 添付品や名称を確認する

## 1-1. 特長

### ●液晶方式の高輝度プロジェクター

液晶方式を採用し、高輝度を実現しました。

### ●設置場所に応じて選べる豊富なオプションレンズ

本機は、標準レンズのほかに、5種類のオプションレンズに対応しています。

様々な設置場所、投写方法に合わせたレンズが選択できます。

また、レンズユニットの取り外し／取り付けがワンタッチで行えます。

### ●投写画面の位置調整を容易にするレンズシフト機構を搭載

投写画面の位置の移動は、本体の上面にある「上下方向用」および「左右方向用」の2つのダイヤルを回して行います。

### ●ワイド画面に対応

NP3250WJには1280ドット×800ラインのワイド液晶パネルを搭載しており、ワイド画面をそのまま投写できます。

### ●ダイレクトパワーオフ

投写中および電源を切ったあとの冷却ファンの回転中に主電源を切ったりAC電源を切断することができます。

AC電源を切断する場合は、本機の電源コードを接続しているテーブルタップのスイッチやブレーカなどを利用してください。

(注)ダイレクトパワーオフは、本機の電源を入れたあと（投写開始後）20分以上経過してから行うてください。

### ●オートパワーオン／オートパワーオフ機能

本機には次のような自動的に電源を入／切する機能があります。

- ・オートパワーオン (AC) …………… 本機にAC電源が供給されると、自動的に電源が入り、映像を投写します。
- ・オートパワーオン (COMP1/2) …… 本機がスタンバイ状態のときコンピュータ信号が入力されると、自動的に電源が入り映像を投写します。
- ・オートパワーオフ …………… 設定した時間だけ信号入力がないと、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。
- ・オフタイマー …………… 設定した時間が経過すると、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

### ●LANポートを標準装備、さらに無線LANユニットとUser Supportware 6 CD-ROMを標準添付

本機はLANポート (RJ-45) を標準装備しています。本機をLANに接続し、User Supportware 6 CD-ROMに収録しているユーティリティソフトをパソコンにインストールすると、LAN環境を利用してパソコンから本機を制御したり、パソコンの画像データを本機へ送信してスクリーンに投写することができます。さらに、標準装備の無線LANユニットを使用して、無線LANを利用することができます。

### ●Windows Vistaの「ネットワークプロジェクタ」および「リモートデスクトップ」に対応

本機をLANに接続すると、Windows Vistaの標準機能である「ネットワークプロジェクタ」および「リモートデスクトップ」を使用することができます。

### ●DVI (デジタル) や BNC などの豊富な入出力端子、ステレオスピーカ内蔵

コンピュータ (アナログ)、5芯のBNC、DVI (デジタル)、ビデオ、S-ビデオなど、豊富な入出力端子を装備しています (コンピュータ (アナログ) と BNC は、コンポーネント入力にも対応しています)。また、5W + 5Wのステレオスピーカを内蔵しています。

### ●高画質処理回路を搭載

IDT HQV™ 処理技術の採用により高品質な映像を投写します。

### ●壁色補正

投写している壁面の色に応じて、見やすい色合いに補正することができます（壁色補正機能）。これにより、スクリーンが設置されていないところでも、見やすい映像を投写することができます。

### ●プリセット機能

プレゼンテーションや映画など、映像ソースに応じた映像補正機能を搭載。

7つの映像モードから選択できます。また、お客様が設定した状態を本体内のメモリに7つまで記憶できます。

### ●セキュリティやパスワードを設定して、他人の無断使用を防止

USBメモリをプロテクトキーにして、無断で本機を使用できないようにすることができます。また、パスワードを設定することにより、無断でメニュー設定などを変更できないようにすることができます。

### ●コントロールIDが登録できるオプションリモコン NP02RC に対応

同じ部屋で本機を複数台使用しているときなどに、プロジェクターごとに個別のコントロールID番号を設定することによって、1個のリモコン（NP02RC）でプロジェクターごとに個別の操作を行うことができます。

### ●LAN対応ビューワ機能

本機のビューワからLANおよび無線LANに接続したパソコンの共有フォルダの画像や動画を投写できます。

※ビューワはWindows Media Player 11の「メディアの共有」機能に対応しています。

## 1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	<p><b>プロジェクター (本機)</b> パソコンやDVDプレーヤなどを接続して、画面や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。</p> <p><b>レンズキャップ (24FT9741)</b> 本機のレンズに装着し、移動時や保管時にレンズを保護します。</p>
	<p><b>リモコン (7N900801)</b> 本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときには、添付の単3アルカリ乾電池2本をセットしてください。(▶28ページ)</p> <p><b>単3アルカリ乾電池 (リモコン用) 2本</b> 添付のリモコンにセットします。</p>
	<p><b>電源コード (アース付き) (7N080107)</b> AC100Vのコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。</p>
	<p><b>コンピュータ接続ケーブル (ミニ D-Sub 15 ピン) (7N520052)</b> パソコンの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。(▶30ページ)</p>
	<p><b>リモコンケーブル (7N520019)</b> 本機とリモコンをリモコンケーブルで接続すると、リモコンを本機に向けずにリモコン操作が行えます。(▶29ページ)</p>

次ページに続く

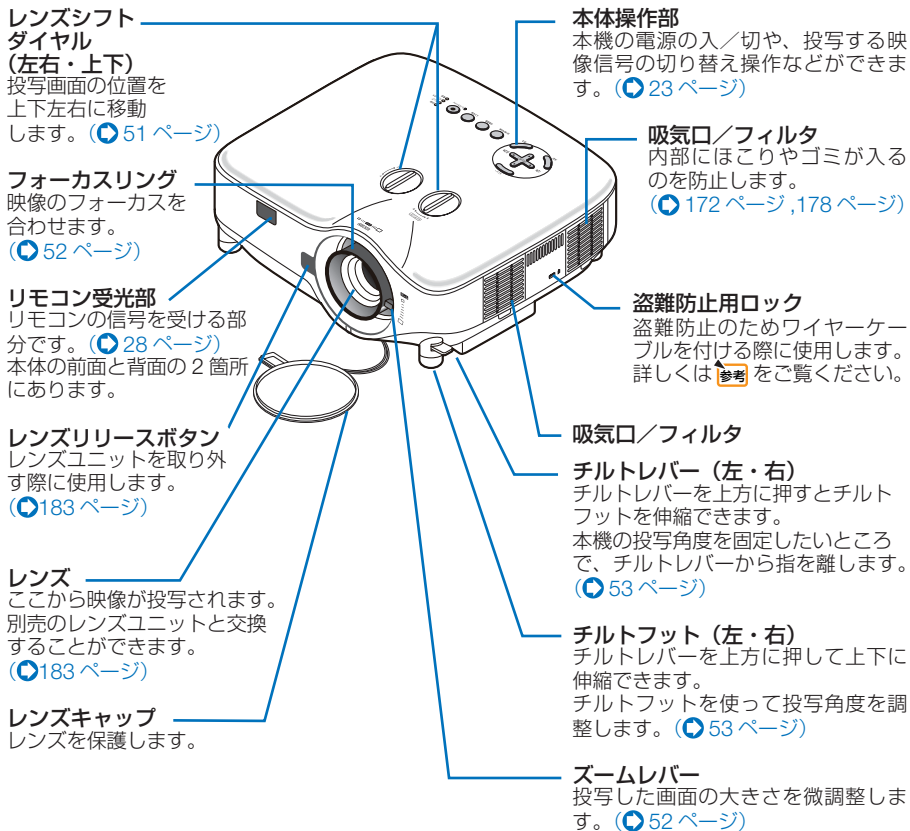
	<p><b>マウスレシーバ (7N900722)</b> パソコンの USB ポートに接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作が行えます。(▶67 ページ)</p>
	<p><b>レンズユニット盗難防止用ネジ (24V00841)</b> 本機に装着しているレンズユニットを簡単に取り外されないようにします。(▶184 ページ)</p>
	<p><b>無線 LAN ユニット (7N970063)</b> <b>無線 LAN ユニットジョイントアダプタ (9N999080)</b> 工場出荷時に本体に取り付けられています。</p>
	<p><b>CD-ROM 1 枚</b> <b>User Supportware 6 CD-ROM (7N951311)</b> ユーティリティソフトを収録しています。内容については「ネットワーク設定ガイド」をご覧ください。</p>
<p><b>取扱説明書 (本書) (7N8P9511)</b> 本機の使いかた、安全のため守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。</p> <p><b>クイックスタートガイド (7N8P9521)</b> 機器の接続、電源「オン」、投写画面の調整など、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。</p> <p><b>ネットワーク設定ガイド (7N8P9531)</b> 本機を有線 LAN または無線 LAN に接続して使用する方法について説明しています。</p> <p><b>保証書</b> プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。</p> <p><b>ビューライトクラブ申込書</b> ビューライトクラブに入会していただくと、会員ならではのサービスが受けられます。 入会金・会費は無料です。</p> <p><b>セキュリティラベル (24L67991)</b> 本機にパスワードを設定したときに、必要に応じて本体に貼ってください。</p>	

**参考**


- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

# 1-3. 本体各部の名称

## 本体前面



### 参考

- 盗難防止用ロックについて   
盗難防止用ロックは、キーケーブルロックなどのセキュリティワイヤーに対応しています。製品についてのお問い合わせ先は、以下のとおりです。  
日本ポラデジタル株式会社 第3営業部  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル  
Tel: 03-3537-1070 Fax: 03-3537-1071

## 本体背面

### スピーカ (ステレオ)

コンポーネント／S-ビデオ／ビデオ音声入力端子およびコンピュータ音声入力端子から入力された音声を出します。(▶ 57 ページ)

### 無線 LAN ユニット

無線 LAN ユニット専用ポートに標準装備されています。(▶ 42 ページ)

### 接続端子部

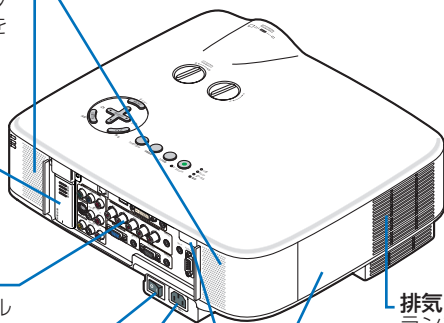
各種映像信号や音声信号のケーブルなどを接続します。(▶ 24 ページ)

### 主電源スイッチ

主電源スイッチを「I(入)」にすると、スタンバイ状態になります。(▶ 45 ページ)

### AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。(▶ 43 ページ)



### 排気口

ランプの熱を排気します。

### ランプカバー

ランプ交換のときカバーを外します。(▶ 176 ページ)

### リモコン受光部

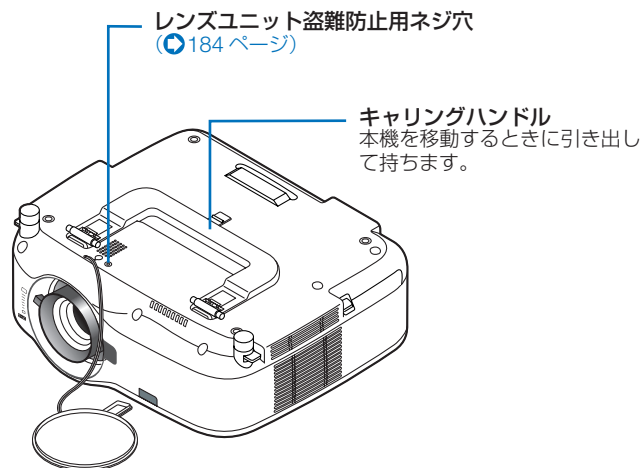
リモコンの信号を受ける部分です。(▶ 28 ページ)  
本体の前面と背面の2箇所にあります。



- 本機のスタンバイ状態<sup>(注)</sup> および電源を入れている間は、無線 LAN ユニットから電波を出しています。  
本機を無線機器が禁止されている区域で使用する場合は、無線 LAN ユニットを取り外してください。(▶ 199 ページ)  
(注) オンスクリーンメニューの【無線 LAN】のプロファイルを「無効」に設定しているときには無線 LAN ユニットから電波を出しません。
- 本機に搭載の無線 LAN ユニットは、日本国内仕様です。海外では使用できません。



## 本体底面

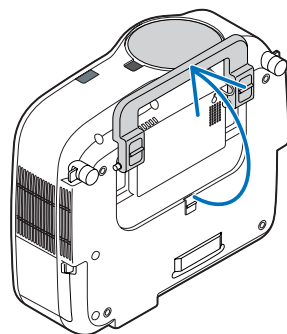


### ●本機を移動する際の注意

本機を移動するときは、図のように本体を立ててからキャリングハンドルを引き上げ、必ず左右両方のロックをしてからキャリングハンドルを持って運んでください。

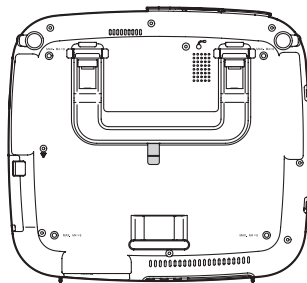
#### 注意

- 運ぶときはレンズ保護のためレンズキャップを付けてください。
- 本体を立てるときは、本体を持って立ててください。引き出した状態でキャリングハンドルに強い力を加えると破損の原因となります。

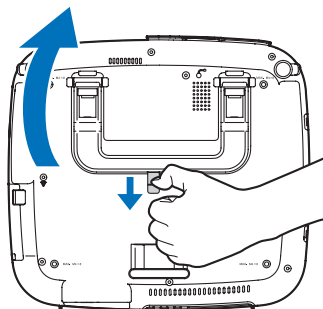


キャリングハンドルをロックする手順を次ページに示します。

- 1** 傷を付けないように、本機を静かに立てる。

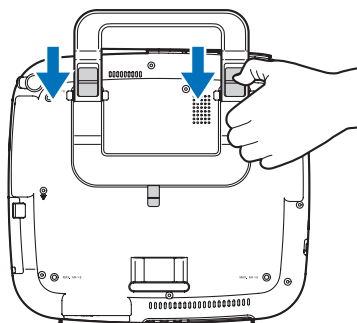


- 2** ツメを下に押したままキャリングハンドルを引き上げる。

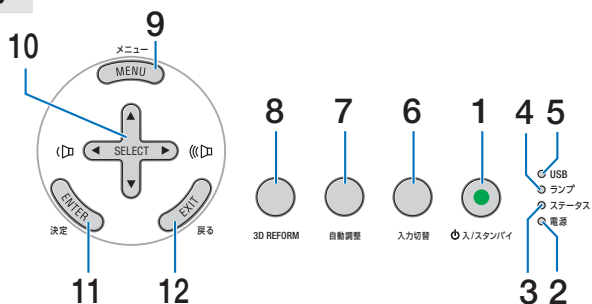


- 3** 左右2つのロックを下げて、キャリングハンドルを固定する。

- キャリングハンドルをもとに戻す場合は、左右2つのロックを上げてから、キャリングハンドルを倒してください。



## 本体操作部



### 1 電源(入/スタンバイ) ボタン

本機の電源を入/切(スタンバイ状態)します。

電源を入れるときは、2秒以上押します。

電源を切るときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度電源(入/スタンバイ)ボタンを押します。

### 2 電源インジケータ

電源が入っているときは緑色に点灯します。

([45ページ](#)、[190ページ](#))

電源が切れている(スタンバイ状態)ときはオレンジ色に点灯します。

### 3 ステータスインジケータ

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。

詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。[\(190ページ\)](#)

### 4 ランプインジケータ

ランプの交換時期がきたことやランプモードの状態(エコモード)をお知らせします。

[\(191ページ\)](#)

### 5 USB インジケータ

USBポートにUSBメモリなどのストレージデバイスがセットされている間に点灯します。USBマウスなどストレージデバイスでない場合は点灯しません。

### 6 (入力切替) ボタン

コンピュータ1、コンピュータ2、コンピュータ3、コンポーネント、ビデオ、S-ビデオ、ビューワ、ネットワークの入力を切り替えます。

短く押すと「信号選択画面」を表示します。また、1秒以上押し続けると次のように切り替わります。

→ コンピュータ1 → コンピュータ2 → コンピュータ3 → コンポーネント → ビデオ → S-ビデオ → ビューワ

入力信号がないときは次の信号に移ります。

[\(47ページ、48ページ\)](#)

### 7 (自動調整) ボタン

コンピュータ1、コンピュータ2、またはコンピュータ3のパソコン画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。

[\(56ページ\)](#)

### 8 (3D REFORM) ボタン

上下左右方向の歪みを調整します。

[\(54ページ、69ページ\)](#)

### 9 (MENU(メニュー)) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。[\(114ページ\)](#)

### 10 (SELECT) ボタン

(音量調整ボタンを兼用)

・ オンスクリーンメニューを表示しているときに(SELECT)ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。

[\(114ページ\)](#)

・ (MAGNIFY +/-) ボタンを使った画面拡大の表示位置の調整に使用できます。

[\(62ページ\)](#)

・ オンスクリーンメニューや画面拡大などを表示していないときは、(SELECT)ボタンで音量の調整ができます。

[\(57ページ\)](#)

・ ビューワ表示中は、(SELECT)ボタンでスライドを切り替えたりできます。

[\(104ページ\)](#)

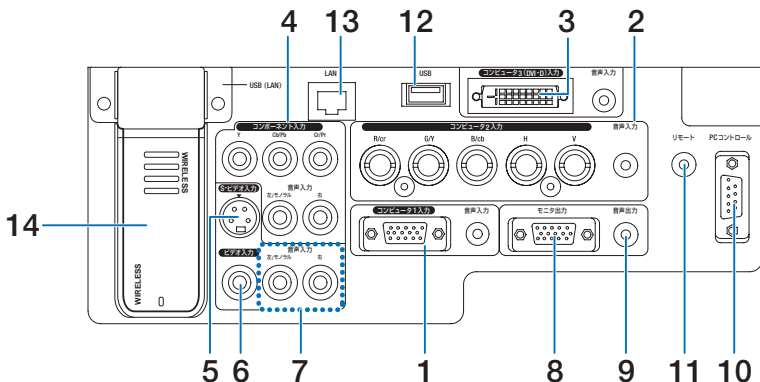
### 11 (ENTER(決定)) ボタン

オンスクリーンメニューを表示しているときに(ENTER)ボタンを押すと、項目を決定します。[\(114ページ~120ページ\)](#)

### 12 (EXIT(戻る)) ボタン

オンスクリーンメニューを表示しているときに(EXIT)ボタンを押すと、メニューを閉じます。

## 接続端子部



(注) 接続端子部のイラストが実物と多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

### 1 コンピュータ1 映像入力端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

パソコンのディスプレイ出力端子と接続します。(▶ 33 ページ, 39 ページ)

#### 音声入力端子 (ステレオ・ミニ)

本機のコンピュータ1 映像入力端子と接続したパソコンの音声出力端子と接続します。

(▶ 33 ページ)

### 2 コンピュータ2 映像入力端子 (BNC 5 芯)

市販の BNC ケーブル (5 芯タイプ) を使用して、パソコンのディスプレイ出力端子や、DVD プレーヤの色差出力端子 (DVD 映像出力) などと接続します。(▶ 33 ページ)

#### 音声入力端子 (ステレオ・ミニ)

本機のコンピュータ2 映像入力端子と接続したパソコンや DVD プレーヤなどの音声出力端子と接続します。(▶ 33 ページ)

### 3 コンピュータ3 映像入力端子 (DVI-D 24 ピン)

パソコンの DVI 出力端子と接続します。(▶ 33 ページ)

#### 音声入力端子 (ステレオ・ミニ)

本機のコンピュータ3 映像入力端子と接続したパソコンの音声出力端子と接続します。

(▶ 33 ページ)

### 4 コンポーネント映像入力端子 (RCA-フォノ)

DVD プレーヤなどのコンポーネント映像出力端子などと接続します。(▶ 38 ページ)

#### 音声入力端子 (RCA-フォノ)

本機のコンポーネント映像入力端子と接続した DVD プレーヤなどの音声出力端子と接続します。(▶ 38 ページ)

### 5 S-ビデオ映像入力端子 (ミニ DIN-4 ピン)

ビデオデッキや DVD プレーヤなどの S 映像出力端子と接続します。(▶ 37 ページ, 39 ページ)

### 6 ビデオ映像入力端子 (RCA-フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤなどの映像出力端子と接続します。

(▶ 37 ページ, 39 ページ)

### 7 S-ビデオ/ビデオ音声入力端子 (RCA-フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤなどの音声出力端子と接続します。(▶ 37 ページ)

- 8 モニタ出力端子(ミニ D-Sub 15ピン)**  
コンピュータ1映像入力端子、コンピュータ2映像入力端子、およびコンポーネント映像入力端子のうち、投写されている映像信号を出力します。  
(🔗 35 ページ)

- 9 音声出力端子(ステレオ・ミニ)**  
・本機から投写されている映像の音声信号を出力します。  
・音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声が出なくなります。(🔗 35 ページ)

- 10 PC コントロール端子 (D-Sub 9ピン)**  
添付の User Supportware 6 CD-ROM に収録している PC Control Utility 3.0 を使用すると、パソコンから本機を操作することができます。

- 11 リモート端子(ステレオ・ミニ)**  
添付のリモコンケーブルを使って本機のリモコンと接続すると、有線でのリモコン操作が行えます。リモコンの赤外線送信ができない場合に使用します。(🔗 次ページ, 29 ページ)

**注意** ・リモート端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。

- 12 USB ポート (USB) (タイプ A)**  
・市販の USB マウスを使って、本機のメニュー操作をするときに接続します。(🔗 65 ページ)  
・「リモートデスクトップ」機能を使用するとき市販の USB キーボードを接続します。(🔗 90 ページ)  
・USB メモリを接続できます。(🔗 100 ページ)

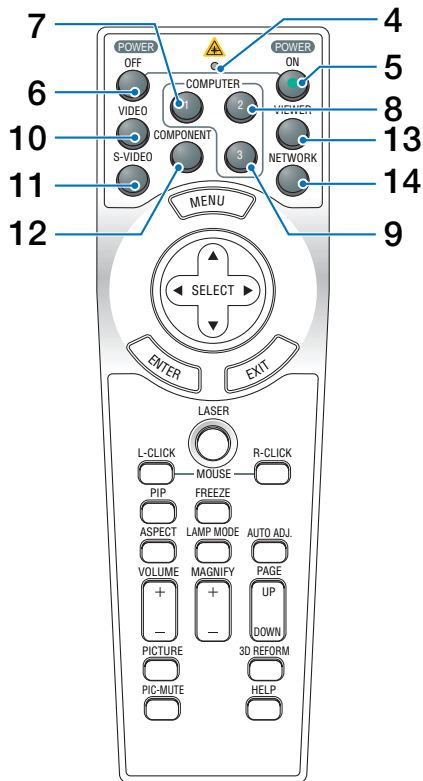
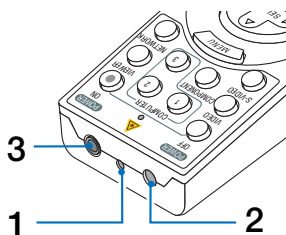
- 13 LAN ポート (LAN) (RJ-45)**  
・本機を LAN に接続すると、本機の HTTP サーバ機能を利用し、パソコンで Web ブラウザを使用して本機を制御することができます。(🔗 40 ページ, 81 ページ)  
・添付の User Supportware 6 CD-ROM に収録している Image Express Utility 2.0 を使用すると、LAN を経由してパソコンの画面をプロジェクターへ送信することができます。(🔗 40 ページ)  
・ビューワを使ってパソコンの共有フォルダの画像や動画をプロジェクターで投写することができます。(🔗 97 ページ)

- 14 無線 LAN ユニット**  
標準装備されている無線 LAN ユニットです。(🔗 42 ページ)  
交換する場合、無線 LAN ユニット専用ポートから取り外します。(🔗 197 ページ)

**注意**

- ・無線 LAN ユニットの動作中は、無線 LAN ユニットにある青色 LED が点滅します。
- ・オンスクリーンメニューの「無線 LAN」のプロファイルを「無効」に設定しているときには無線 LAN ユニットから電波を出しません。
- ・無線 LAN ユニット以外の USB 機器を接続しないでください。また、「12 USB ポート (USB) (タイプ A)」には、無線 LAN ユニートを接続しないでください。

# 1-4. リモコン各部の名称



- 1 レーザー発光部**  
**(LASER)** ボタンを押すとレーザーポインタの光を発射します。

## ⚠ 警告

レーザー光は人に向けないでください。  
 目を痛める原因となります。

- 2 リモコン送信部**  
**(LASER)** ボタン以外のボタンを押すと赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

- 3 リモコンケーブル接続端子**  
 本機とリモコンを添付のリモコンケーブルで接続すると、リモコンを本機に向けずにリモコン操作が行えます。

- 4 リモコン送信中インジケータ**  
 赤外線送信中およびレーザーポインタ発光中は赤く点灯します。

- 5 POWER (ON) ボタン**  
 2秒以上押し、スタンバイ時(電源インジケータがオレンジ色に点灯)に本機の電源を入れます。

- 6 POWER (OFF) ボタン**  
 一度押すと画面に確認メッセージが表示されます。続いてもう一度 POWER (OFF) ボタンを押すと、本機の電源が切れます(スタンバイ状態)。

- 7 (COMPUTER 1) ボタン**  
 コンピュータ 1 入力を選択します。

- 8 (COMPUTER 2) ボタン**  
 コンピュータ 2 入力を選択します。

- 9 (COMPUTER 3) ボタン**  
 コンピュータ 3 入力を選択します。

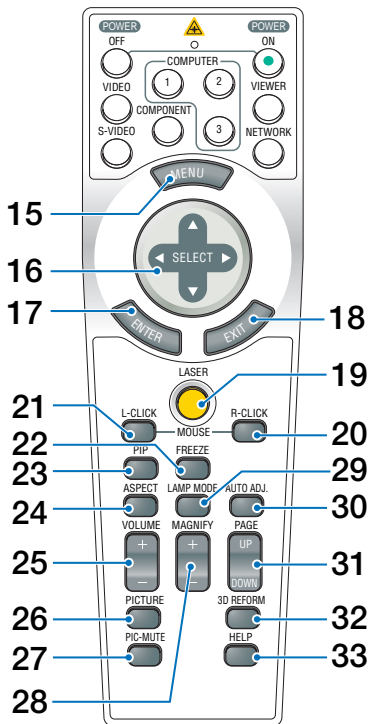
- 10 (VIDEO) ボタン**  
 ビデオ入力を選択します。

- 11 (S-VIDEO) ボタン**  
 S-ビデオ入力を選択します。

- 12 (COMPONENT) ボタン**  
 コンポーネント入力を選択します。

- 13 (VIEWER) ボタン**  
 ビューワを表示します。(▶ 97 ページ)

- 14 (NETWORK) ボタン**  
 ネットワーク入力を選択します。



## 15 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

## 16 (SELECT) ボタン

オンスクリーンメニュー操作や (MAGNIFY +/-) ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使います。

また、添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときは、パソコンのマウスとして動作します。(▶67 ページ)

## 17 (ENTER) ボタン

オンスクリーンメニューを表示中は、次の階層のメニューに進みます。

確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

## 18 (EXIT) ボタン

オンスクリーンメニューを表示中は、前の階層のメニューに戻ります。

メインメニュータブにカーソルがあるときは、オンスクリーンメニューを閉じます。

確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

## 19 (LASER) ボタン

レーザーポインタが発光します。

## 20 (R-CLICK) ボタン

添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときに、パソコンを操作するボタンです。マウスの右ボタンの動作をします。

## 21 (L-CLICK) ボタン

添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときに、パソコンを操作するボタンです。マウスの左ボタンの動作をします。

## 22 (FREEZE) ボタン

表示されている画像が静止画となります。もう一度押しと戻ります。(▶61 ページ)

## 23 (PIP) ボタン

2つの映像を同時に投写します。

表示方法には、画面の中に小さい画面を投写する「ピクチャーインピクチャー機能」と2つの画面を並べて投写する「サイドバイサイド機能」があります。(▶72 ページ)

## 24 (ASPECT) ボタン

アスペクト調整項目を表示します。(▶133 ページ)

## 25 (VOLUME +/-) ボタン

内蔵スピーカの音量と音声出力端子の音量を調整します。(▶57 ページ)

## 26 (PICTURE) ボタン

(PICTURE) ボタンを押すごとに、プリセット→コントラスト→明るさ→シャープネス→カラー→色相の各調整画面が順番に表示されます。(▶129 ページ, 131 ページ)

## 27 (PIC-MUTE) ボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押しと戻ります。(▶61 ページ)

## 28 (MAGNIFY +/-) ボタン

画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします。(▶62 ページ)

## 29 (LAMP MODE) ボタン

ランプモード選択画面を表示します。

(▶62 ページ)

## 30 (AUTO ADJ.) ボタン

コンピュータ1、コンピュータ2、またはコンピュータ3の画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。(▶56 ページ)

## 31 (PAGE UP/DOWN) ボタン

ビューワのスライド画面の切り替えや、サムネイル画面でのカーソル送りに使います。

添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときは、画面のスクロールや、PowerPointの画面切り替えなどに使います。

(▶68 ページ)

## 32 (3D REFORM) ボタン

上下左右方向の台形歪みを調整します。

(▶54 ページ, 69 ページ)

## 33 (HELP) ボタン

ヘルプ画面を表示します。(▶64 ページ)

## ●電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたをあける。

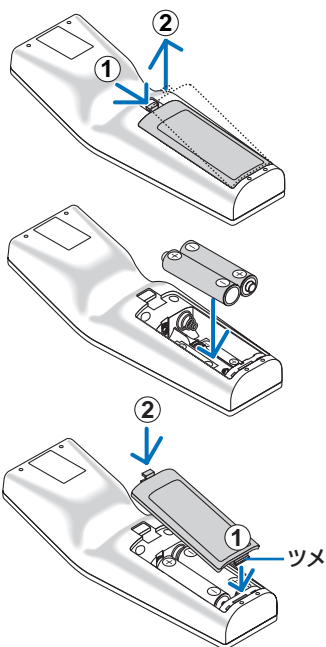
2 ケース内部に表示している+、-の向きに合わせて単3アルカリ乾電池をセットする。

3 もとどおりにふたをする。

ふたのツメをケースのみぞに入れてからふたをしめます。

**注意**

● 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単3アルカリ乾電池をお買い求めください。

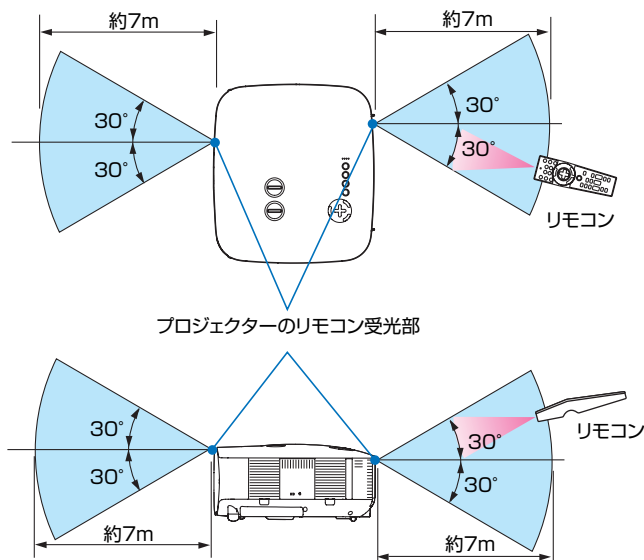


## ●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。およそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

リモコン信号をスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。

### 【受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。



**参考**

- 本体のリモコン受光部を前面のみ、後面のみ、または前面／後面に切り替えることができます。(▶164 ページ)

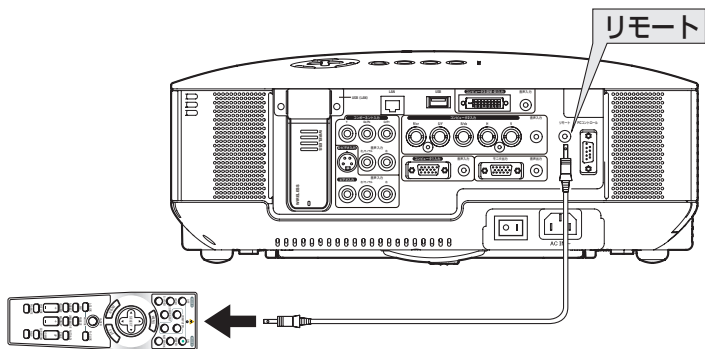
## ●リモコンケーブルを使用する

本体のリモコン受光部とリモコンの間に遮へい物などがあるときや、受光範囲外でリモコン操作するときは、添付のリモコンケーブルを使用してください。

リモコンケーブルを接続してリモコンを操作する場合は、リモコンに乾電池をセットする必要があります。

**注意**

- リモート端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコンが操作はできません。



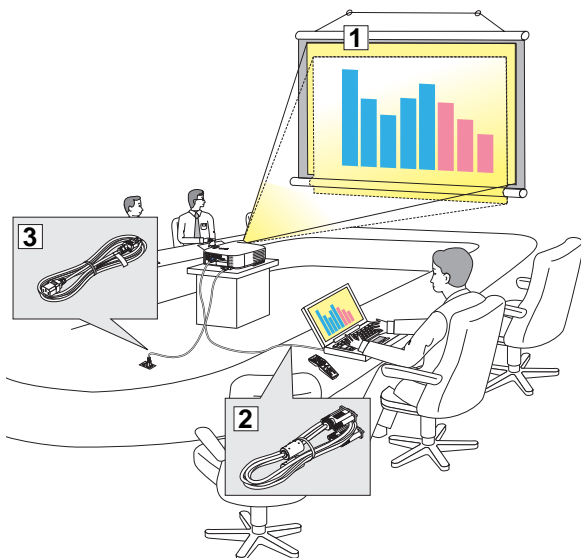
## ●リモコンの使用上の注意

- ・ 赤外線送信の場合、本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- ・ 赤外線送信の場合、本体から約 7m 以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ・ リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- ・ リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・ できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- ・ 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- ・ レーザーポインタの使用上のご注意については、「3-8. レーザーポインタを使う」(▶58 ページ)をご覧ください。

## 2. 設置と接続

### 2-1. 設置と接続の流れ

プロジェクターを設置する場合は、次の流れで行います。



#### ステップ 1

スクリーンとプロジェクターを設置する (▶次ページ)

#### ステップ 2

パソコンや DVD プレーヤーなどをプロジェクターに接続する

- ・パソコンと接続する場合 (▶33 ページ)
- ・ディスプレイと接続する場合 (▶35 ページ)
- ・DVD プレーヤーやビデオデッキなどの AV 機器と接続する場合 (▶37 ページ, 38 ページ)
- ・書画カメラと接続する場合 (▶39 ページ)
- ・有線 LAN と接続する場合 (▶41 ページ)
- ・無線 LAN と接続する場合 (▶42 ページ)

#### ステップ 3

電源コードを接続する (▶43 ページ)

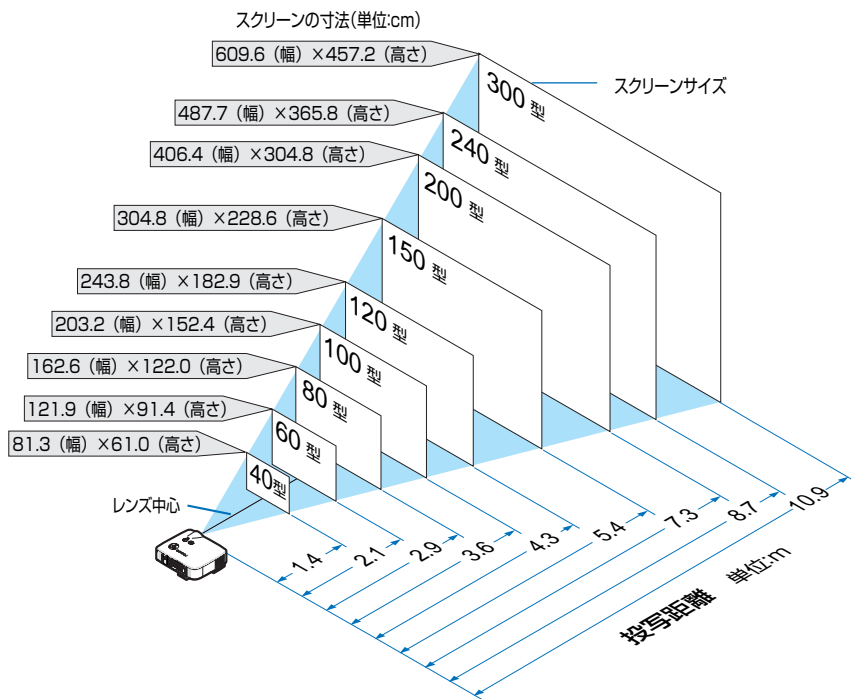
## 2-2. スクリーンとプロジェクターを設置する

下図を参照して、適切な画面サイズとなる位置にプロジェクターを設置してください。

**適応機種** NP3250J/NP2250J/NP1250J の場合

例 1：100 型スクリーンに投写する場合は、下図より 3.6m 離して設置します。

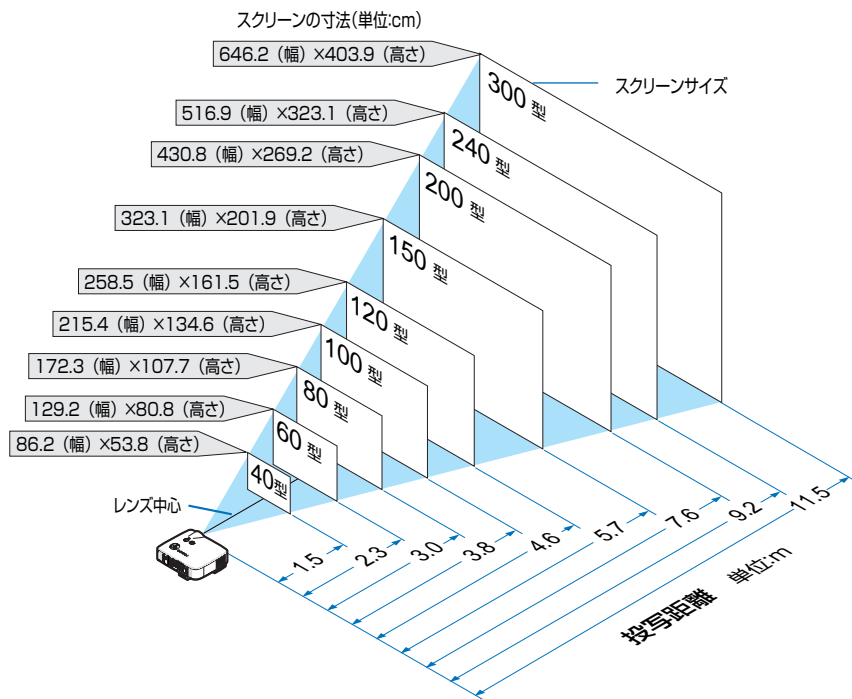
例 2：スクリーンから 5.4m 離してプロジェクターを設置すると、下図より約 150 型の画面となります。



**適応機種** NP3250WJ の場合

例 1：100 型スクリーンに投写する場合は、下図より 3.8m 離して設置します。

例 2：スクリーンから 5.7m 離してプロジェクターを設置すると、下図より約 150 型の画面となります。



**参考**

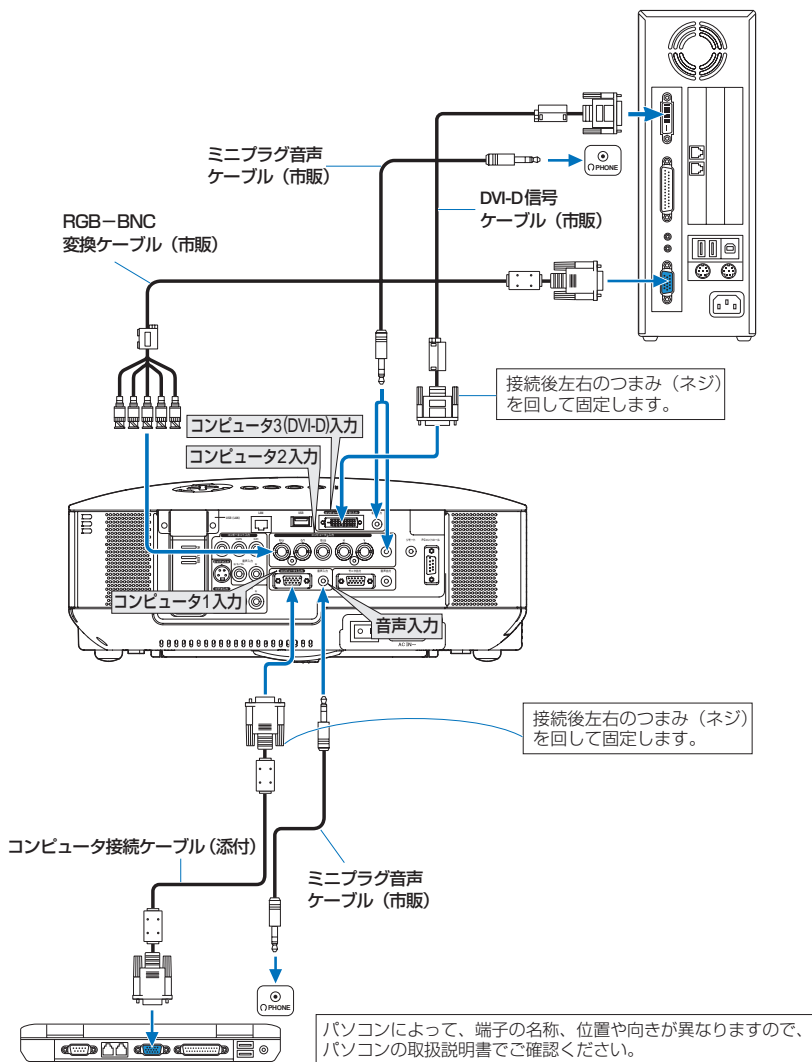
- この図のスクリーン寸法は、標準レンズにおけるズームレバーのテレ(投写面積が最小)側とワイド(投写面積が最大)側の間の値です。  
ズームレバーを操作すると、画面のサイズを約±15%の範囲で変更することができます。  
なお、図の各寸法は、設計値のため実際の寸法と多少の誤差がありますので目安としてください。
- 投写距離と画面サイズについては、付録の「投写距離とスクリーンサイズ」  
([192ページ](#))をご覧ください。
- 別売のレンズユニットについては、「8-1. レンズユニットの種類と投写距離」  
([180ページ](#))をご覧ください。

## 2-3. パソコンと接続する

パソコン側のディスプレイ出力端子(ミニD-Sub15ピン)と、本機のコンピュータ1映像入力端子を添付のコンピュータ接続ケーブルで接続します。パソコン側のディスプレイ出力端子が5芯タイプのBNC端子の場合は、市販のBNCケーブル(5芯タイプ)で本機のコンピュータ2映像入力端子に接続します。

また本機には、DVI-D入力端子を装備しています。

パソコン側がDVI出力端子の場合は、市販のDVI-D信号ケーブルで本機のコンピュータ3映像入力端子に接続します(デジタル信号のみ入力できます)。



**注意**

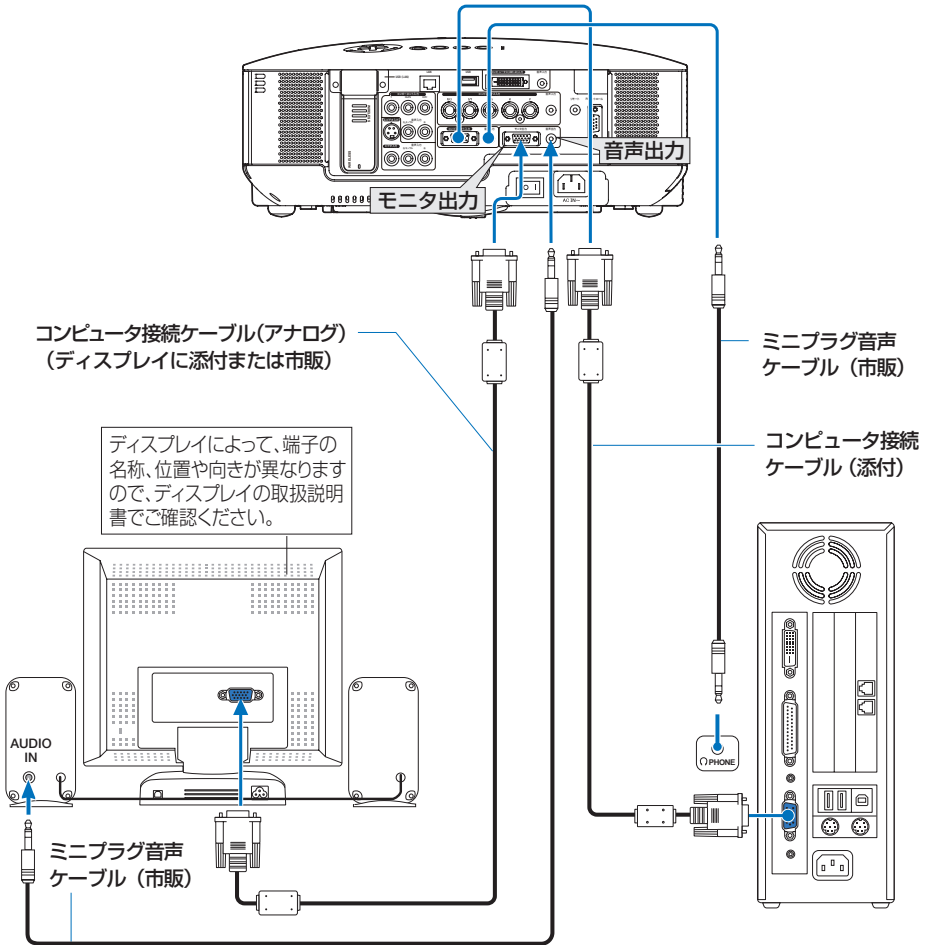
- パソコンや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にパソコンの音量を低めに調整してください。そして、パソコンと本機を接続して使用する際に、本機の音量とパソコンの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- パソコンにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット（形名 ISS-6020J）のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
- DVI（デジタル）入力時の注意事項
  - ・ DVI-D 信号ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠した 5 m 以内のものを使用してください。
  - ・ DVI-D 信号ケーブルは、シングル／デュアルのどちらのタイプも使用できます。
  - ・ DVI-D 信号ケーブルを接続するときは、本機とパソコンの電源が切れた状態で行ってください。
  - ・ DVI（デジタル）信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、コンピュータ 3 入力を選択します。最後にパソコンを起動してください。上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はパソコンを再起動してください。
  - ・ パソコンのグラフィックカードによっては、アナログ RGB（D-Sub）と DVI（または DFP）の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子にコンピュータ接続ケーブルを接続していると、DVI（デジタル）信号が出力されないものがあります。
  - ・ 本機の電源が入っているときに DVI-D 信号ケーブルを抜かないでください。一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はパソコンを再起動してください。
  - ・ 本機のコンピュータ 3 映像入力は、VGA（640×480）、SVGA（800×600）、XGA（1024×768）、1152×864、SXGA（1280×1024／垂直走査周波数 60Hz まで）、および SXGA+（1400×1050／垂直走査周波数 60Hz まで）、WXGA（1280×768、1280×800）、および WXGA+（1440×900／垂直走査周波数 60Hz まで）に対応しています。

**参考**

- コンピュータ 1 映像入力端子およびコンピュータ 3（DVI-D）映像入力端子は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応しています（DDC2B 対応）。
- Macintosh との接続では、Macintosh 用信号アダプタ（市販品）が必要になる場合があります。

## 2-4. ディスプレイと接続する

図のように、デスクトップパソコンと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示(モニタ)して確認できます。本機のモニタ出力端子は、コンピュータ1映像入力端子、コンピュータ2映像入力端子、およびコンポーネント映像入力端子のうち、投写されている映像信号を出力します。



**注意**

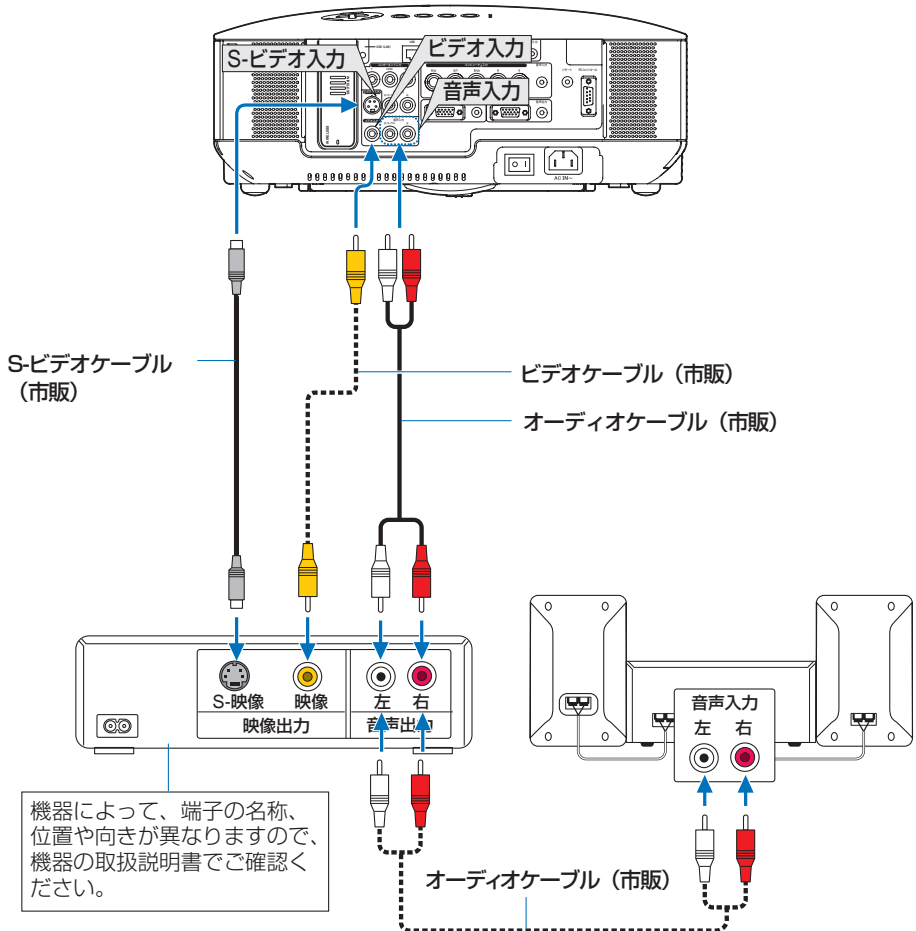
- 本機のモニタ出力端子は、1台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。複数のディスプレイやプロジェクターを連続してつなぐような使いかたはできません。
- コンピュータ3映像入力端子に入力されている映像信号（デジタル信号）は出力しません。
- 本機の音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声が出なくなります。
- 本機がスタンバイ状態のときは、本機の電源を切る前に投写されていた映像信号および音声信号がモニタ出力端子および音声出力端子から出力されます。また、音声信号の音量も本機の電源を切ったときと同じになります。



## 2-5. DVD プレーヤーなどの AV 機器と接続する

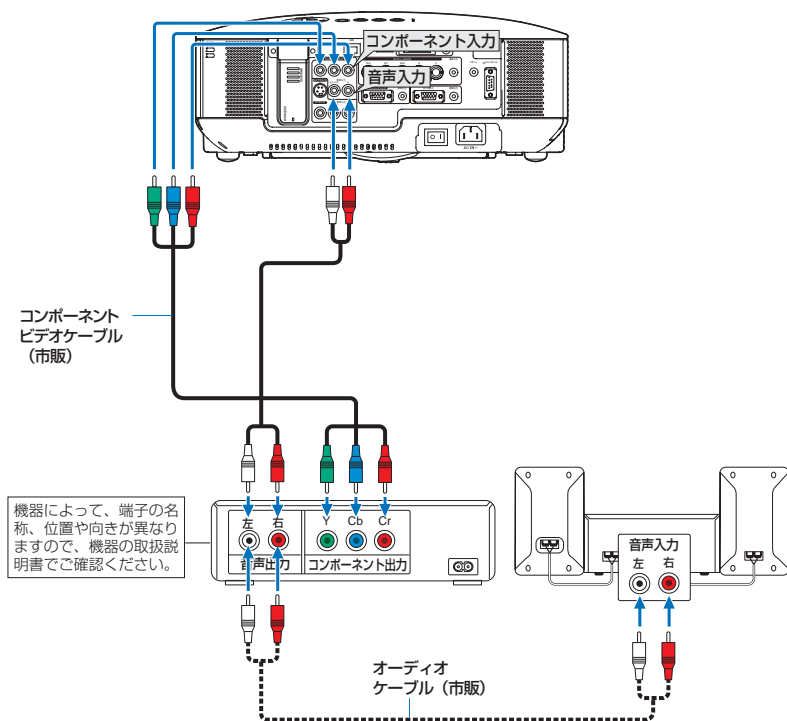
### ビデオ信号 / S-ビデオ信号の接続

ビデオデッキ、テレビチューナーなどのビデオ機器の映像を投写する場合は、市販のケーブルを使用してください。



## コンポーネント信号の接続

DVD プレーヤの色差出力端子 (DVD 映像出力) やハイビジョンビデオなどの YPbPr 出力端子 (HD 映像出力) を使って本機で投写することができます。

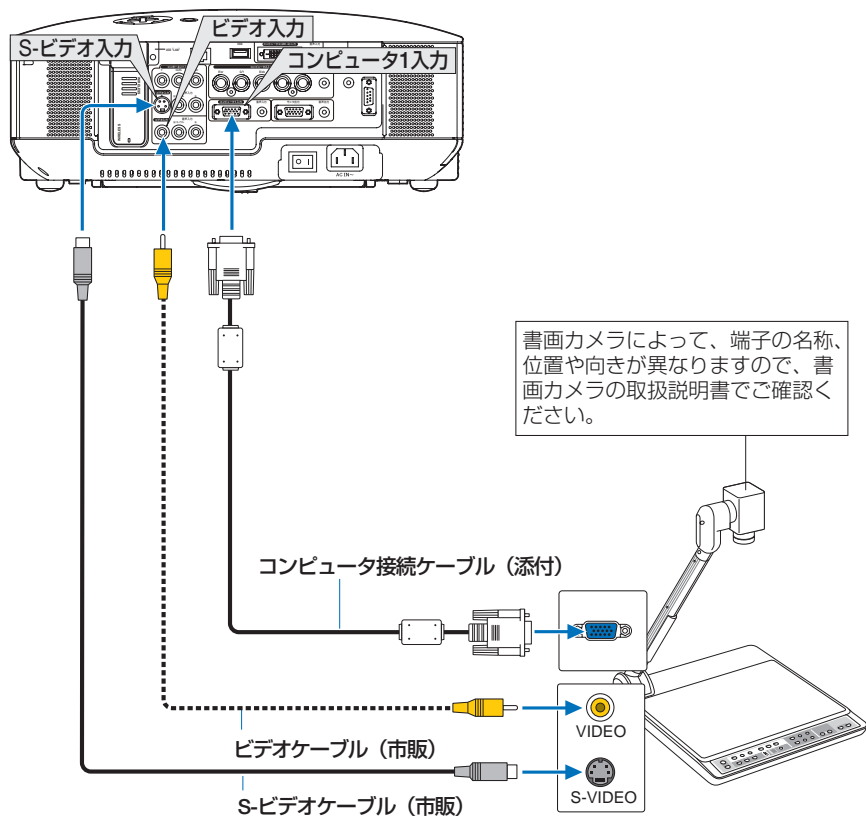


### 参考

- 市販のコンポーネントビデオケーブルを使って延長し、コンピュータ 1 映像入力端子に接続する場合は、別売のコンポーネントビデオ変換アダプタ (形名 ADP-CV1E) をお使いください。  
通常は自動でコンピュータ信号とコンポーネントビデオ信号を判別して切り替えますが、判別できない場合は、オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [オプション] → [信号選択] でコンピュータ信号を「コンポーネント」に設定してください。  
(168 ページ)
- コンピュータ 2 映像入力端子に接続する場合は、市販の RCA (メス) ↔ BNC (オス) 変換コネクタをお使いください。
- D 端子付きの映像機器と接続する場合は、別売の D 端子変換アダプタ (形名 ADP-DT1E) をお使いください。

## 2-6. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。



## 2-7. LAN と接続する

本機には LAN ポート (RJ-45) が標準装備されており、LAN ケーブルを接続すると LAN 環境を利用することができます。また、標準装備の無線 LAN ユニットにより、無線 LAN 環境を利用することもできます。本機を LAN 環境および無線 LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。本機への LAN の設定について詳しくは、本書のオンスクリーンメニュー → [セットアップ] → [設置 (2)] → [ネットワーク設定] (👉 150 ページ) をご覧ください。

### LAN 環境を利用してできること

LAN 環境および無線 LAN 環境では、本機の「画像送信機能」、「プロジェクターコントロール機能」、および「パソコン画面の遠隔操作機能」が使用できます。

#### ●画像送信機能 (Image Express Utility 2.0 などを使用する)

- 添付の User Supportware 6 CD-ROM に収録している Image Express Utility 2.0 を使用して、LAN および無線 LAN に接続したパソコンの画面を、プロジェクターへ送信してスクリーンに投写することができます。
- 添付の User Supportware 6 CD-ROM に収録している ArcSoft MediaImpression を使用して、パソコンで選択した画像ファイルを LAN および無線 LAN を介してプロジェクターへ送信してスクリーンに投写することができます。

#### ●画像送信機能 (Windows Vista を使用する)

- 本機は、Windows Vista の「ネットワークプロジェクタ」機能 (👉 84 ページ) と「リモートデスクトップ」 (👉 90 ページ) 機能に対応しています。

#### ●プロジェクターコントロール機能

- LAN および無線 LAN に接続したパソコンから、プロジェクターの電源の入/切や信号切り替えなどの制御ができます。次の 3 つの方法があります。
  - 本機の HTTP サーバ機能を使用する。(👉 81 ページ)
  - 添付の User Supportware 6 CD-ROM に収録している PC Control Utility 3.0 を使用する。
  - 添付の User Supportware 6 CD-ROM に収録している Image Express Utility 2.0 を使用する。

#### ●パソコン画面の遠隔操作機能 (Desktop Control Utility 1.0 などを使用する)

- 添付の User Supportware 6 CD-ROM に収録している Desktop Control Utility 1.0 を使用して、LAN および無線 LAN に接続したパソコンのデスクトップ画面 (Windows) を、本機に接続した市販の USB マウスで操作することができます。

#### ●ネットワーク対応ビューワ機能

- 本機のビューワから LAN および無線 LAN に接続したパソコンの共有フォルダの画像や動画を投写できます。(👉 109 ページ)
- 本機のビューワは Windows Media Player 11 の「メディアの共有」機能に対応しています。(👉 112 ページ)

#### 注意

- パソコン側の無線 LAN カードは、Wi-Fi (IEEE802.11a/b/g) 規格のものを使用してください。

参考

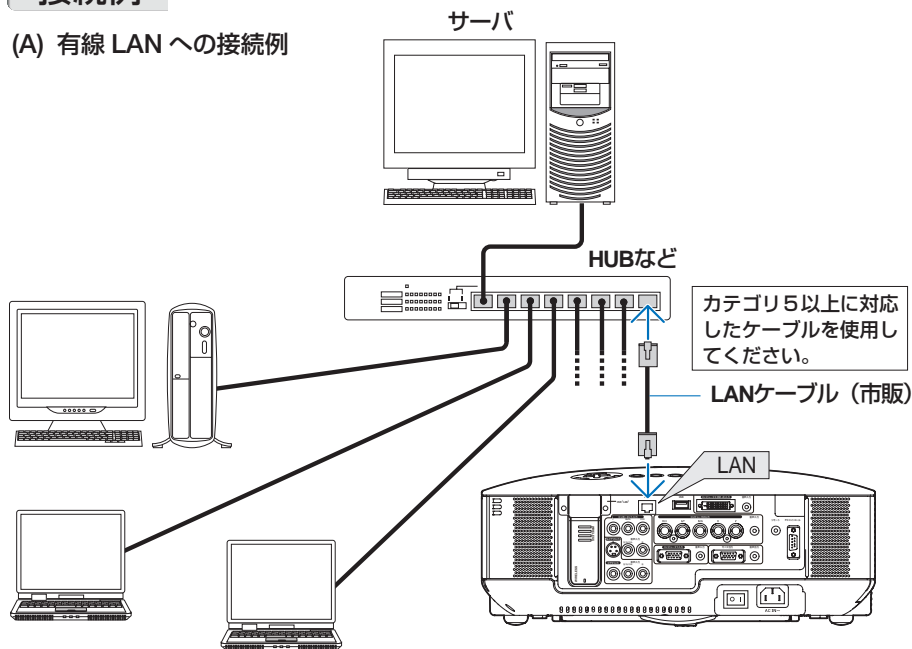
- User Supportware 6 CD-ROM に収録している各ソフトウェアの操作方法は、同じ CD-ROM に収録している「基本操作ガイド」(PDF) をご覧ください。  
【User Supportware 6 CD-ROM に収録しているソフトウェア】
  - Windows Vista/Windows XP/Windows 2000 用
    - ・ Image Express Utility 2.0
    - ・ Desktop Control Utility 1.0
    - ・ ArcSoft MediaImpression
    - ・ Viewer PPT Converter 3.0
    - ・ PC Control Utility 3.0
  - Mac OS X 用
    - ・ Image Express Utility 2 for Mac OS

重要

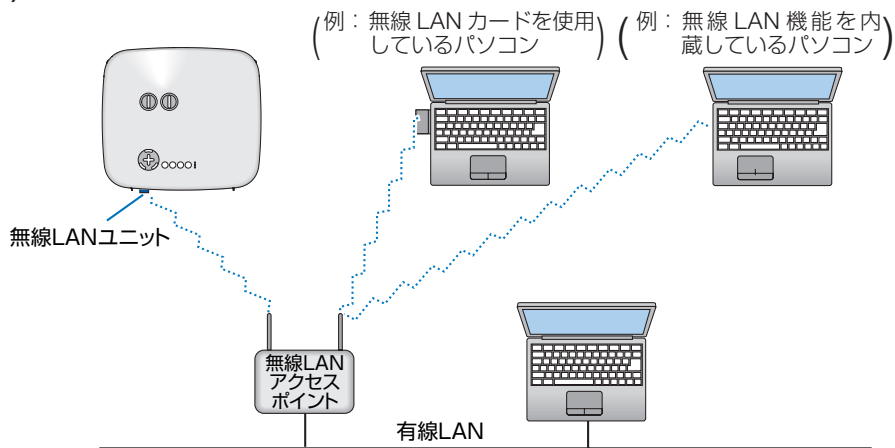
- 本機をネットワーク(無線 LAN / 有線 LAN) に接続する手順は、添付の「ネットワーク設定ガイド」をご覧ください。
- Windows Vista でネットワーク(無線 LAN / 有線 LAN) に接続する手順は、Windows Vista の説明書をご覧ください。

接続例

(A) 有線 LAN への接続例



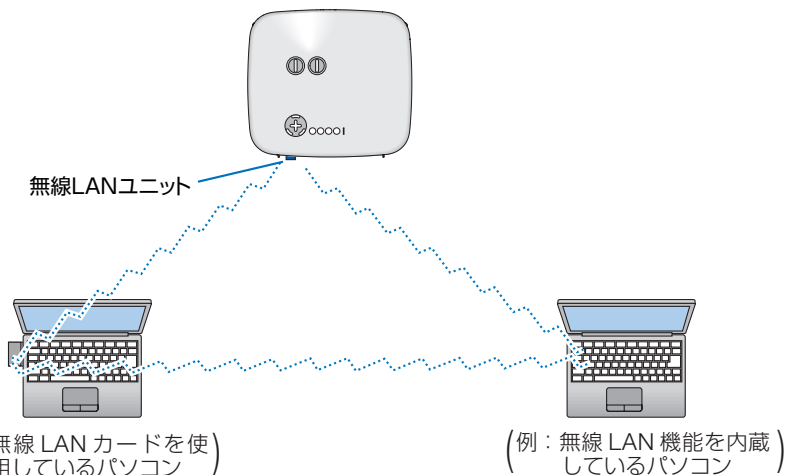
## (B) 無線 LAN への接続例 (通信モード：インフラストラクチャ)



無線 LAN アクセスポイントを通じて無線 LAN と接続する場合は、通信モードを「インフラストラクチャ」に設定します。

オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [設置 (2)] → [ネットワーク設定] で設定します。[ネットワーク設定] 画面では、[無線] のページ内にある [詳細設定] を選択し [詳細設定] 画面を表示します。続いて、[詳細設定] 画面内の [接続] のページで [通信モード] → [インフラストラクチャ] を選択します。

## (C) 無線 LAN への接続例 (通信モード：アドホック)



無線 LAN アクセスポイントを使わず、無線 LAN 端末同士で通信を行う場合は、通信モードを「アドホック」に設定します。

オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [設置 (2)] → [ネットワーク設定] で設定します。[ネットワーク設定] 画面では、[無線] のページ内にある [詳細設定] を選択し [詳細設定] 画面を表示します。続いて、[詳細設定] 画面内の [接続] のページで [通信モード] → 「アドホック」を選択します。



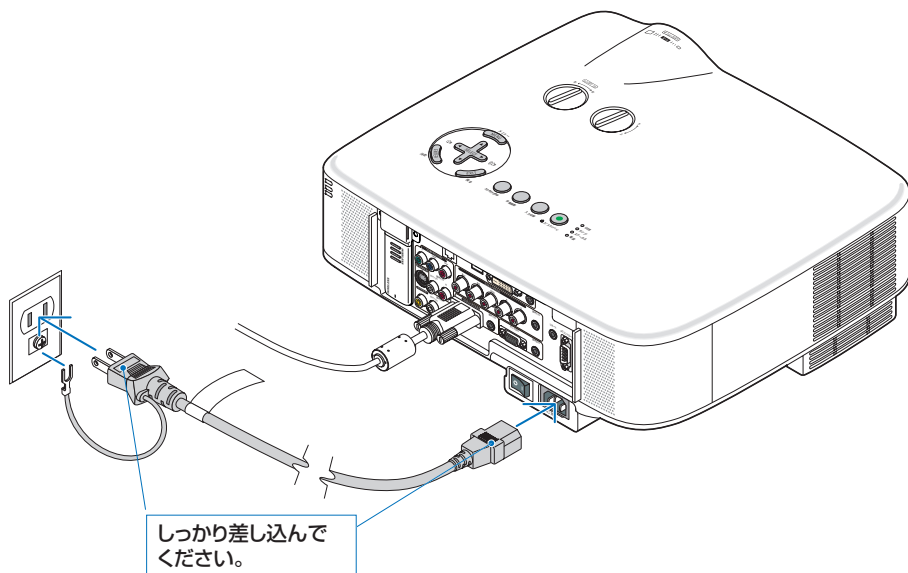
● 本機に搭載の無線 LAN ユニッツは、日本国内仕様です。海外では使用できません。

## 2-8. 電源コードを接続する

本機の AC IN 端子と、AC100V アース付きのコンセント（アース工事済み）を、添付の電源コード（国内仕様）で接続します。



機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



- 投写中および冷却ファンの回転中に主電源スイッチを切ったり、AC 電源を切断する場合（ダイレクトパワーオフ）は、本機の電源を入れたあと（投写開始後）20分以上経過してから行ってください。
- 投写中および冷却ファンの回転中に主電源スイッチを切ったり、AC 電源を切断すると、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。
- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、本機の主電源スイッチ、テーブルタップのスイッチ、ブレーカなどを利用してください。

# 3. 映像を投写する（基本操作）

## 3-1. 映像を投写する流れ

### ステップ 1

本機の電源を入れる (▶ 45 ページ)



### ステップ 2

入力信号を選択する (▶ 47 ページ)



### ステップ 3

投写画面の位置と大きさを調整する (▶ 50 ページ)  
台形歪みを調整する (▶ 54 ページ)



### ステップ 4

映像や音声を調整する  
・画質を調整する場合 (▶ 56 ページ)  
・本機の音量を調整する場合 (▶ 57 ページ)



### ステップ 5

プレゼンテーションを行う (▶ 58 ページ)



### ステップ 6

本機の電源を切る (▶ 59 ページ)



### ステップ 7

あとかたづけ (▶ 60 ページ)



## 3-2. 本機の電源を入れる

準備：「2 設置と接続」(30 ページ) を参照のうえ、機器の接続を行ってください。

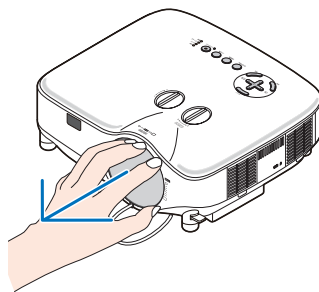
**重要**

- 本機の電源コードの取り付けは、主電源スイッチが「○ (切)」の状態で行ってください。主電源スイッチが「Ⅰ (入)」の状態では電源コードの取り付けを行うと、故障の原因となります。
- 本機の電源の入/切は、「主電源スイッチ」と「電源 (入/スタンバイ) ボタン (リモコンは POWER (ON) (OFF) ボタン)」の2段階の操作で行います。
- 電源を入れる (30 ページ)
  - 1 「主電源スイッチ」を「Ⅰ (入)」にする。  
本機がスタンバイ状態になります。
  - 2 「電源 (入/スタンバイ) ボタン (リモコンは POWER (ON) ボタン)」を2秒以上押す。  
本機の電源が入ります。
- 電源を切る (59 ページ)
  - 1 「電源 (入/スタンバイ) ボタン (リモコンは POWER (OFF) ボタン)」を押す。  
画面に確認メッセージが表示されます。
  - 2 もう一度「電源 (入/スタンバイ) ボタン (リモコンは POWER (OFF) ボタン)」を押す。  
本機がスタンバイ状態になります。
  - 3 ファンの回転が終わったら、「主電源スイッチ」を「○ (切)」にする。  
本機の電源が切れます。

### 1 レンズからレンズキャップを取り外す。

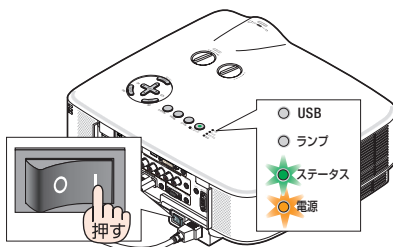
**注意**

- ひもを持ってレンズキャップを引っ張らないでください。故障の原因となります。



### 2 主電源スイッチを「Ⅰ (入)」にする。

しばらくするとスタンバイ状態になります。スタンバイ状態になると、電源インジケータがオレンジ色で点灯します。また、ステータスインジケータが緑色で点灯します。



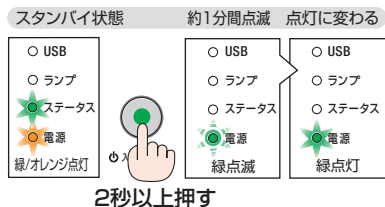
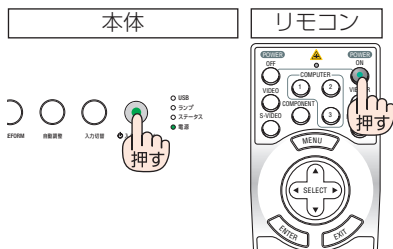
3

映像を投写する (基本操作)

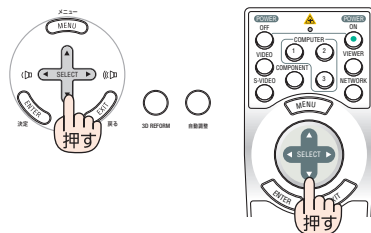
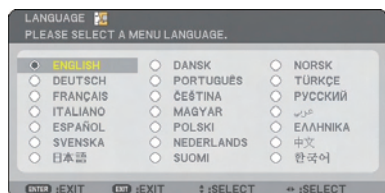
### 3 スタンバイ状態になったのを確認し、電源(入/スタンバイ) ボタンを2秒以上押す。

ステータスインジケータが消灯し、しばらくして電源インジケータが点滅し始めます。その後、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、POWER(ON) ボタンを2秒以上押します。
- 信号が入力されていないときは、青い画面(ブルーバック:工場出荷状態)が投写されます。
- 投写位置を変更する場合はレンズシフトを操作して調整してください。(▶51 ページ)  
また、映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のフォーカスを合わせてください。(▶52 ページ)
- ご購入後はじめて電源を入れたときは「LANGUAGE」画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。

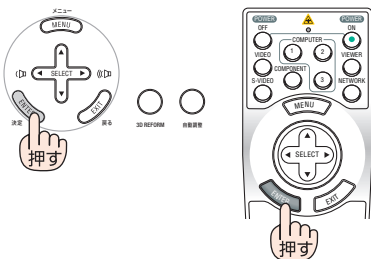


- 1 (SELECT) ボタンを押して、カーソルを「日本語」に合わせる。



- 2 (ENTER(決定)) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定され、オンスクリーンメニューが消えます。



#### 注意

- 本機の主電源スイッチを「○(切)」にしたあと、再び主電源スイッチを「| (入)」にする際は、必ず約1秒以上の間隔をあげてください。  
主電源スイッチを切ったあとと瞬時に主電源スイッチを入れると、故障の原因となります。また、本機をスイッチ付きのテーブルタップやブレーカなどに接続している場合も、電源を切ったあとに再び電源を入れる際は、必ず約1秒以上の間隔をあげてください。

## 注意

- 本機の電源が入っている間は、レンズからレンズキャップを外しておいてください。高温になりレンズキャップが変形します。
- 次のような場合は、電源（入/スタンバイ）ボタンを押しても電源が入りません。
  - ・ 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
  - ・ ランプの交換時間（目安）\*がきた場合は電源が入りません。ランプを交換してください。\*保証時間ではありません。
  - ・ 電源を入れてもランプが点灯せず、ステータスインジケータが点滅（6回周期の点滅）している場合は、1分以上待って再度電源を入れてください。
- 電源を入れた直後のランプの点灯準備中、およびその後の電源インジケータ点滅中（約1分間）は電源を切ることができません。
- 電源を入れたとき、ランプが安定して点灯するまで（3～5分）映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。
- ランプの消灯直後や周囲の温度が高いときに電源を入れると、しばらくの間冷却ファンのみが回転し、そのあとスクリーンに映像が投写されます。

## 3-3. 入力信号を選択する

### 信号選択画面から選択する

#### 1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生（PLAY）操作をしてください。

#### 2 (入力切替) ボタンを短く押す。

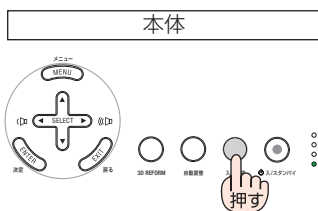
信号選択画面が表示されます。

#### 3 (入力切替) ボタンを数回短く押して、投写したい入力信号にカーソルを合わせる。

(入力切替) ボタンを短く押すたびに、次の入力信号にカーソルが移動します。

#### 4 (ENTER(決定)) ボタンを押す。

- ・ (ENTER(決定)) ボタンを押さずに約2秒経過すると、カーソルが合っている信号に自動的に切り替わります。



## 投写する入力信号を自動検出する

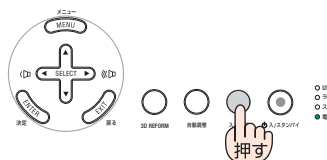
### 1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

### 2 (入力切替) ボタンを 1 秒以上押す。

投写可能な信号を自動検出します。

- 1 秒以上 (入力切替) ボタンを押すたびに、コンピュータ 1 → コンピュータ 2 → コンピュータ 3 → コンポーネント → ビデオ → S-ビデオ → ビューワ と映像 (入力信号) が切り替わります。入力信号がないときは次の信号に移ります。

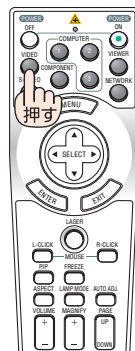


## リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

### 1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

### 2 リモコンの (VIDEO)、(S-VIDEO)、(COMPONENT)、(COMPUTER 1)、(COMPUTER 2)、(COMPUTER 3)、(VIEWER)、(NETWORK) ボタンを押す。



#### 参考

- 入力信号がないときは、青い画面 (ブルーバック : 工場出荷状態) が投写されます。ビデオデッキや DVD プレーヤーなどは再生 (PLAY) 操作をしてください。
- ノートパソコンの画面がうまく投写できない場合  
ノートパソコンの外部出力 (モニタ出力) 設定を外部に切り替えてください。  
・ Windows の場合はファンクションキーを使います。

**[Fn]** キーを押したまま (⇧/⇩) などの絵表示や (LCD/VGA) の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく (プロジェクターが認識する時間) すると投写されます。

通常、キーを押すごとに「外部出力」→「パソコン画面と外部の同時出力」→「パソコン画面」…と繰り返します。

### 【パソコンメーカーとキー操作の例】

<b>Fn</b> + <b>F3</b>	NEC、Panasonic、GATEWAY、SOTEC
<b>Fn</b> + <b>F4</b>	HP
<b>Fn</b> + <b>F5</b>	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
<b>Fn</b> + <b>F7</b>	SONY、IBM、Lenovo、HITACHI
<b>Fn</b> + <b>F8</b>	DELL、EPSON
<b>Fn</b> + <b>F10</b>	FUJITSU

表に記載されていないメーカーのノートパソコンをお使いの場合は、ノートパソコンのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

- ・ Macintosh PowerBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
- ・ それでも投写しない場合は本体の(入力切替) ボタンを 1 秒以上押してください。

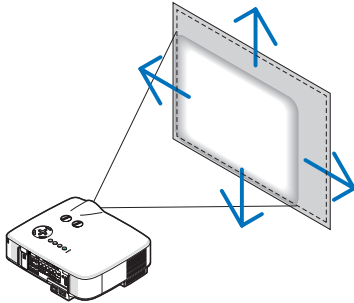
[\(前ページ\)](#)



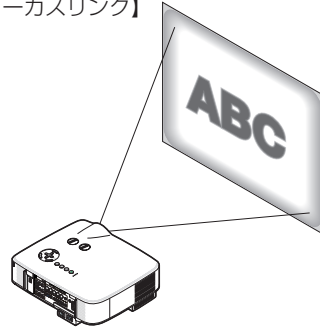
## 3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやチルトフット、ズームレバー、フォーカスリングなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

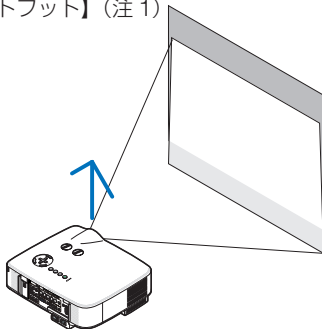
投写画面の位置の調整  
【レンズシフト】



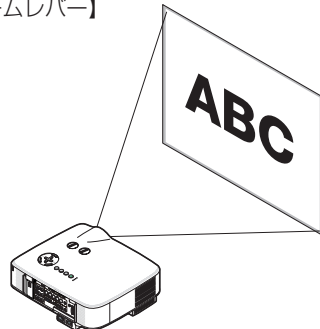
投写画面のフォーカス合わせ  
【フォーカスリング】



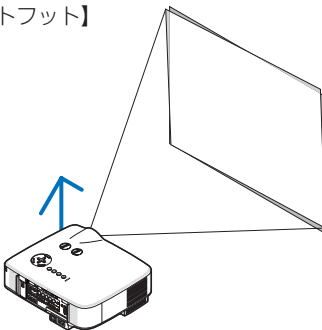
投写角度（投写画面の高低）の調整  
【チルトフット】（注1）



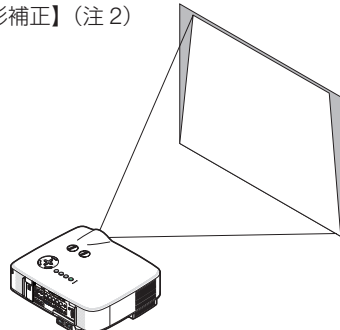
投写画面の大きさの微調整  
【ズームレバー】



投写画面の左右の傾きの調整  
【チルトフット】



投写画面の台形歪み補正  
【台形補正】（注2）



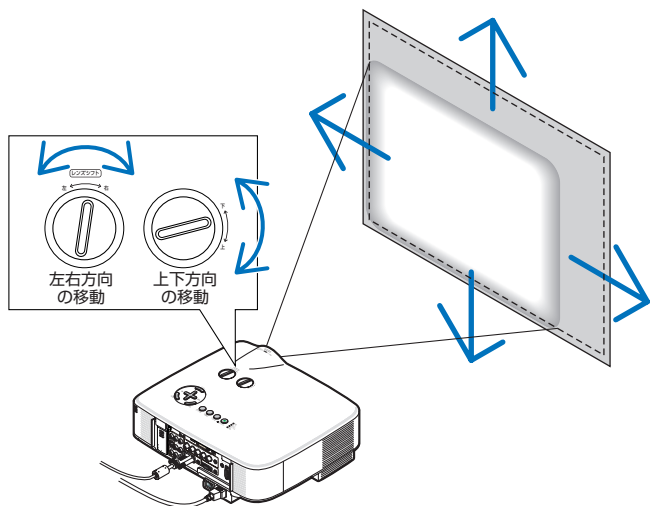
（注1）チルトフットによる投写画面の高低の調整は、レンズシフトの範囲よりも高い位置に投写する場合に行ってください。

（注2）台形補正については、「3-5. 台形歪みを調整する」（[▶ 54 ページ](#)）をご覧ください。

※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

## 投写画面の位置の調整

### 1 レンズシフトのダイヤルを左右に回す。

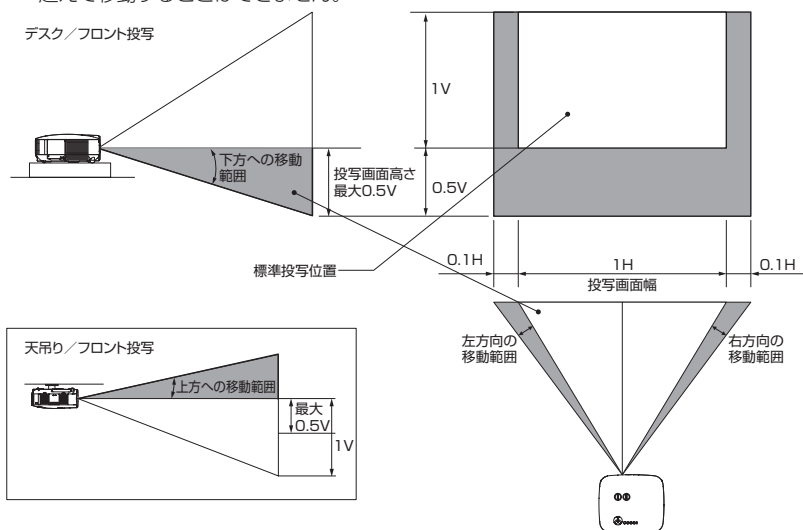


#### 注意

- 左 ←→ 右のダイヤルは半回転以上回すことができません。ダイヤルを無理に回すと故障するおそれがあります。
- レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。
- 別売のレンズユニット「NP01FL」をお使いの場合、レンズシフト機能を利用することはできません。

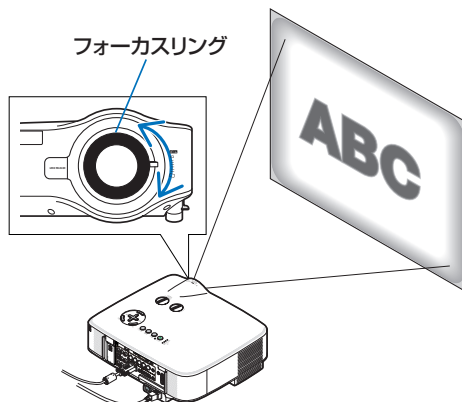
#### 参考

- 上 ←→ 下のダイヤルを1回転以上回すことができます。ただし、投写位置を次の範囲を超えて移動することはできません。



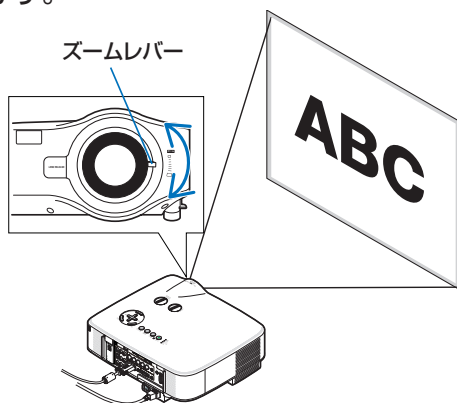
## 投写画面のフォーカス合わせ（フォーカスリング）

- 1 フォーカスリングを回す。



## 投写画面の大きさの微調整（ズームレバー）

- 1 ズームレバーを上下に動かす。





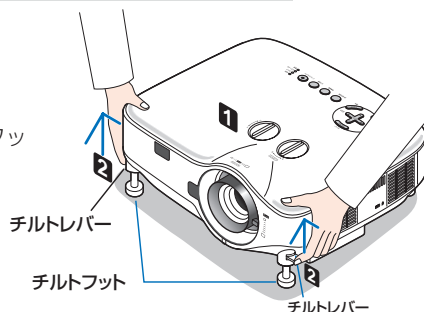
## 投写角度（投写画面の高低）と左右の傾きの調整 （チルトフット）

- 1 本機の前部を持ち上げる。
- 2 左右のチルトレバーを押し上げる。  
チルトフットのロックが外れ、左右のチルトフットが伸縮します。



**注意**

- 投写中は排気口付近が高温になる場合があります。  
チルトフット調整の際はご注意ください。



- 3 チルトレバーを押し上げたまま、本機の投写角度および左右の傾きを調整する。

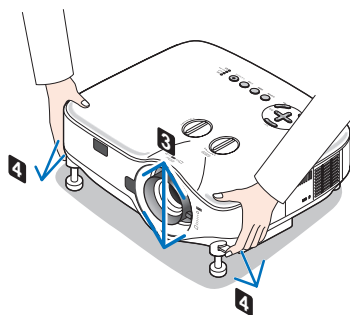
- 4 角度を固定したいところでチルトレバーから指を離す。

- チルトフットがロックされ、投写角度が固定されます。
- チルトフットにより、最大 10° 本機を傾けることができます。
- 投写画面が歪んでいるときは「3-5. 台形歪みを調整する」(54 ページ) をご覧ください。



**注意**

- [台形補正] の調整値をクリアする（工場出荷時に戻す）場合は、**(3D REFORM)** ボタンを 2 秒以上押ししてください。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。  
チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。



3

映像を投写する（基本操作）

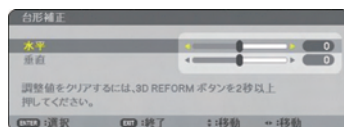
## 3-5. 台形歪みを調整する

本機を正しい投写角度（投写画面の高低）に設置していないと投写画面が台形状に歪みます。この歪みを調整するのが台形補正です。ここでは[台形補正]画面を操作して、投写画面の台形歪みを調整する手順を説明します。

スクリーンに向かって斜め横から投写した場合は、投写画面の上下の辺が平行になるように、[台形補正]画面の[水平]で調整してください。

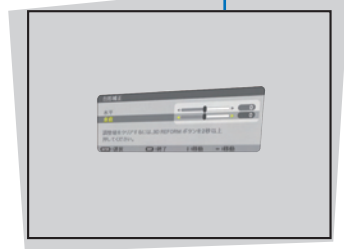
### 1 リモコンまたは本体の (3D REFORM) ボタンを押す。

投写画面に [台形補正] 画面が表示されます。



### 2 (SELECT ▼) ボタンを押して [垂直] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀▶) ボタンを押して左右の辺を平行にする。 投写画面の台形歪み (垂直) を調整します。

投写画面の外枠  
スクリーンの外枠



### 3 スクリーンと投写画面の左辺または右辺を合わせる。

- ・ 投写画面の左辺と右辺を比べ、長さが短いほうの辺を合わせます。
- ・ 右の図のような台形歪みの場合は、左辺を合わせます。

(左辺を合わせる)



- 4** (SELECT ▲) ボタンを押して [水平] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀▶) ボタンを押して上下の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み (水平) を調整します。

- 右の図のように左辺を合わせた場合は、(SELECT ▶) ボタンを押します。



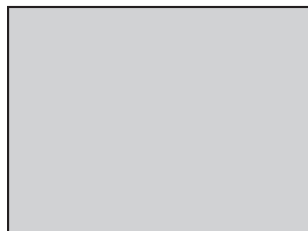
- 5** 手順**2**～**4**を繰り返し、台形歪みを調整する。

- 6** 台形歪みの調整が終わったら、

(EXIT(戻る)) ボタンを押す。

[台形補正] 画面が消え、台形補正が決定されます。

- 再び台形歪みを調整する場合は、(3D REFORM) ボタンを押して [台形補正] 画面を表示し、上の手順**1**～**6**を行ってください。



**注意**

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の台形補正の調整値を保持しています。
- 手順**2**において、投写画面の範囲内にスクリーンの外枠がすべて含まれるように、本機の設置位置を調整してください。
- 台形歪みの調整値をクリアする場合は、(3D REFORM) ボタンを2秒以上押してください。
- [台形補正] 画面が表示されているときに (3D REFORM) ボタンを押すと、[4点補正] 画面に切り替わります。また、[4点補正] 画面が表示されているときに (3D REFORM) ボタンを押すと、メニューが消えます。[4点補正] 画面の操作については、「4-8. 台形歪みを調整する (4点補正)」(▶ 69 ページ) をご覧ください。
- [台形補正] 画面で調整しているとき、または [幾何学補正] を設定しているとき、[4点補正] 画面は表示されません。[4点補正] を行う場合は、(3D REFORM) ボタンを2秒以上押して [台形補正] の調整値をクリアしてください。また、[4点補正] 画面で調整しているとき、または [幾何学補正] を設定しているとき、[台形補正] 画面は表示されません。[台形補正] を行う場合は、(3D REFORM) ボタンを2秒以上押して [4点補正] の調整値をクリアしてください。
- [台形補正] は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

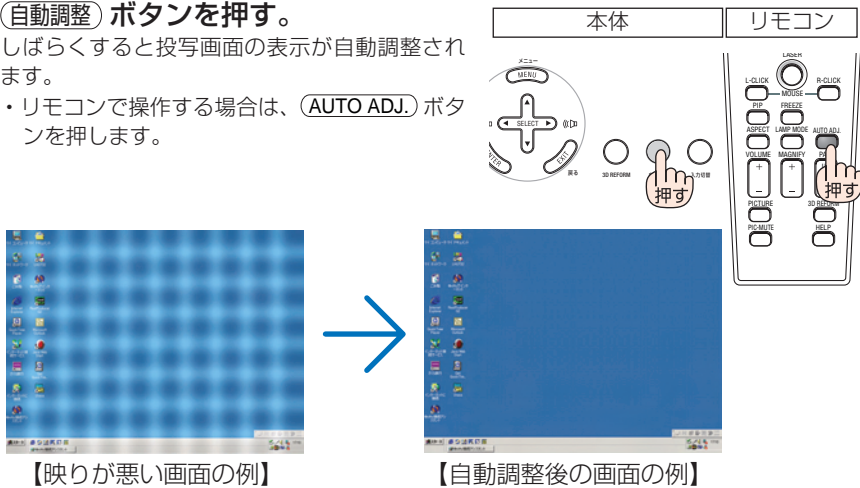
## 3-6. 映像を自動調整する

パソコンの画面を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

### 1 (自動調整) ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。

- ・リモコンで操作する場合は、(AUTO ADJ.) ボタンを押します。



### 参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、手動で画面の調整を行ってください。(131 ページ)
- パソコンの画面がうまく投写できない場合は、188 ページを参照してください。

## 3-7. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

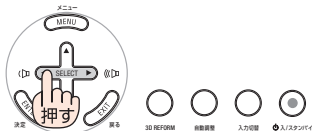
### 本体の操作ボタンで調整する

#### 1 (SELECT ◀▶) ボタンを押す。

調整バーが表示されます。

◀側…音量が大きくなります。

▶側…音量が小さくなります。



**注意**

- オンスクリーンメニューが表示されているとき、および (MAGNIFY +) ボタンで画面を拡大しているときは、(SELECT ◀▶) ボタンを使った音量調整はできません。

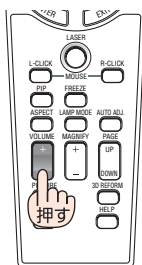


### リモコンを使って調整する

#### 1 リモコンの (VOLUME +/-) ボタンを押す。

+側…音量が大きくなります。

-側…音量が小さくなります。



**参考**

- オンスクリーンメニューの [調整] → [音声] の [音量] でも音量を調整できます。

3

映像を投写する(基本操作)

## 3-8. レーザーポインタを使う

レーザーポインタ機能を使って、効果的なプレゼンテーションが行えます。リモコンの先端からレーザー光（赤い光）を出し、説明したいところをピンポイントで指すことができます。



### レーザーポインタのレーザー光源をのぞかない

次の事項をお守りください。レーザー光が目にあたると視力低下・視覚障害の原因となります。

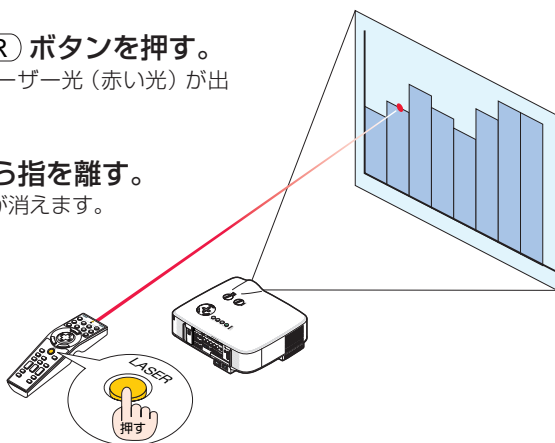
- ・レーザーポインタのレーザー光源をのぞき込まない。
- ・レーザー光を人に向けない。
- ・子供には使用させない。

### 1 リモコンの **(LASER)** ボタンを押す。

リモコンの先端からレーザー光（赤い光）が出ます。

### 2 **(LASER)** ボタンから指を離す。

レーザー光（赤い光）が消えます。



### 参考

- リモコン底面に次の内容が記載されています。  
クラス2レーザー製品 最大出力：1.0mW  
波長：650nm  
JIS C 6802:1998  
製造者：F & T



**JQA**

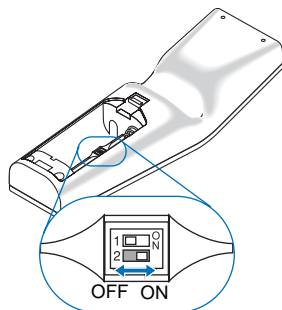
- レーザーの発光を禁止する場合は、電池ケースの中にあるレーザー光の有効／禁止スイッチを操作してください。

必要に応じて「スイッチ2」を細いボールペンの先などを使って設定してください。工場出荷状態は「有効」に設定されています。お子様が使用できる環境に置かれる場合は「禁止」に設定してください。

なお、「スイッチ1」は本機では使用していません。

ON側… 有効（**(LASER)** ボタンを押すとレーザーが発光します。）【工場出荷状態】

OFF側… 禁止（**(LASER)** ボタンを押してもレーザーは発光しません。）

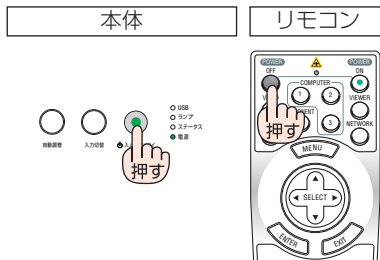


## 3-9. 本機の電源を切る

### 1 電源(入/スタンバイ) ボタンを押す。

画面に確認メッセージが表示されます。

- リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを押します。

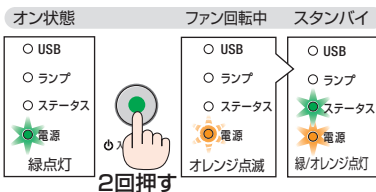
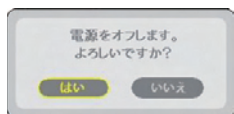


### 2 (ENTER(決定)) ボタンを押す。

ランプが消灯し、冷却ファンがしばらく回転します。冷却ファンの回転が終了すると、電源が切れスタンバイ状態になります。

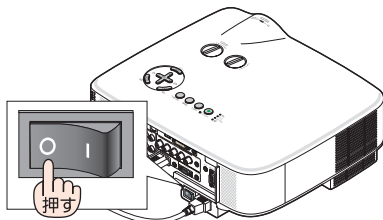
スタンバイ状態になると、電源インジケータがオレンジ色で点灯します。また、ステータスインジケータが緑色で点灯します。

- (ENTER(決定)) ボタンの代わりに、電源(入/スタンバイ) ボタンまたはリモコンの POWER (OFF) ボタンを押しても、電源が切れます。
- 電源を切らない場合は、(SELECT ◀▶) ボタンで「いいえ」を選んで(ENTER(決定)) ボタンを押します。



### 3 スタンバイ状態になったのを確認し、主電源スイッチを「○ (切)」にする。

本機の電源インジケータが消え、主電源が切れます。



#### 注意

- 投写中および冷却ファンの回転中に主電源スイッチを切ったり、AC 電源を切断する場合は、本機の電源を入れたあと（投写開始後）20 分以上経過してから行ってください。
- 投写中および冷却ファンの回転中に主電源スイッチを切ったり、AC 電源を切断すると、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。
- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、本機の主電源スイッチ、テーブルタップのスイッチ、ブレーカなどを利用してください。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

## 3-10. あとかたづけ

準備：本機の主電源スイッチが「○（切）」になっていることを確認してください。

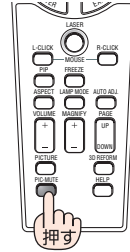
- 1 電源コードを取り外す。
- 2 各種信号ケーブルを取り外す。
- 3 チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。
- 4 レンズにレンズキャップを取り付ける。



# 4. 便利な機能

## 4-1. 映像と音声を消去する

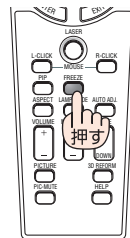
- 1 リモコンの (PIC-MUTE) ボタンを押す。  
投写されている画像と、内蔵スピーカおよび音声出力端子から出力されている音声が一時的に消えます。
  - もう一度 (PIC-MUTE) ボタンを押すと、画像と音声が出ます。



- 画像は消えますが、メニュー表示は消えません。

## 4-2. 動画を静止画にする

- 1 リモコンの (FREEZE) ボタンを押す。  
ビデオの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。
  - もう一度 (FREEZE) ボタンを押すと、動画に戻ります。



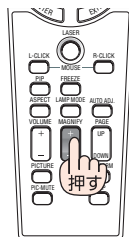
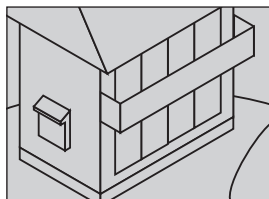
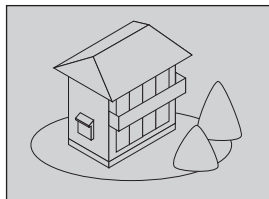
- (FREEZE) ボタンを押すと、押すときに投写されていた画像を本機のメモリに保存し、メモリ内の画像 (静止画) を投写します。静止画表示中、ビデオなどの映像再生は先に進行しています。

## 4-3. 映像を拡大する

### 1 リモコンの(MAGNIFY+)ボタンを押す。

押すごとに画像が拡大します。

- ・最大4倍まで拡大できます。



### 2 (SELECT)▼▲◀▶ ボタンを押す。

拡大した画像の表示領域が移動します。

### 3 (MAGNIFY-)ボタンを押す。

押すごとに画像が縮小します。

- ・もとのサイズに戻ると、それ以上押ししても縮小されません。



- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- 画面を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されず、拡大は解除されず。

## 4-4. ランプモードを切り替える

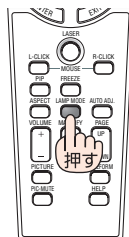
小さいスクリーンサイズで投写して画面が明るすぎる時や、暗い室内で投写する場合、ランプモードを「エコ」にし、ランプ交換時間（目安）\*を延ばすことができます。

ノーマルモード	ランプの輝度（明るさ）が100%になります。明るい画面になります。
エコモード	ランプの輝度（明るさ）が次のようになります。 ・ NP3250J、NP3250WJ …… 約 80% ・ NP2250J、NP1250J …… 約 88% ランプ交換時間（目安）*が延びます。 ランプの輝度（明るさ）が下がるのと連動し、冷却ファンの回転数も下がります。

※保証時間ではありません。

## 1 リモコンの (LAMP MODE) ボタンを押す。

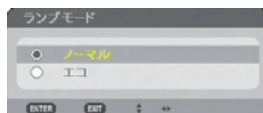
ランプモード選択画面が表示されます。



## 2 (SELECT ▼/▲) ボタンでランプモードを選択し、(ENTER) ボタンを押す。

ランプモードが切り替わります。

- ・ランプモードをもとに戻す場合は、手順**1****2**を繰り返します。



### 参考

- 電源を入れた直後のランプの点灯準備中、およびその後の電源インジケータ点滅中（約1分間）は、常にノーマルモードになります。また、この間は [ランプモード] の設定を変更しても、状態は変わりません。
- 本機に入力信号がない状態（ブルーバック、ブラックバック、またはロゴ表示のとき）のまま約1分経過すると、自動的にエコモードに切り替わります。その後、本機が入力信号を感知すると [ランプモード] はもとの状態に戻ります。
- ノーマルモードで使用時、室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的にエコモードに切り替わることがあります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。  
強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、ランプインジケータが緑色で点灯します。  
室温を下げたり、[ファンモード] ([167 ページ](#)) を「高速」に設定したりすることにより、本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、ノーマルモードに戻ります。  
強制エコモード中は、[ランプモード] の設定を変更しても、状態は変わりません。

## 4-5. 本機の操作説明を投写する

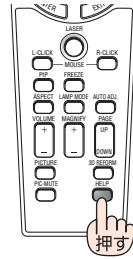
### 1 リモコンの (HELP) ボタンを押す。

- メニューが表示されていないときは、「ヘルプの使いかた」画面が表示されます。
- メニューが表示されているときは、カーソルが合っている機能の説明画面が表示されます。

### 2 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、説明画面をスクロールする。

### 3 (EXIT) ボタンを押す。

ヘルプ画面が閉じます。



### 注意

- ヘルプに記載している「RGB信号」と本書に記載している「コンピュータ信号」は同じ意味で使用しています。

## 4-6. 市販の USB マウスを使って操作する

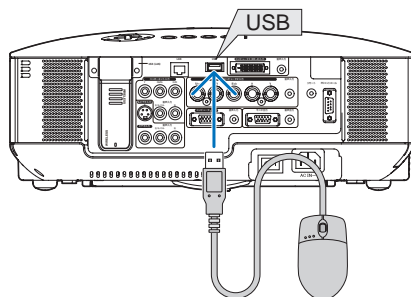
市販の USB マウスを本機に接続すると、USB マウスを使って、次の画面の操作をすることができます。

- Desktop Control Utility 1.0
- ビューワのサムネイル画面、スライド画面
- ネットワークの設定画面
- 信号リスト
- 4 点補正
- ツールの各画面
- ログオフ画面でのユーザーの切り替え
- セキュリティの設定画面
- プログラムタイマーの設定画面

### USB マウスの接続

USB マウスの平形プラグを、本機の USB ポートに差し込む。

- ・ USB マウスを接続すると、画面にマウスポインタが表示されます。
- ・ 約 10 秒間マウス操作を行わないと、マウスポインタは消えます。
- ・ 再びマウス操作を行うと、マウスポインタが表示されます。



### USB マウスでの操作

マウスポインタが表示されている画面で、選択したい項目にマウスポインタを移動し、左クリックする。

項目が選択されます。

#### 【操作例】



- ボタンや項目を左クリックすると、そのボタンや項目を選択できます。
- [?] を左クリックすると、その項目の [ヘルプ] を表示します。

**注意**

- 本機の USB ポートは、市販されているすべての USB マウスの動作を保証するものではありません。
- USB マウスの平形プラグを誤って LAN ポート (LAN) に挿入しないように注意してください。LAN ポートのコネクタが破損することがあります。

**参考**

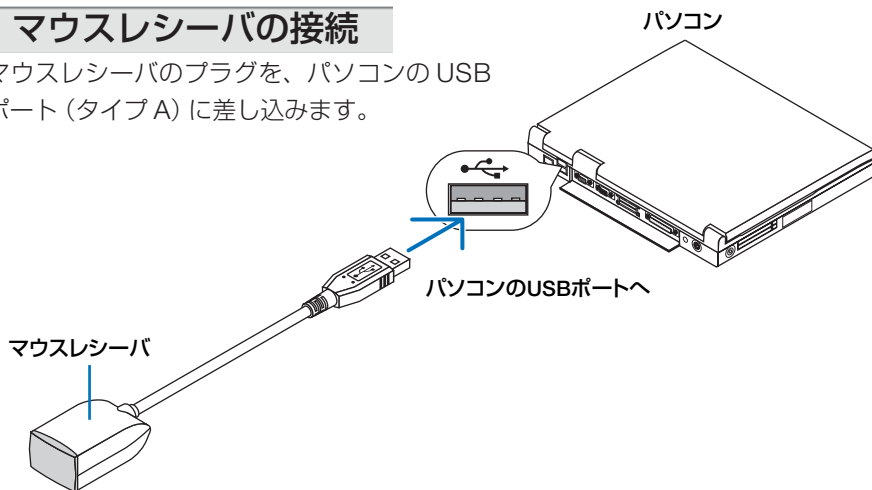
- “スクロールボタン” または “スクロールホイール” 付きの USB マウスの場合は、次の操作が行えます。
  - ・ [ヘルプ] などスクロールバーが表示されているメニュー上で、“スクロールボタン” または “スクロールホイール” を使ってスクロールすることができます。

## 4-7. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う

添付のマウスレシーバをパソコンに接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行うことができます。

### マウスレシーバの接続

マウスレシーバのプラグを、パソコンのUSBポート（タイプ A）に差し込みます。



#### 注意

- マウスレシーバは、次の OS において使用できます。  
Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/Windows Me/Windows 98  
Mac OS X10.0.0以降
- Windows XP の SP2 より前のバージョンで使用する場合は、「マウスのプロパティ」内の「ポインタオプション」タブの「ポインタの精度を高める」のチェックボックスをオフに設定してください。
- Mac OS 用の PowerPoint を使用しているときは、リモコンの **(PAGE UP/DOWN)** ボタンは動きません。
- パソコンの USB ポートからマウスレシーバのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと 5 秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、パソコンがマウスレシーバを正しく認識できないことがあります。

## リモコンを使ったパソコンのマウス操作

リモコンで以下のマウス操作ができます。

- (PAGE UP/DOWN) ボタン.....画面を上下にスクロールしたり、PowerPoint の画面を切り替えます。
- (SELECT ▼▲◀▶) ボタン ..... マウスポインタを移動します。
- (L-CLICK) ボタン ..... マウスの左クリックの働きをします。
- (R-CLICK) ボタン ..... マウスの右クリックの働きをします。

### 注意

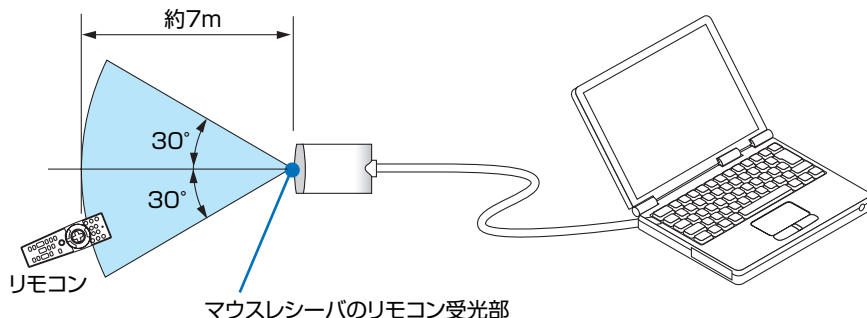
- 本機のオンスクリーンメニューを表示しているときに (SELECT ▼▲◀▶) ボタンでパソコンのマウス操作を行うと、メニューとマウスポインタの両方が動作します。オンスクリーンメニューを消した状態でマウス操作を行ってください。
- Mac OS 用の PowerPoint を使用しているときは、リモコンの (PAGE UP/DOWN) ボタンは動きません。

### 参考

- マウスポインタの動く速さは、Windows の「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、パソコンのオンラインヘルプまたは取扱説明書をご覧ください。
- 本機のリモコンでドラッグ・アンド・ドロップを行えます。
  - ① マウスポインタでアイコンを選択する。
  - ② (L-CLICK) (または (R-CLICK)) ボタンを 2 秒以上押し続けて離す。  
ドラッグモードになります。
  - ③ (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押す。  
選択したアイコンが移動します。
  - ④ (L-CLICK) (または (R-CLICK)) ボタンを押す。  
アイコンがドラッグ・アンド・ドロップされます。
    - ・ ドラッグモードを解除するには、(R-CLICK) (または (L-CLICK)) ボタンを押します。

## リモコンの有効範囲

リモコン送信部をマウスレシーバのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコン信号が受信できます。





## 4-8. 台形歪みを調整する（4点補正）

[4点補正] 画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。リモコンのほか、USB マウスでも調整ができます。（[71 ページ](#)）



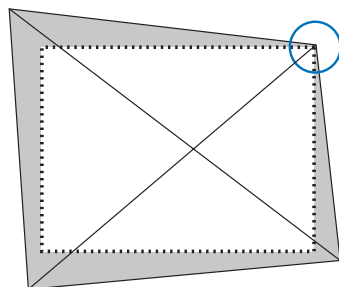
- NP3250J/NP2250J/NP1250J の場合、オンスクリーンメニューの [スクリーン設定] で「ワイドスクリーン」が選択されているときに4点補正を表示すると、16:9の画面を表す線が表示されます。この線の外側に表示される四角形の角を選択して調整してください。  
NP3250WJ の場合は、オンスクリーンメニューの [スクリーン設定] で「4:3 スクリーン」が選択されているときに4点補正を表示すると、4:3の画面を表す線が表示されます。

### 1 (3D REFORM) ボタンを2秒以上押す。

[台形補正] または [4点補正] の調整値がクリアされます。

### 2 スクリーンがすべて含まれるように、投写画面の範囲を調整する。

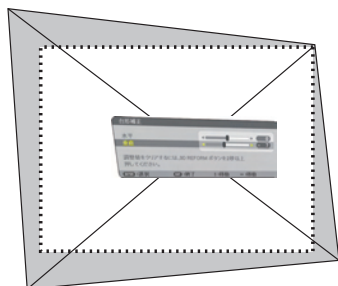
### 3 スクリーンと投写画面の角を合わせる（図は右上の角）。



### 4 (3D REFORM) ボタンを押す。

[台形補正] 画面が表示されます。

- ・ [台形補正] 画面の操作については、「3-5. 台形歪みを調整する」([54 ページ](#))をご覧ください。



**5** もう一度(3D REFORM)ボタンを押す。

[4点補正]画面に切り替わります。

**注意**

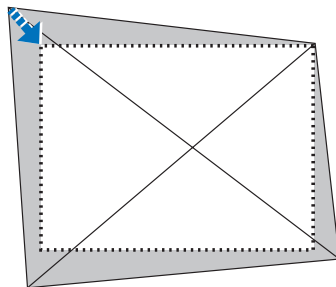
- すでに[台形補正]画面で調整しているとき、または[幾何学補正]を設定しているとき、[4点補正]画面は表示されません。表示されない場合は、(3D REFORM)ボタンを2秒以上押して[台形補正]の調整値をクリアしてください。



**6** (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ(図は左上の▼)。

**7** (ENTER(決定)) ボタンを押す。

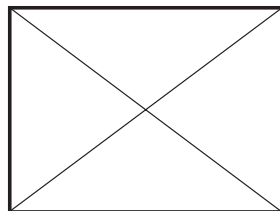
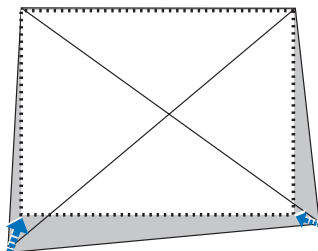
**8** (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、投写画面の角がスクリーンの角に近付くように動かす。



**9** (ENTER(決定)) ボタンを押す。

**10** (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。

**11** 手順**7**～**10**を繰り返し、台形歪みを調整する。



**12** 台形歪みの調整が終わったら、[4点補正]画面で[終了]を選んで、(ENTER(決定)) ボタンを押す。

調整終了画面が表示されます。



### 13 (SELECT ◀▶) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER(決定)) ボタンを押す。

4点補正の調整が確定されます。

- ・ [取消] を選択して (ENTER(決定)) ボタンを押すと、[4点補正] 画面に戻ります。

#### 注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の4点補正の調整値を保持しています。
- 4点補正の調整値をクリアする場合は、手順18で [リセット] を選び、(ENTER(決定)) ボタンを押します。または、[4点補正] 画面で(3D REFORM) ボタンを2秒以上押します。
- [4点補正] は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

#### 参考

- 市販のUSBマウスを本機に接続すると、[4点補正] をUSBマウスで操作することができます。その場合、「4点補正」画面は表示されません。左クリックで4つの角の位置合わせを行い、右クリックで調整終了画面を表示します。USBマウスの接続については [65 ページ](#) をご覧ください。
- 4点補正および台形補正での調整範囲は次のとおりです。

	水平方向	垂直方向
4点補正	最大 土約 40 度	最大 土約 30 度
台形補正		

上記の最大調整範囲の条件（以下のすべてを満たす場合）

- ・ 標準レンズを使用している場合。
- ・ レンズシフトの位置がセンターの場合。  
レンズシフトを使用し、センターでない場合は調整範囲が増減します。
- ・ ズームレバーをワイド側に最大にした場合。

## 4-9. 2つの映像を同時に投写する

本機1台で2つの映像を同時に投写することができます。この機能には「ピクチャーインピクチャー機能」と「サイドバイサイド機能」があります。

1画面表示の投写映像を主画面（MAIN）、あとから呼び出した投写映像を子画面または副画面（SUB）と呼びます。

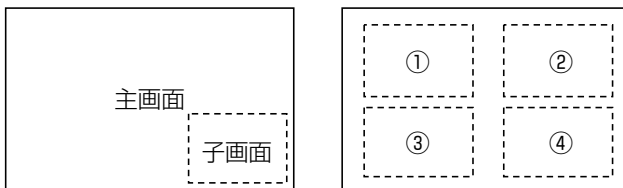
どちらの機能で投写するかは、オンスクリーンメニューの[セットアップ]→[ベーシック]→[PIP/SIDE BY SIDE]→[モード]で選択できます（工場出荷状態はPIPです）。

[\(139 ページ\)](#)

- 電源を入れたときは1画面投写です。

### ●ピクチャーインピクチャー機能

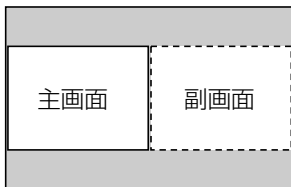
主画面の中に小さな子画面を表示します。



- 子画面は、スクリーンの左上、右上、右下および左下の4つの位置から1つ選んで表示できます（大きさ固定）。

### ●サイドバイサイド機能

主画面と副画面を左右に並べて表示します。



- 主画面は左側に固定され、副画面との入れ替えはできません。

### ●主画面および子画面（または副画面）にできる信号

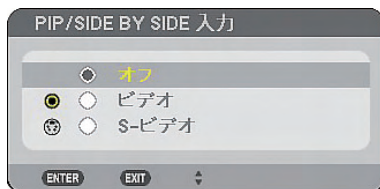
主画面および子画面（または副画面）は次の信号を投写します。

主画面	コンピュータ 1、コンピュータ 2
子画面（または副画面）	ビデオまたは S-ビデオ映像入力端子

- 主画面は、1280 × 1024 ドット以下のコンピュータ信号に対応しています。

## 2 画面を投写する

- 1 リモコンの **(PIP)** ボタンを押す。  
PIP/SIDE BY SIDE 入力メニューを表示します。



- 2 **(SELECT ▼/▲)** ボタンで入力信号を選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。

PIP/SIDE BY SIDE の [モード] で設定している「PIP」(ピクチャーインピクチャー)または「SIDE BY SIDE」(サイドバイサイド)画面が投写されます。(▶ 139 ページ)

- ・ 信号名が薄く表示されているときは、選択できないことを表しています。
- ・ **(PIP)** ボタンを続けて押しても信号の選択ができます。

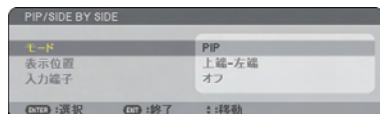
- 3 1 画面に戻りたい場合は、もう一度リモコンの **(PIP)** ボタンを押す。



- ・ 入力信号を切り替えると 1 画面投写に戻ります。
- ・ 2 画面を投写中、主画面または子画面 (副画面) に対応していない信号が入力された場合は 1 画面に戻ります。

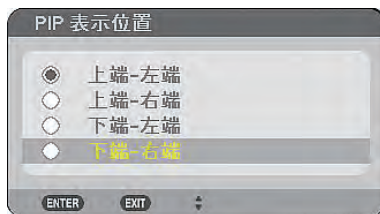
## ピクチャーインピクチャー画面の表示位置を選択する

- 1 オンスクリーンメニューから「PIP/SIDE BY SIDE」画面を表示する。



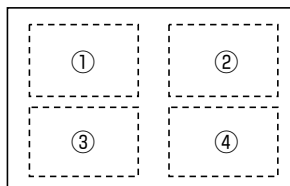
- ・ 「PIP/SIDE BY SIDE」画面は、オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [ベーシック] → [PIP/SIDE BY SIDE] で表示できます。オンスクリーンメニューについて詳しくは、本書の「6. オンスクリーンメニュー」(▶ 114 ページ)をご覧ください。

- 2 **(SELECT ▼/▲)** ボタンで [表示位置] を選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
「PIP 表示位置」画面が表示されます。



**3** (SELECT ▼/▲) ボタンで選択したい項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

- ・「上端 - 左端」…子画面を右図の①に表示する。
  - ・「上端 - 右端」…子画面を右図の②に表示する。
  - ・「下端 - 左端」…子画面を右図の③に表示する。
  - ・「下端 - 右端」…子画面を右図の④に表示する。
- 表示モードが設定されます。



「PIP 表示位置」画面が消え、「PIP/SIDE BY SIDE」画面に戻ります。

**4** (EXIT) ボタンを 4 回押す。  
オンスクリーンメニューが消えます。

### 制限事項

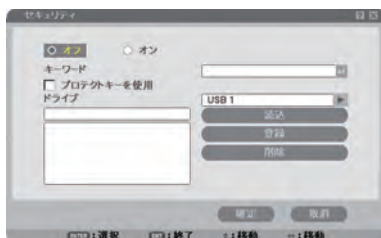
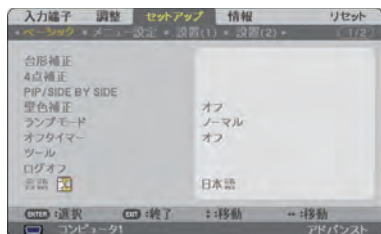
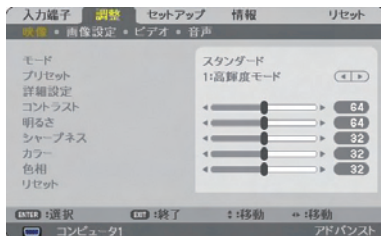
- 次の操作は、主画面のみ有効です。
  - ・映像または音声の各種調整
  - ・(MAGNIFY +/-) ボタンによる映像の拡大／縮小
- 次の操作は、主画面および子画面（または副画面）の両画面で有効です。個別に適用することはできません。
  - ・画像 / 音声の一時的な消去
  - ・動画の一時停止

## 4-10.セキュリティを設定して無断使用を防止する

キーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにキーワード入力画面が表示され、正しいキーワードを入力しなければ映像は投写されません。

### キーワードを入力し、セキュリティをオンにする

- 1** **MENU(メニュー)** ボタンを押す。  
オンスクリーンメニューが表示されます。
- 2** **SELECT▶** ボタンを押して[セットアップ]にカーソルを合わせ、**ENTER(決定)** ボタンを押す。  
[ベーシック]にカーソルが移動します。
- 3** **SELECT▶** ボタンを押して [設置(2)] にカーソルを合わせる。
- 4** **SELECT▼** ボタンを押して[セキュリティ設定]にカーソルを合わせ、**ENTER(決定)** ボタンを押す。
- 5** **SELECT▼** ボタンを押して [セキュリティ]にカーソルを合わせ、**ENTER(決定)** ボタンを押す。  
セキュリティ画面が表示されます。
- 6** **SELECT▼** ボタンを押して[キーワード]入力欄にカーソルを合わせ、**ENTER(決定)** ボタンを押す。  
文字入力画面が表示されます。





- キーワードは、忘れないようにメモしておいてください。

## リモコンの場合

① 入力したい文字が含まれる行（横のライン）のリモコンのボタン(MENU)(AUTO ADJ.) (SELECT ▲) (SELECT ▼) (SELECT ▶) (SELECT ◀) を押す。

例：「C」を入力する場合は、(SELECT ▲) ボタンを押します。

② 入力したい文字が含まれる列（縦のライン）のリモコンのボタン(MENU)(AUTO ADJ.) (SELECT ▲) (SELECT ▼) (SELECT ▶) (SELECT ◀) を押す。

例：「C」を入力する場合は、(MENU) ボタンを押します。

文字以外の項目は、次のような働きをします。

- ・(EXIT) ..... カーソルの左側にある 1 文字を消します。
- ・(ENTER) ... 入力した文字を確定して、文字入力画面を閉じます。



## マウス操作の場合

ダイレクトに英数字をクリックします。

文字以外の項目は、次のような働きをします。

- ・[BS] ..... カーソルの左側にある 1 文字を消します。
- ・[リターンマーク] ... 入力した文字を確定して、文字入力画面を閉じます。

⑦ (SELECT ▲) ボタンを押して「オフ」にカーソルを合わせ、(SELECT ◀▶) ボタンを押す。

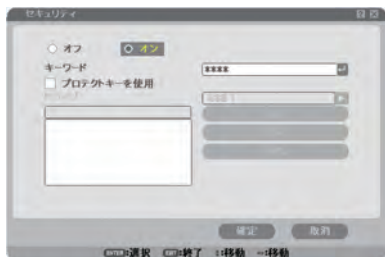
「オン」にカーソルが合います。

⑧ (SELECT ▼) ボタンを押して【確定】にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

⑨ メッセージを確認し、(SELECT ◀▶) ボタンで【はい】にカーソルを合わせ (ENTER (決定)) ボタンを押す。

セキュリティの「オン」、「オフ」の変更は、次の電源オンから有効になります。





## セキュリティを確認する

本機の電源をいったん切り、再び電源を入れてセキュリティの設定を確認します。

- 1 本機の電源を切るために、電源 (入/スタンバイ) ボタンを 2 回押す。**

ランプが消灯し、電源インジケータがオレンジ色で点滅します。  
電源インジケータがオレンジ色の点滅から点灯に変わるまで、しばらく待ちます。
- 2 電源インジケータがオレンジ色の点灯に変わったら、主電源スイッチを「○ (切)」にする。**

本機の電源が切れます。
- 3 再度主電源スイッチを「I (入)」にする。**

電源インジケータがオレンジ色で点灯し、スタンバイ状態になります。
- 4 電源 (入/スタンバイ) ボタンを 2 秒以上押す。**

本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」とメッセージが表示されます。
- 5 (MENU (メニュー)) ボタンを押す。**

キーワード入力画面が表示されます。
- 6 (ENTER (決定)) ボタンを押す。**

文字入力画面が表示されます。
- 7 75 ページの手順 6 を参照し、キーワードを入力する。**

1 文字入力するごとに「\*」が表示されます。キーワード入力欄に実際の文字は表示されません。
- 8 文字入力が終わったら、キーワード入力画面で [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。**

キーワード入力画面が消え、本機が使用できるようになります。



## セキュリティの設定をオフにする

### 1 MENU(メニュー) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます。



- 本機の電源を入れた直後など、投写画面の下部に「セキュリティロック中です。」と表示されているときにMENU(メニュー) ボタンを押すと、キーワード入力画面が表示されます。そのときは、もう一度MENU(メニュー) ボタンを押すと、オンスクリーンメニューが表示されます。

### 2 SELECT▶ ボタンを押して[セットアップ]にカーソルを合わせ、ENTER(決定) ボタンを押す。

[ベーシック]にカーソルが移動します。

### 3 SELECT▶ ボタンを押して、[設置(2)]にカーソルを合わせる。

### 4 SELECT▼ ボタンを押して[セキュリティ設定]にカーソルを合わせ、ENTER(決定) ボタンを押す。

### 5 SELECT▼ ボタンを押して[セキュリティ]にカーソルを合わせ、ENTER(決定) ボタンを押す。

キーワード入力画面が表示されます。

### 6 ENTER(決定) ボタンを押す。

文字入力画面が表示されます。

### 7 75 ページの手順6を参照し、キーワードを入力する。

1文字入力するごとに「\*」が表示されます。キーワード入力欄に実際の文字は表示されません。



- 8** 文字入力が終わったら、キーワード入力画面で【確定】にカーソルを合わせ、**ENTER(決定)** ボタンを押す。

キーワード入力画面が消え、セキュリティ画面が表示されます。

- 9** 【オン】にカーソルが合っていることを確認し、**SELECT ◀** ボタンを押して【オフ】にカーソルを合わせる。

- 10** **SELECT ▼** ボタンを押して【確定】にカーソルを合わせ、**ENTER(決定)** ボタンを押す。

セキュリティの「オン」、「オフ」の変更は、次の電源オンから有効になります。

**注意**

- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、お客様お問い合わせ窓口（NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター [▶裏表紙](#)）にご連絡ください。

## 4-11.「アドバンスト」メニューと「ベーシック」メニューを切り替える

アカウント機能を使うと、オンスクリーンメニューに表示される項目をユーザーごとに制限することができます。プロジェクターの管理者と一般ユーザーで設定操作をする項目を分けたい場合などに使用します。

### 概要

本機の「オンスクリーンメニュー」(121 ページ)には、「アドバンスト」メニューと「ベーシック」メニューの2種類があります。

- (1) 「アドバンスト」メニュー 全ての項目を表示するメニューです。詳細な設定まで変更できます。「管理者アカウント」または、「アドバンストアカウント」を持つユーザーが操作できます。
- (2) 「ベーシック」メニュー 日常、プロジェクターを利用する際に使用する基本的な項目に絞ったメニューです。「ベーシックアカウント」を持つユーザーが操作できます。

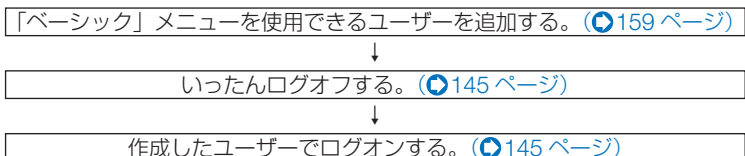
「アドバンスト」メニューと「ベーシック」メニューで設定できる具体的な項目については、121 ページをご覧ください。

### 注意

- 工場出荷時には、パスワード設定がされていない管理者アカウントを持つユーザーが登録されています。このためアカウントの項目をパスワード入力なしで設定できません。

### 「アドバンスト」メニューと「ベーシック」メニューの切り替え

オンスクリーンメニューを「アドバンスト」メニューから「ベーシック」メニューに切り替えるには、次の操作を行ってください。



## 4-12.HTTP を使用したブラウザによる操作

### 概要

HTTP サーバ機能を使用することにより、Web ブラウザから本機を操作することができます。なお、Web ブラウザは「Microsoft Internet Explorer 6.x」以上を必ず使用してください。

本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

HTTP サーバ機能へのアクセスは、本機とネットワークで接続されたパソコンで Web ブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ

http://〈本機の IP アドレス〉/index.html と指定することで行えます。

セキュリティ設定で HTTP サーバのパスワード設定をしているとログオン画面を表示します。ユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザ名は、お好みの文字列を入力してください。

ユーザー名：最大 16 の英数文字列

パスワード：最大 10 の英数文字列

### 注意

- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。  
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- HTTP サーバ機能と添付の User Supportware 6 CD-ROM に収録している PC Control Utility 3.0 を同時に使用しないでください。接続できなかったり、通信に時間がかかることがあります。

### 使用前の準備

ブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に対して、ネットワークとの接続と設定を行ってください。(40 ページ)

プロキシサーバの種類や設定方法によっては、プロキシサーバを経由したブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。極力プロキシサーバは使用しないことをおすすめします。

### ブラウザによる操作のアドレスの扱い

ブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

(例 1) 本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合  
 HTTP サーバ機能へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ  
 http://pj.nec.co.jp/index.html と指定します。

(例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合  
 HTTP サーバ機能へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ  
 http://192.168.73.1/index.html と指定します。

## HTTP サーバの構成



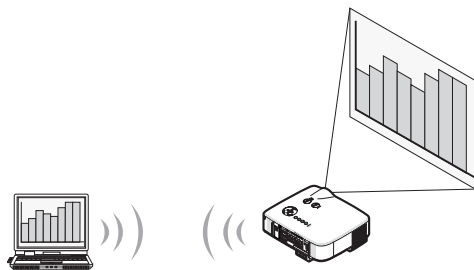
<b>POWER</b>	<p>本機の電源をオン/オフします。</p> <p>ON 電源をオンにします。</p> <p>OFF 電源をオフにします。</p>
<b>VOLUME</b>	<p>本機の音量をコントロールします。</p> <p>▲ 音量調整値をアップします。</p> <p>▼ 音量調整値をダウンします。</p>
<b>AV-MUTE</b>	<p>本機の MUTE をコントロールします。</p> <p>PICTURE  映像をミュート（一時的に消去）します。</p> <p>PICTURE  映像ミュートを解除します。</p> <p>SOUND  音声をミュート（一時的に消去）します。</p> <p>SOUND  音声ミュートを解除します。</p> <p>OSD  メニュー表示をミュート（一時的に消去）します。</p> <p>OSD  メニュー表示のミュートを解除します。</p> <p>ALL ON 映像、音声、メニュー表示をすべてミュート（一時的に消去）します。</p> <p>ALL OFF 映像、音声、メニュー表示のミュートをすべて解除します。</p>
<b>PICTURE</b>	<p>本機の映像調整をコントロールします。</p> <p>BRIGHTNESS ▲ 明るさの調整値をアップします。</p> <p>BRIGHTNESS ▼ 明るさの調整値をダウンします。</p> <p>CONTRAST ▲ コントラストの調整値をアップします。</p> <p>CONTRAST ▼ コントラストの調整値をダウンします。</p> <p>COLOR ▲ カラーの調整値をアップします。</p> <p>COLOR ▼ カラーの調整値をダウンします。</p> <p>HUE ▲ 色相の調整値をアップします。</p> <p>HUE ▼ 色相の調整値をダウンします。</p> <p>SHARPNESS ▲ シャープネスの調整値をアップします。</p> <p>SHARPNESS ▼ シャープネスの調整値をダウンします。</p>

※ 本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「6-4 調整」の「明るさ/コントラスト/シャープネス/カラー/色相」([131 ページ](#))をご覧ください。

<b>SOURCE SELECT</b>	<b>本機の入力端子を切り替えます。</b>	
	COMPUTER 1	コンピュータ 1 映像入力に切り替えます。
	COMPUTER 2	コンピュータ 2 映像入力に切り替えます。
	COMPUTER 3	コンピュータ 3 (DVI-D) 映像入力に切り替えます。
	COMPONENT	コンポーネント映像入力に切り替えます。
	VIDEO	ビデオ映像入力に切り替えます。
	S-VIDEO	S-ビデオ映像入力に切り替えます。
	VIEWER	本機にセットした USB メモリのデータ表示に切り替えます。
	NETWORK	ネットワークから送られてくるデータ表示に切り替えます。
<b>PROJECTOR STATUS</b>	<b>本機の状態を表示します。</b>	
	LAMP LIFE REMAINING	ランプの残り使用時間を%表示します。
	LAMP HOURS USED	ランプの使用時間を表示します。
	FILTER HOURS USED	フィルタの使用時間を表示します。
	ERROR STATUS	本機内部のエラー発生状況を表示します。
<b>LOG OFF</b>	<b>ログオフして認証画面 (ログオン画面) に戻ります。</b>	

## 4-13.LAN 経由でパソコンの画面を本機へ送信して投写する（ネットワークプロジェクタ）

お使いのパソコンと同一のネットワークに接続されているプロジェクター（本機）を選択し、パソコンの画面イメージをネットワーク経由でスクリーンに投写できます。コンピュータ接続ケーブルで接続する必要がありません。



- この機能を利用するために必要な動作環境は次のとおりです。
  - ・ 対応 OS
    - ・ Windows Vista（32bit 版）Home Premium
    - ・ Windows Vista（32bit 版）Business
    - ・ Windows Vista（32bit 版）Ultimate
    - ・ Windows Vista（32bit 版）Enterprise

（注）Windows Vista Home Basic では使用できません。
  - ・ ハードウェア仕様  
マイクロソフトが Windows Vista の動作環境として推奨しているスペックを満たしていること。
  - ・ ネットワーク環境  
TCP/IP をサポートした LAN または無線 LAN 環境必須
  - ・ 画面の色  
High Color（16 ビット）  
True Color（24 ビット、32 ビット）  
（注）256 色以下には対応していません。



## ●本機をネットワークプロジェクタ入力モードにする

### 1 本機の電源が入っている状態でプロジェクター本体の(入力切替)ボタンを押す。

信号選択画面が表示されます。

- ・ リモコンの場合は(NETWORK)ボタンを押します。  
ネットワークメニュー画面が表示されます。手順3に進みます。



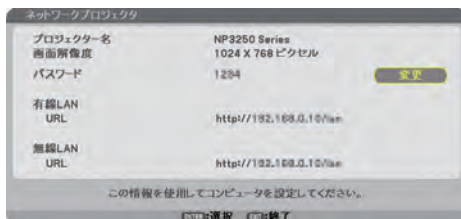
### 2 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して「ネットワーク」を選択し、(ENTER(決定)) ボタンを押す。

「ネットワークメニュー」が表示されます。



### 3 ネットワークメニューから「ネットワークプロジェクタ」を選択する。

画面に「プロジェクター名/画面解像度/パスワード/URL」が表示されます。



**参考**

- 工場出荷状態のパスワード「1234」を変更する場合は、[変更] を選択します（ネットワークプロジェクト画面で(ENTER(決定)) ボタンを押します）。パスワード入力画面が表示されます。8文字以内の数字でパスワードを入力します。変更したパスワードは本機内に記憶され、次回以降ネットワークプロジェクト画面に表示されます。

## ● Windows Vista の画面の解像度を変更する

- Windows Vista Service Pack 1 (SP1) を使用している場合は、以下の操作を省略し、次ページの「●ネットワークプロジェクトを使って画面を投写する」に進んでください。

- 1 Windows Vista のデスクトップ画面で [スタート] ボタンをクリックする。
- 2 [コントロールパネル] をクリックする。
- 3 [デスクトップのカスタマイズ] の下に表示されている [画面の解像度の調整] をクリックする。
- 4 [解像度 (R)] のスライダーを操作してネットワークプロジェクトの画面に表示されている [画面の設定] の解像度に変更する。



- 5 [OK] をクリックする。  
「この画面設定をそのままにしますか？」と表示されます。

- 6 [はい (Y)] をクリックする。  
Windows Vista の画面の解像度がネットワークプロジェクトの画面に表示されている [画面の設定] の解像度に変更されました。

## ● ネットワークプロジェクトを使って画面を投写する

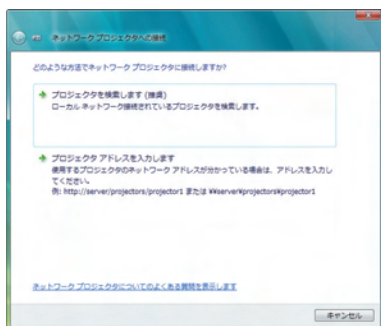
**1** Windows Vista のデスクトップ画面で [スタート] ボタンをクリックする。

**2** [すべてのプログラム] をクリックする。

**3** [アクセサリ] をクリックする。

**4** [ネットワークプロジェクトへの接続] をクリックする。

- ・ 「ネットワークプロジェクトへの接続のためのアクセス許可」画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。
- ・ 「ネットワークプロジェクトへの接続」画面が表示されます。



**5** [→プロジェクトを検索します (推奨)] をクリックする。

「利用できるプロジェクト (P)」欄に「プロジェクト名」が表示されます。

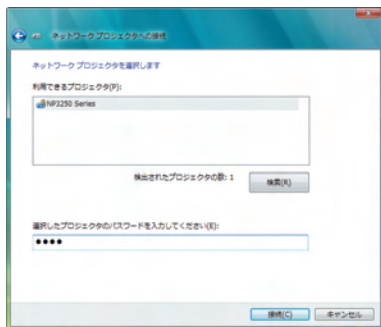
- ・ 本機の工場出荷時のプロジェクト名には「NP3250 Series」が設定されています。

**6** [NP3250 Series] をクリックする。

画面の下方に「選択したプロジェクトのパスワードを入力してください (E)」と表示されます。

**7** 本機で投写した画面に表示されているパスワードを確認する。

- 8** 85 ページの手順**3**の操作で表示されたパスワードをパスワード入力欄へ入力する。



**9** [接続 (C)] をクリックする。

ネットワークプロジェクタ機能が働き、Windows Vista の画面が本機から投写されます。

- Windows Vista Service Pack 1 (SP1) を使用している場合、Windows Vista の画面解像度とプロジェクターの画面解像度が異なると、Windows Vista の画面解像度を変更するメッセージ画面が表示されます。「はい」を選択すると Windows Vista の画面解像度を変更しネットワークプロジェクタ機能を実行します。「いいえ」を選択するとネットワークプロジェクタ機能を中止します。

**注意**

- ネットワークプロジェクタ機能が働くと同時に、デスクトップの背景が黒色に変わります。  
ネットワークプロジェクタ機能を終了すると、もとの背景に戻ります。

**参考**

- 手順**5**で本機が検索できないときは、「→プロジェクタ アドレスを入力します」をクリックします。そして、本機から投写された画面に表示されているアドレス（入力例: <http://10.32.97.61/wlan>）とパスワード（入力例: 82291627）を入力します。

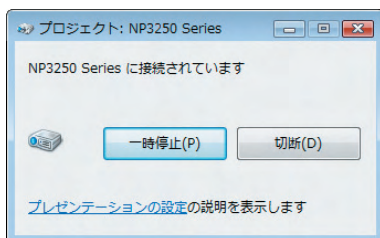
● ネットワークプロジェクトを終了する

- 1 Windows Vista のタスクトレイの [プロジェクト : NP3250 Series] をクリックする。



- 2 [切断 (D)] をクリックする。

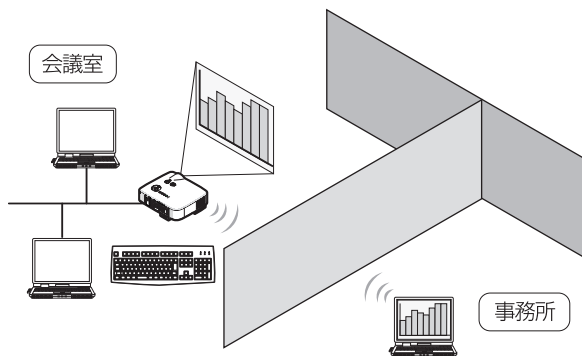
ネットワークプロジェクト機能が終了します。



- 3 本機の (入力切替) ボタンを押して、[ネットワーク] 以外の入力端子を選択する。

## 4-14. 本機から LAN 経由でパソコンを操作する（リモートデスクトップ）

- プロジェクター（本機）と同一のネットワークに接続しているパソコンを選択し、パソコンの画面イメージをネットワーク経由でスクリーンに投写します。そして、市販のキーボードを操作することにより、ネットワークで接続しているパソコンの Windows Vista または Windows XP を操作します。
- リモートデスクトップ機能により、プロジェクター（本機）から離れたところに設置してあるパソコンを遠隔操作できます。

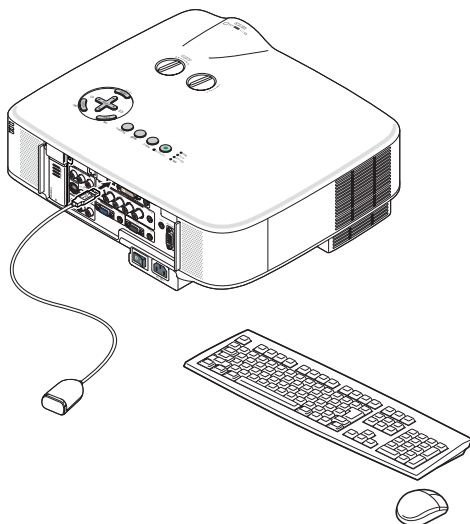


- この機能を使用できる Windows Vista の種類等については、[84 ページ](#)をご覧ください。  
なお、[84 ページ](#)の記載に加え、Windows Vista (32bit 版) Home Premium では、リモートデスクトップ機能は使用できません。
- 本書では Windows Vista を例にしてこの機能を説明していますが、Windows XP Professional Service Pack 2 (SP2) 以降でもこの機能を使用できます。
- リモートデスクトップを行う際は、USB キーボードをプロジェクター本体に接続する必要があります。
- リモートデスクトップは、USB キーボードだけでも操作できますが、さらに USB マウスを使用すると操作性が向上します。  
USB キーボードおよび USB マウスは、パソコン用として市販されている製品をお使いください。
- キーボードとマウスを同時に使用したい場合は、USB ワイヤレスレシーバーを使用するタイプのパソコン用として市販されているワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスをお使いください。  
ただし、本機の USB ポートは、市販されているすべてのキーボードおよびマウスの動作を保証するものではありません。
- USB ハブを内蔵している USB キーボードは使用できません。また、Bluetooth 接続のワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスは使用できません。
- リモートデスクトップのログイン画面では、英字配列キーボード（通称 101 キーボード）を使用してください。日本語キーボード（JIS 配列キーボードなど）を使用した場合、キーに印刷された文字と異なる文字が入力されることがあります。

## ●ワイヤレスキーボードを準備する

※次のイラストは、市販のUSB ワイヤレスレシーバーを使用するタイプのワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの例です。製品によって形状や仕様が異なります。

- 1 USB ワイヤレスレシーバーの USB 端子を本機の USB ポートに差し込む。



## ● Windows Vista のユーザーアカウントにパスワードを設定する

※すでにユーザーアカウントにパスワードが設定されている場合は、以下の手順⑨までの操作は省略できます。

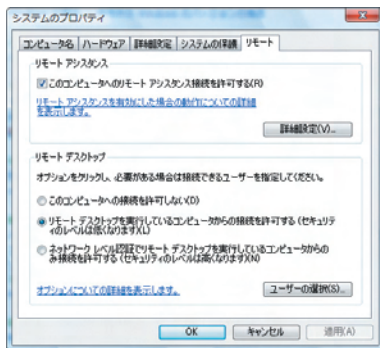
- 1 Windows Vista のデスクトップ画面で [スタート] ボタンをクリックする。
- 2 [コントロールパネル] をクリックする。
- 3 [ユーザーアカウントと家族のための安全設定] の下に表示されている [ユーザーアカウントの追加または削除] をクリックする。
- 4 ユーザーアカウント制御の確認画面が表示されたら、[続行 (C)] をクリックする。
- 5 [Administrator] をクリックする。
- 6 [アカウントのパスワードの作成] をクリックする。
- 7 [新しいパスワード] 欄にパスワードを入力する。
- 8 [新しいパスワードの確認] 欄に手順7と同じパスワードを入力する。
- 9 [パスワードの作成] をクリックする。  
Administrator が「パスワード保護」に変わりました。

## ● リモートアクセスの許可を設定する

- 1 Windows Vista のデスクトップ画面で [スタート] ボタンをクリックする。
- 2 [コントロールパネル] をクリックする。
- 3 [システムとメンテナンス] をクリックする。
- 4 [システム] の下に表示されている [リモートアクセスの許可] をクリックする。
- 5 ユーザーアカウント制御の確認画面が表示されたら、[続行 (C)] をクリックする。  
「システムのプロパティ」画面が表示されます。



- 6** リモートデスクトップ欄の [リモートデスクトップを実行しているコンピュータからの接続を許可する (セキュリティのレベルは低くなります) (L)] をクリックし、[OK] をクリックする。



## ● Windows Vista 側の IP アドレスを確認する

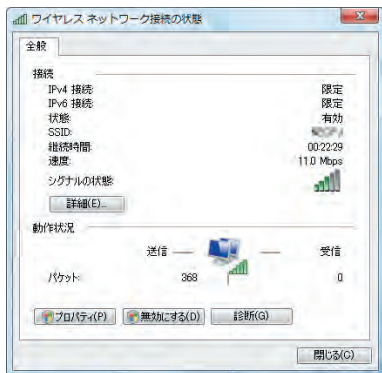
- 1** Windows Vista のデスクトップ画面で [スタート] ボタンをクリックする。

- 2** [コントロールパネル] をクリックする。

- 3** [ネットワークインターネット] の下に表示されている [ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックする。

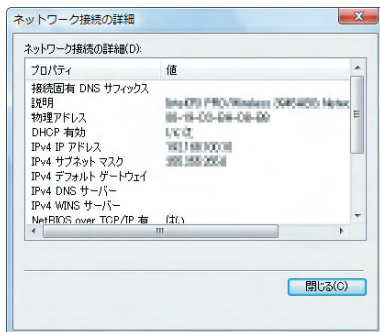
- 4** 無線 LAN で接続している場合は、画面の [ワイヤレスネットワーク接続 (xxxxxxx)] の右に青色で表示されている [状態の表示] をクリックする。

「ワイヤレスネットワーク接続の状態」画面が表示されます。



## 5 [詳細 (E)] をクリックする。

表示された「IPv4 IP アドレス」の値 (xxx.xxx.xxx.xxx) をメモします。



## 6 [閉じる (C)] をクリックする。

## 7 ウィンドウの右上の [X] をクリックする。

デスクトップ画面に戻ります。

## ● リモートデスクトップを開始する

### 1 本機の電源が入っている状態でプロジェクター本体の (入力切替) ボタンを押す。

信号選択画面が表示されます。

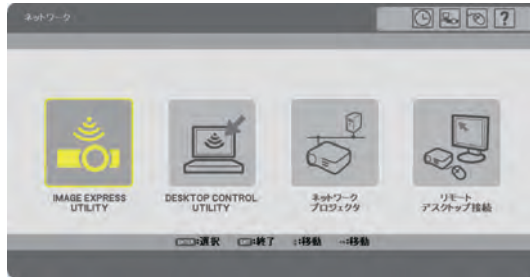
・リモコンの場合は (NETWORK) ボタンを押します。

「ネットワークメニュー」が表示されます。手順 3 に進みます。



- 2** (SELECT ▼/▲) ボタンを押して「ネットワーク」を選択し、(ENTER (決定)) ボタンを押す。

「ネットワークメニュー」が表示されます。



- 3** マウスを操作して、「リモートデスクトップ接続」をクリックする。  
「リモートデスクトップ接続」画面が表示されます。



- 4** マウスを操作して、Windows Vista 側の IP アドレスを入力し、「接続」をクリックする。

本機で投写した画面に Windows Vista のログオン画面が表示されます。

- 5** キーボードを操作して、ユーザーのパスワードを入力し、「[Enter] キー」を押す。

リモートデスクトップが開始され、本機で投写した画面に Windows Vista のデスクトップが表示されます。

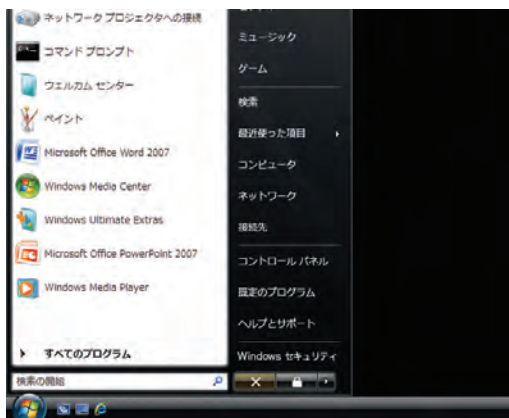
パソコンはログアウトします。キーボードを使って、Windows Vista を操作します。



- リモートデスクトップで投写した場合、デスクトップの背景が黒色に変わります。

## ● リモートデスクトップを終了する

- 1 マウスを操作して、本機から投写されているデスクトップ画面の [スタート] ボタンをクリックする。



- 2 スタートメニューの右側にある [X] をクリックする。

リモートデスクトップが終了します。

- 3 本機の (入力切替) ボタンを押して、[ネットワーク] 以外の入力端子を選択する。

・リモコンの場合は、(NETWORK)以外の入力端子のボタンを押します。

### 参考

- リモートデスクトップの [オプション] 設定について  
リモートデスクトップの [オプション] 設定では、リモートデスクトップの操作中において、デスクトップの背景を表示したり、ウィンドウアニメーションなどを有効にすることができます。  
ただし、[オプション] 設定を変更すると、リモートデスクトップ操作中の画面表示やマウスの動作が遅くなります。[オプション] 設定は、工場出荷時の設定のままにしておくことをおすすめします。

設定項目	チェックを外しているときの動作	工場出荷時の設定
デスクトップの背景	デスクトップの背景を黒1色で表示します。	チェックなし
メニューとウィンドウアニメーション	メニューとウィンドウのアニメーション効果を無効にします。	チェックなし
テーマ	テーマを使用しません。	チェックあり
ドラッグ中にウィンドウの内容を表示	ウィンドウをドラッグするとき、ウィンドウの枠だけを表示します。	チェックなし

# 5. ビューワを使う

## 5-1. ビューワでできること

ビューワとは、本機の USB ポートにセットした USB メモリ内のデータや、本機と同一のネットワークにあるパソコンの共有フォルダ内のデータを投写する機能です。ビューワには次のような特長があります。

- JPEG、BMP、PNG、GIF、Index\*1 といった 5 種類の画像ファイルを選択して投写できます。

\*1: Index は、添付の User Supportware 6 CD-ROM に収録している ArcSoft MediaImpression または Viewer PPT Converter 3.0 で作成したファイル形式です。

- プレゼンテーションで使用する発表資料などを、あらかじめ画像ファイルに変換して USB メモリに保存しておく、パソコンと本機を接続することなしに、発表資料をスクリーンに投写することができます。パソコンを持ち運ぶ必要がなく便利です。
- ネットワークのパソコンに接続して共有フォルダ内のデータを投写できます。また、パソコン側で Windows Media Player 11 の「メディアの共有」が設定されていれば、そのパソコンをメディアサーバとして利用できます。
- 本機を使って広告などを投写する際、画像の自動切り替えができます。
- ビューワで表示できる USB メモリ内の画像を本機のバックグラウンドロゴとして登録できます。
- デジタルカメラで撮影した画像などを投写できます (JPEG、BMP、PNG、GIF)。
- 動画ファイルを再生しながら投写できます。

再生できる動画ファイルは、MPG (MPEG2)、WMV です。

ビデオのフォーマット (圧縮再生方式) は MPEG2 MP@ML\*2、Windows Media Video 9 です。

オーディオのフォーマット (圧縮再生方式) は MPEG-1 Layer1,2,3、Windows Media Audio 9 Standard です。

\*2: MPEG2 MP@ML は DVD ビデオやデジタル CS 放送などで採用されている標準的なフォーマットです。




- 本機は、NTFS 形式でフォーマットされた USB メモリを認識できません。本機にセットした USB メモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。本機のビューワやセキュリティで使用する USB メモリは、FAT32 形式、FAT16 形式、または FAT 形式でフォーマットしてください。フォーマット方法については、お使いの Windows の取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。
- 本機の USB ポートは、市販されているすべての USB メモリの動作を保証するものではありません。

## ビューワ再生ファイルの制限事項

### ●表示可能な画像ファイル形式

ファイル形式	ファイル名の拡張子
JPEG	.jpg、.jpe、.jpeg
BMP	.bmp
PNG	.png
GIF	.gif
index	.idx

※表示できない画像は、サムネイル表示で  アイコンを表示します。

#### 注意

- 画像の幅または高さが 4000 ピクセルを超える画像は表示できません。
- プログレッシブ JPEG、インターレース GIF、アニメーション GIF、インターレース PNG、 $\alpha$ チャンネル PNG の画像ファイルは表示できません。

### ●再生可能な動画ファイル

圧縮・伸張方式	ファイル名の拡張子
MPEG2 MP@ML	.mpg
Windows Media Video9	.wmv

#### 注意

- 動画の画面サイズが 720 × 576 ピクセル（幅×高さ）を超える動画は再生できません。
- 本機に搭載されていない圧縮・伸張方式で変換された動画ファイルは再生できません。また、事前にチェックができないため、再生できないことを示すアイコンは表示しません。
- オーディオのフォーマットがリニア PCM、AC-3、WMA Pro、および WMA Lossless の動画ファイルは再生できません。
- デジタル著作権管理 (Digital Rights Management, DRM) 付きのファイルは再生できません。
- 上記の条件を満たしている動画ファイルであっても再生できない場合があります。

#### 参考

- WMV 形式の動画ファイルはファイルのアスペクト設定に関わらず 1:1 で表示されます。

## ●画像表示および動画再生時の注意事項

- 共有フォルダおよびメディアサーバのファイルを投写する場合、パソコンにセキュリティソフトまたはウイルスチェックソフトがインストールされていると表示・再生ができないことがあります。
- 開く必要のあるファイアウォールのポートについて

・メディアサーバ

ポート番号	プロトコル
1900	UDP
2869	TCP
10243	TCP
10280-10284	UDP

・共有フォルダ

ポート番号	プロトコル
137	UDP/TCP
138	UDP/TCP
139	UDP/TCP
445	UDP/TCP

- 共有フォルダ内のファイルへのアクセスを許可するようパソコンの共有とセキュリティの設定をしてください。また、お使いのセキュリティソフト、ウイルスチェックソフトの設定をしてください。詳しくはネットワーク管理者にお尋ねください。
- 共有フォルダおよびメディアサーバ内の動画ファイルは、ネットワーク環境またはファイルのビットレートによっては正常に再生されないことがあります。

## 5-2. USB メモリへデータを保存する

USB メモリにデータを保存するには、次の方法があります。

### ArcSoft MediaImpression を使う

添付の User Supportware 6 CD-ROM に収録している ArcSoft MediaImpression をパソコンにインストールして、ArcSoft MediaImpression を用いて、PowerPoint ファイルなどを変換して USB メモリに保存します。

ArcSoft MediaImpression で作成したファイルは、Index 形式になります。

ArcSoft MediaImpression については、添付の「ネットワーク設定ガイド」、User Supportware 6 CD-ROM に収録している「基本操作ガイド」(PDF)、および ArcSoft MediaImpression のヘルプをご覧ください。

### Windows のエクスプローラなどを使って、ファイルをコピーする

ビューワを使って投写できるのは、JPEG、BMP、PNG、GIF、Index などの形式の画像ファイルと、MPG、WMV などの動画ファイルです。



## 5-3. USBメモリの画像や動画を投写する(ビューワ)

### ビューワをスタートする

**準備:** 投写する画像を保存したUSBメモリを使用する場合は、本機のUSBポート(タイプA)にセットしてください。

#### 1 リモコンの(VIEWER)ボタンを押す。

ビューワ画面が表示されます(本機の工場出荷状態は「スライド画面」が表示されます)。

動画のみ保存している場合は「サムネイル画面」が表示されます。

- ・ 本体で操作する場合は、(入力切替)ボタンを数回押して「ビューワ」を選択してください。

(▶47 ページ)

### ビューワ画面の操作

#### ●スライド画面とサムネイル画面

- ビューワには「スライド画面」と「サムネイル画面」の2つの画面があります。

スライド画面



サムネイル画面

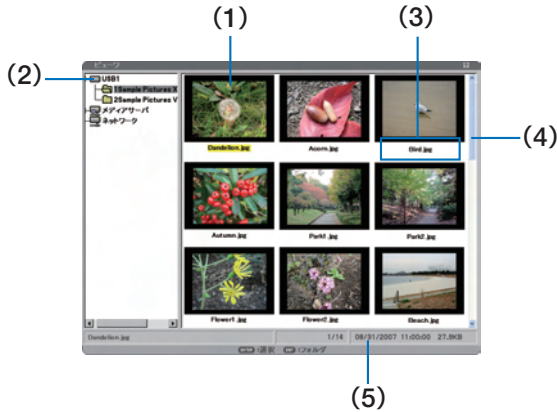


- 入力選択を[ビューワ]に切り替えた直後に「スライド画面」と「サムネイル画面」のどちらを表示するかは、サムネイルメニューの[オプション]の[開始]で設定できます(本機の工場出荷状態は「スライド画面」に設定されています)。動画ファイルの場合、[オプション]の[開始]は動作しません。サムネイル画面の動画アイコンを選択してから再生操作をします。(▶次ページ)
- USBメモリ内にビューワで表示可能な画像ファイルがない場合は、サムネイル画面が表示されます。

#### ●スライド画面をサムネイル画面に切り替える

- スライド画面からサムネイル画面に切り替えるには、スライド画面で(EXIT)ボタンを押します。

## ●サムネイル画面内の名称と操作



### (1) カーソル

フォルダ名やファイル名が黄色になっている部分をカーソルと呼びます。

(SELECT ▼▲◀▶) ボタン、(ENTER) ボタン、(EXIT) ボタンを押すとカーソルを移動できます。

### (2) フォルダー一覧


- ・本機の USB ポートにセットした USB メモリのフォルダー一覧を表示します。
- ・(SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押すと、フォルダー一覧内でカーソルが移動し、カーソルが合ったフォルダ内の画像ファイルが画面の右側にサムネイル表示されます。フォルダー一覧内でカーソルが移動するたびにサムネイル表示が切り替わります。
- ・各ボタンの動きは次のとおりです。

(SELECT ▼▲) ボタン	カーソルを上下のフォルダに移動できます。
(SELECT ▶) ボタン	下の階層のフォルダにカーソルが移動します。 [+] マークが付いたフォルダの場合、省略表示されている下の階層のフォルダが表示されます。そして [-] マークに変わります。
(SELECT ◀) ボタン	上の階層のフォルダにカーソルが移動します。 [-] マークが付いたフォルダの場合、下の階層のフォルダが省略されます。そして [+] マークに変わります。
(ENTER) ボタン	サムネイル／ファイル名にカーソルが移動します。
(MENU) ボタン	サムネイルメニューを表示します。(▶ 104 ページ)

### (3) サムネイル／ファイル名

- ・フォルダー一覧で指定したフォルダ内の画像ファイルのイメージを縮小して表示します (サムネイル)。サムネイル／ファイル名は、1 画面に 9 個まで表示できます。
- ・サムネイルの下にはファイル名が表示されます。ファイル名が長い場合は、途中までしか表示されません。
- ・サムネイルが表示できない画像ファイルは で表示されます。
- ・サムネイルが表示できない動画ファイルは (MPG)、 (WMV) アイコンで表示されます。

- サムネイルメニューの[オプション]で、サムネイル表示を「オフ」(アイコン表示)にすると、画面の切り替えが早くなります。
- 各ボタンの働きは次のとおりです。

(SELECT ▼▲▶◀) ボタン	カーソルが上下左右のサムネイルに移動します。 ファイルが9個を超える場合、下段のサムネイルにカーソルがあるときに (SELECT ▼) ボタンを押すと次の画面に切り替わります。また、次の画面で上段のサムネイルにカーソルがあるときに (SELECT ▲) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。 先頭の画面上段のサムネイルにカーソルがあるときに (SELECT ▲) ボタンを押すと、最終画面に切り替わります。また、最終画面の下段のサムネイルにカーソルがあるときに (SELECT ▼) ボタンを押すと、先頭画面に切り替わります。
(ENTER) ボタン	カーソルが合っているサムネイルがスライド表示 (画面いっぱいに拡大表示) されます。動画アイコンの場合は、再生が始まります。 ※元画像が画面サイズよりも小さい場合は、中央に表示されます。
(EXIT) ボタン	フォルダー一覧にカーソルが移動します。
(MENU) ボタン	サムネイルメニューを表示します。(  次ページ)

#### (4) スクロールバー

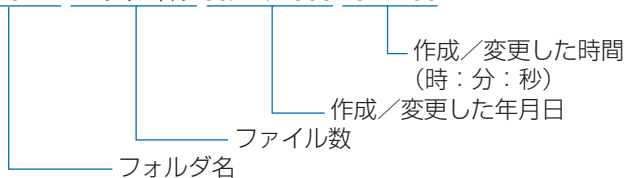
サムネイル表示が9個を超えると、画面の右側にスクロールバーが表示されます。

#### (5) 情報表示

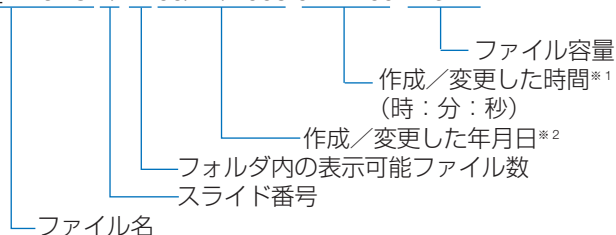
カーソルが合っているフォルダやファイルの情報を表示します。

##### 【表示例】

フォルダの場合： PICTURE 12 ファイル 09/22/2008 16:42:30



ファイルの場合： FILE\_N1.JPG 1/12 09/22/2008 07:47:05 173KB



※ 1：メディアサーバ内のファイルは、時刻を表示しません。

※ 2：メディアサーバ内のファイルは、日付を表示できない場合があります。

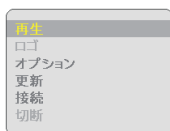
## サムネイルメニュー

### 1 サムネイル画面で(MENU)ボタンを押す。

サムネイルメニューがフォルダー一覧下部に表示されます。

使用できない機能は文字が薄く表示され選択できません。

- サムネイルメニューを消す場合は(EXIT)ボタンを押します。



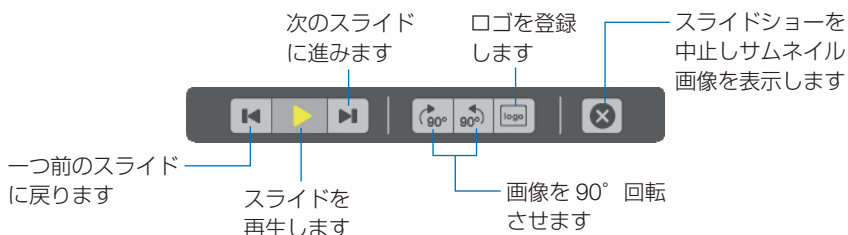
### ●スライドショーを開始する(再生)

動画ファイルの再生は次ページをご覧ください。

- スライド画面に切り替え、サムネイルメニューの[オプション]の設定に従ってスライドショーを開始します。
- [オプション]で再生モードを「手動」に設定しているときは、(SELECT▶)ボタンを押して次のスライドを表示します。また、(SELECT◀)ボタンを押すと1画面前のスライドを表示します。
- [オプション]で再生モードを「自動」に設定して再生したときに(SELECT◀▶)ボタンを押すと、自動再生は解除され手動再生になります。

### ●コントロールバーを使ってスライド画面を操作する

スライド画面が表示されているときに、スライド画面で(MENU)ボタンを押すとコントロールバーが画面に表示されます。



### リモコンのボタンの働き

(SELECT◀▶)	コントロールバーのボタンのカーソルを左右に移動します。
(ENTER)	カーソルが当たっているボタンを選択します。
(EXIT)	コントロールバーを消去します。
(MENU)	オンスクリーンメニューを表示します。

## ●バックグラウンドロゴを登録する(ロゴ)

- ・カーソルが合っているファイル(画像)を、本機のバックグラウンドの絵柄として登録します。
- ・画像ファイルの形式はJPEG、BMP、PNG、GIFのいずれかとし、ファイルサイズは256キロバイト以下にしてください。また、NP3250J/NP2250J/NP1250Jでは解像度1024×768ドット以下、NP3250WJでは解像度1280×800ドット以下の画像ファイルを使用してください。

### 注意

- バックグラウンドロゴを変更すると、[リセット]を行っても工場出荷時の画面(NEC Projector)には戻りません。  
バックグラウンドロゴを工場出荷時の画面(NEC Projector)に戻すには、添付のUser Supportware 6 CD-ROMに収録されている画像ファイル(NP3250J/NP2250J/NP1250Jでは¥Logo¥necpj\_bb\_x.jpg、NP3250WJでは¥Logo¥necpj\_bbwx.jpg)をUSBメモリにコピーしてください。そのUSBメモリを本機のUSBポートにセットし、ビューワでNP3250J/NP2250J/NP1250Jでは「necpj\_bb\_x.jpg」、NP3250WJでは「necpj\_bbwx.jpg」を選択して、サムネイルメニューの[ロゴ]で本機に登録しなおしてください。
- 共有フォルダ、メディアサーバ内の画像ファイルはロゴ登録できません。

### 参考

- バックグラウンドロゴにセキュリティを設定することができます。(▶158ページ)

## ●動画ファイルの再生

(SELECT ▼▲▶) ボタンを押して動画アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。再生が始まります。

- ・サムネイルメニューの[再生]を選択して(ENTER) ボタンを押しても再生します。
- ・再生をやめるのは(EXIT) ボタンを押します。

### 注意

- 本機で再生できない動画ファイルは、エラーメッセージを表示して再生画面からサムネイル画面に戻ります。
- 動画再生中に入力を切り替えると動画再生は停止します。
- 動画再生中に(ENTER)以外のボタンを押すと、再生を中断しサムネイル画面に戻ることがあります。
- 読み出し速度が遅いUSBメモリを使用している場合は、動画が正常に再生されないことがあります。
- 動画再生中にUSBメモリを抜き差しすると、ビューワに異常が発生することがあります。
- 「IMAGE EXPRESS UTILITY」、 「DESKTOP CONTROL UTILITY」、 「ネットワークプロジェクト」、 および 「リモートデスクトップ接続」 を使ってネットワークに接続しているときに動画を再生すると、ネットワークは切断されます。

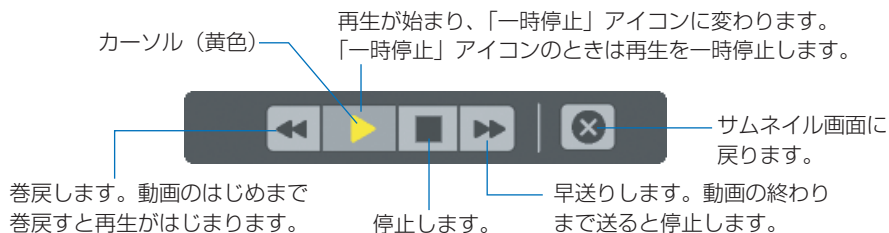
### ●動画再生中のリモコンボタンの働き

(ENTER) ボタン…再生中に押すと一時停止、一時停止中は再生します。  
早送り中および巻戻し中は再生します。  
停止中は再生が始まります。

(EXIT) ボタン…サムネイル画面に戻ります。

## ●コントロールバーを使って動画を操作する

動画再生中に **(MENU)** ボタンを押すとコントロールバーが画面に表示されます。



※薄く表示されたアイコンは動作しません。

### リモコンのボタンの働き

<b>(SELECT ◀▶)</b>	カーソル（黄色）を左右に移動します。
<b>(ENTER)</b>	カーソル（黄色）が当たっているボタンを実行します。
<b>(EXIT)</b>	コントロールバーを消去します。
<b>(MENU)</b>	コントロールバーを表示します。

## ●ビューワオプションを設定する（オプション）



### 再生モード

手動	サムネイルメニューで [再生] を選択したあと、 <b>(SELECT ◀▶)</b> ボタンを押してスライドを切り替えます。
自動	サムネイルメニューで [再生] を選択すると、[間隔] で設定した時間ごとにスライドが自動的に切り替わります。



- 注意**
- 添付の User Supportware 6 CD-ROM に収録している ArcSoft MediaImpression のビューワ出力機能を使って作成したファイルを自動再生する場合は、[再生モード] を「自動」にしてください。

## 間隔

5～300 秒	自動再生するときのスライドの切り替え間隔を設定します。
---------	-----------------------------

## 開始

スライド画面	信号選択で [ビューフ] に切り替えたときに USB メモリ内の画像をスライド画面で表示します。 ただし、USB メモリ内に本機で表示できる画像がない場合はサムネイル画面になります。
サムネイル画面	信号選択で [ビューフ] に切り替えたときにサムネイル画面で表示します。

### 参考

- USB メモリが挿入されていないときは、開始時にサムネイル画面を表示します。

## サムネイル表示

オフ	サムネイル画面において、サムネイル表示をせずにアイコンで表示します。サムネイルを表示しないので、表示が早くなります。
オン	サムネイル画面において、サムネイル表示を行います。

## 並び順

スライド画面での画像の表示順、およびサムネイル画面での画像の並び順を変更します。名前（ファイル名）の昇順／降順、種類（拡張子）の昇順／降順、日付（ファイル作成日）の新／旧、サイズ（ファイル容量）の大／小で並び順を変更できます。

### 注意

- ArcSoft MediaImpression の「ビューフ出力」機能および Viewer PPT Converter 3.0 で作成したフォルダの [並び順] は変更できません。

## 動画サイズ

オリジナル	動画ファイルをそのまま投写します。
フル	動画ファイルのアスペクト比を維持して画面いっぱいに拡大して投写します。

### 参考

- ビューフ画面では、オンスクリーンメニューの [アスペクト] および「解像度」の設定状態の影響は受けません。

## 動画繰り返し

オフ	動画再生が終了すると停止中になります。
オン	動画再生が終了すると動画ファイルの始めから再生します。



### 注意

- [再生モード]、[開始]、[サムネイル表示]、および [並び順]（スライド画面時）は画像ファイルのみ動作します。  
また、[動画サイズ] および [動画繰り返し] は動画ファイルのみ動作します。

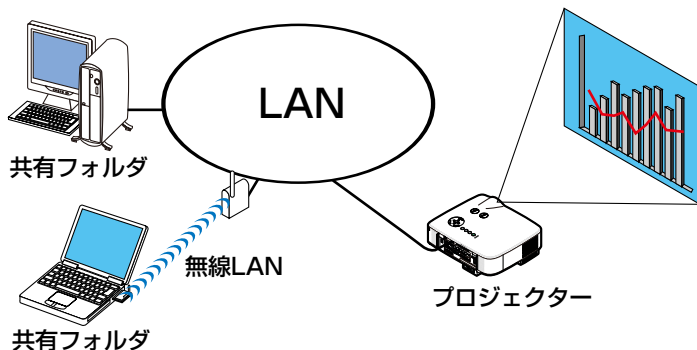
## ビューワを終了する

### 1 ボタンを押して、[ビューワ] 以外の入力を選択する。

- ・ リモコンで操作する場合は、(VIEWER) ボタン以外の (COMPUTER 1) ボタンや (VIDEO) ボタンを押してください。
- ・ (MENU) ボタンを押してサムネイルメニューを表示し、もう一度 (MENU) ボタンを押すとオンスクリーンメニューが表示されます。オンスクリーンメニューの [入力端子] で、[ビューワ] 以外の入力を選択することによりビューワを終了することもできます。



## 5-4. 共有フォルダの画像や動画を投写する (ビューワ)



### 準備:

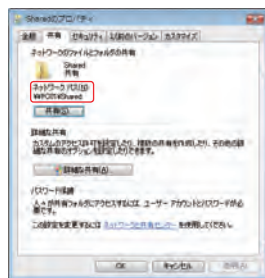
(本機の準備)

本機を LAN へ接続してください。

(パソコンの準備)

投写する画像・動画を共有するフォルダへ入れて、フォルダのパスを確認してください。

- ・ フォルダの共有設定については、お使いの Windows の取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。
- ・ 共有するフォルダは英数字で名前を付けてください。本機のソフトウェアキーボードは、日本語入力に対応していません。
- ・ サブネットを越えた共有フォルダへの接続は、[ネットワーク設定] の [WINS 設定] を行ってください。
- ・ 通信のデジタル署名 (SMB 署名) には対応していません。



### ●本機から共有フォルダへ接続する

#### 1 リモコンの(VIEWER)ボタンを押す。

ビューワ画面が表示されます。

- ・ 本体で操作する場合は、(入力切替)ボタンを数回押して、「ビューワ」を選択してください。

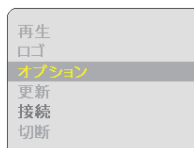
(▶47 ページ)

#### 2 サムネイル画面で【ネットワーク】にカーソルを合わせ、(MENU)ボタンを押す。

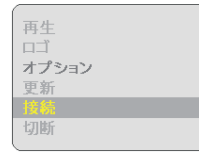
サムネイルメニューがフォルダー一覧下部に表示されます。

使用できない機能は文字が薄く表示され選択できません。

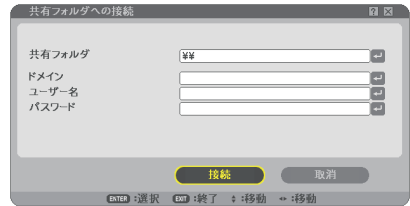
- ・ サムネイルメニューを消す場合は(EXIT)ボタンを押します。



### 3 サムネイルメニューから[接続]を選び(ENTER)ボタンを押す。



「共有フォルダへの接続」のダイアログボックスが表示されます。



### 4 共有フォルダのパスを入力して、[接続]を選び(ENTER)ボタンを押す。

サムネイル画面の[ネットワーク]の下に共有フォルダが表示されます。

[ネットワーク]には最大で4つの共有フォルダを追加できます。

- ・共有フォルダのパスは、コンピュータ名が15文字、フォルダ名が22文字までです。
- ・共有フォルダへ接続する際、認証が必要な場合は「認証」ダイアログボックスが表示されます。認証に必要な情報を入力し、[確定]を選択してください。



## ●共有フォルダの変更をサムネイル画面へ反映する

本機を接続後、共有フォルダに変更があった場合、更新して最新の情報をサムネイル画面に表示します。

### 1 サムネイル画面で(MENU)ボタンを押す。

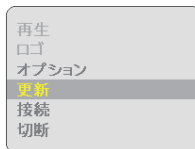
サムネイルメニューがフォルダ一覧下部に表示されます。

使用できない機能は文字が薄く表示され選択できません。

- ・サムネイルメニューを消す場合は(EXIT)ボタンを押します。



- 2 サムネイルメニューから [更新] を選び (ENTER) ボタンを押す。**  
サムネイルが最新の情報に更新されます。



ビューワ画面各部の名称および操作の詳細は「ビューワ画面の操作」(101 ページ) をご参照ください。



●共有フォルダとの接続を切る

- 1 [ネットワーク] の共有フォルダにカーソルを合わせ、 (MENU) ボタンを押す。**

サムネイルメニューがフォルダー一覧下部に表示されます。

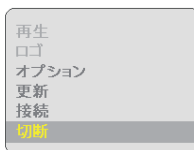
使用できない機能は文字が薄く表示され選択できません。

・サムネイルメニューを消す場合は (EXIT) ボタンを押します。




- 2 サムネイルメニューから [切断] を選び (ENTER) ボタンを押す。**

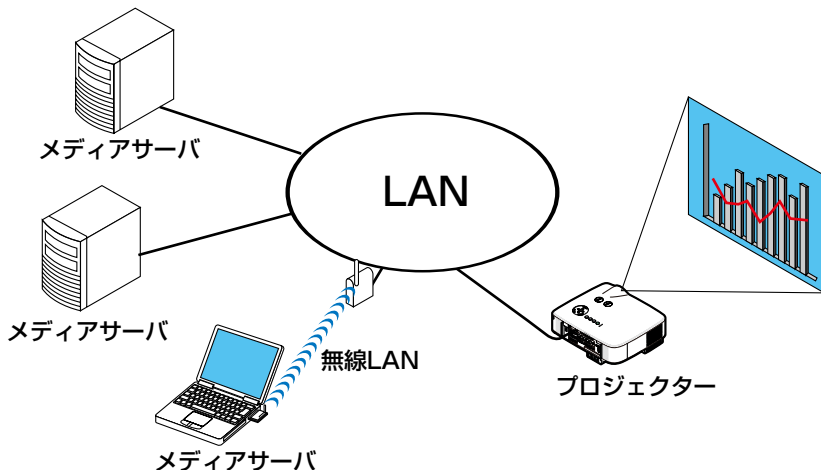
[ネットワーク] から共有フォルダが取り除かれます。



参考

- [ネットワーク] にカーソルを合わせて、サムネイルメニューから [切断] を選び (ENTER) ボタンを押すと、すべての共有フォルダとの接続が切れます。
- 共有フォルダの接続履歴について  
接続した共有フォルダは接続履歴が保存されます。接続した共有フォルダを切断せずに本機を再起動すると、ビューワのサムネイル画面に ? マーク付きのフォルダとして表示されます。
- [ネットワーク] ドライブの下に表示されるフォルダ数は、共有フォルダと履歴を合わせて 4 つまでです。  
 (? マーク付きのフォルダ) にフォーカスをあわせ接続を選択することで、共有フォルダのパス名の入力を省略できます。また、切断を選択することで ? マーク付きのフォルダを削除できます。

## 5-5. メディアサーバの画像や動画を投写する(ビュー)



### 準備：

(本機の準備)

本機を LAN へ接続してください。

(パソコンの準備)

投写する画像・動画を準備し、Windows Media Player 11 の [メディアの共有] を設定してください。

### 注意

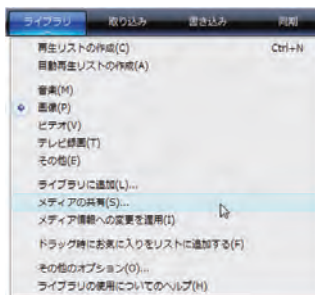
- プロジェクターは、メディアサーバと同一サブネット上にある必要があります。サブネットを越えたメディアサーバへの接続はできません。
- 共有される静止画や動画の種類は Windows のバージョンによって異なる場合があります。

## ● Windows Media Player 11 で「メディアの共有」を設定する

**1** Windows Media Player 11 を起動する。

**2** [ライブラリ] から [メディアの共有(S)] を選択する。

[メディアの共有] 設定画面が表示されます。



- 3** [メディアを共有する(S)] にチェックマークを入れて [OK] を選択する。

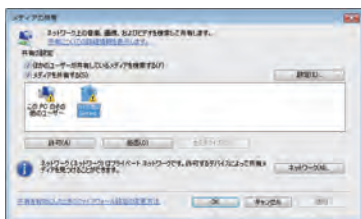
接続を許可する外部機器の選択画面が表示されます。



- 4** [NP3250 Series] を選択して [許可(A)] を選択する。

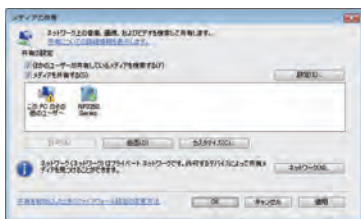
[NP3250 Series] のアイコンにチェックマークが入ります。

- 表示される「NP3250 Series」は、「ネットワーク設定」の「プロジェクト名」です。



- 5** [OK] を選択する。

[ライブラリ] の画像や動画のファイルが本機から利用できるようになります。



## ●本機からメディアサーバへ接続する

- 1** リモコンの (VIEWER) ボタンを押す。

ビューワ画面が表示されます。

- 本体で操作する場合は、(入力切替) ボタンを数回押して、「ビューワ」を選択してください。(47 ページ)

ネットワーク内の「メディアの共有」を設定したパソコンを検索して、サムネイル画面の [メディアサーバ] へ追加します。

または [メディアサーバ] にカーソルを合わせて、サムネイルメニューから [更新] を選び (ENTER) ボタンを押すことで、ネットワーク内の「メディアの共有」を設定したパソコンを検索して、サムネイル画面の [メディアサーバ] へ追加します。



5

ビューワを使う

**注意**

- ネットワーク上で接続可能なメディアサーバを自動検索して、検出された先着 4 サーバまでを表示します。5 目以降は表示されません。

ビューワ画面各部の名称および操作の詳細は「ビューワ画面の操作」(101 ページ) をご参照ください。

# 6. オンスクリーンメニュー

## 6-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する画像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

### オンスクリーンメニュー画面の構成

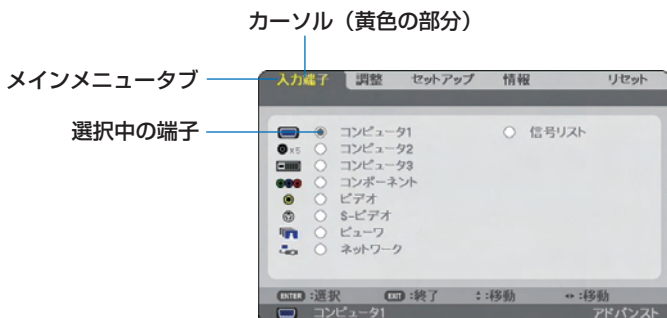
メニューを表示するには(MENU(メニュー)) ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(EXIT(戻る)) ボタンを押します。

ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

**準備**：本機の電源を入れて、スクリーンに画像を投写してください。

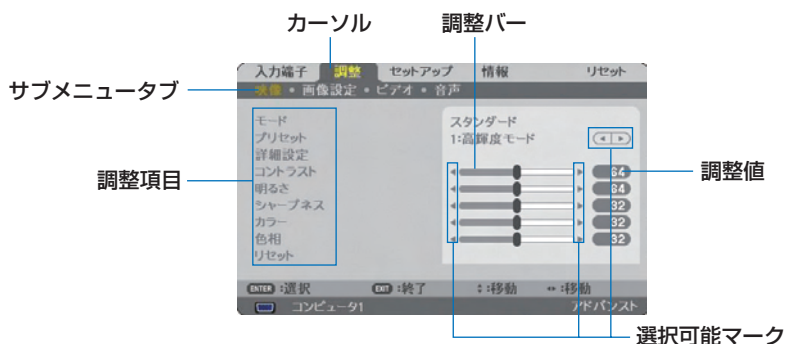
#### 1 (MENU(メニュー)) ボタンを押す。

ご購入後、はじめて操作したときは [入力端子] のメニューが表示されます。

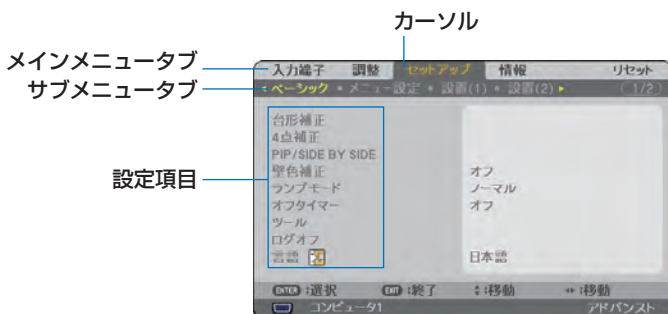


#### 2 (SELECT▶) ボタンを1回押す。

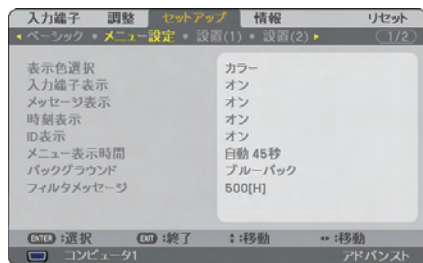
カーソルが [調整] に移動し、[調整] のメニューが表示されます。



- 3 (SELECT ▼/▲) ボタンを押す。  
カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。
- 4 [明るさ] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀▶) ボタンを押す。  
画面の明るさが調整されます。
  - ・「◀▶ (選択可能マーク)」が付いている項目は (SELECT ◀▶) ボタンで設定を切り替えることができます。
  - ・「◀▶ (選択可能マーク)」が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ (ENTER (決定)) ボタンを押します。
  - ・調整項目内の [リセット] にカーソルを合わせ (ENTER (決定)) ボタンを押すと、[映像] の調整や設定を工場出荷状態に戻します。
- 5 (EXIT (戻る)) ボタンを 2 回押します。  
カーソルがメインメニュータブの [調整] に移動します。
- 6 (SELECT ▶) ボタンを 1 回押す。  
カーソルが [セットアップ] に移動し、[セットアップ] のメニューが表示されます。



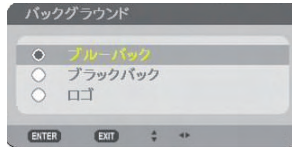
- 7 (ENTER (決定)) ボタンを押す。  
[ベーシック] にカーソルが移動します。
  - ・[セットアップ] には [ベーシック]、[メニュー設定]、[設置 (1)]、[設置 (2)]、[オプション] という 5 つのサブメニュータブがあり、タブを選択して切り替えます。
- 8 (SELECT ▶) ボタンを 1 回押して [メニュー設定] にカーソルを合わせる。  
[メニュー設定] のメニューに切り替わります。



- 9 (SELECT▼) ボタンを押して [バックグラウンド] にカーソルを合わせ、(ENTER(決定)) ボタンを押す。

バックグラウンド選択画面が表示されます。

- 「バックグラウンド」とは、無信号時に表示される画面のことです。



- 10 (SELECT▼/▲) ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。

- 11 選択したい項目にカーソルを合わせ、(ENTER(決定)) ボタンを押す。

バックグラウンドが設定されます。

- 選択を取り消す場合は、(EXIT(戻る)) ボタンを押します。

- 12 (MENU(メニュー)) ボタンを 1 回押す。

メニューが消えます。



**注意**

- 入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。



**参考**

- 時刻表示と入力端子表示について  
オンスクリーンメニューを表示したり、信号切り替えをしたりすると、画面上部に現在の入力端子と時刻が表示されます。
- 「時刻」と「入力端子」の表示切替については [146 ページ](#) をご覧ください。


## 「アドバンスト」メニューと「ベーシック」メニューについて

オンスクリーンメニューには「アドバンスト」メニューと「ベーシック」メニューの 2 種類があります。詳しくは「4-11 「アドバンスト」メニューと「ベーシック」メニューを切り替える」([80 ページ](#)) をご覧ください。



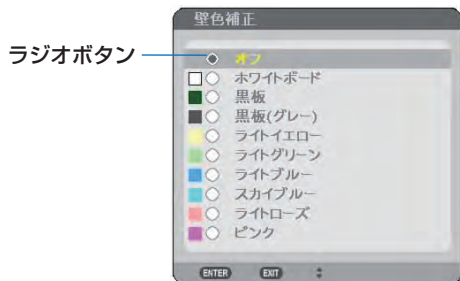
## 調整画面、設定画面の操作例



### ●ラジオボタンの選択

選択肢の中からから1つ「」を選びます。

#### 【例1】[壁色補正] の選択

[セットアップ] → [ベーシック] → [壁色補正]



- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押す。  
選択されているマーク () が移動します。
- 2 選択する項目に「」を移動したら、(ENTER(決定)) ボタンを押す。

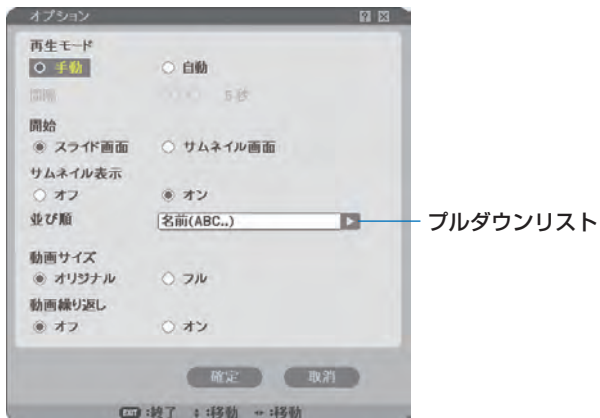
### ●プルダウンリストからの選択

リストの中から項目を選択します。

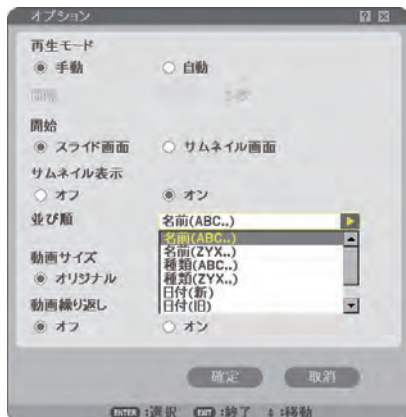
プルダウンリストには、項目名の右側に「▶」マークが付いています。

#### 【例2】[ビューフ] の [並び順] 選択

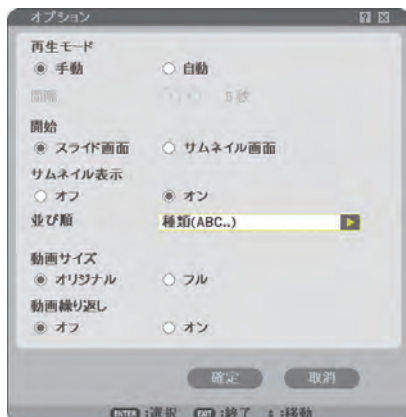
[ビューフ] → [オプション]



- 1 選択する項目にカーソルを合わせ、**(SELECT▶)** ボタンを押す。  
プルダウンリストが表示されます。



- 2 **(SELECT▼▲)** ボタンを押して項目にカーソルを合わせ、**(ENTER(決定))** ボタンを押す。  
項目が選択されて、プルダウンリストが閉じます。  
・再度プルダウンリストを表示する場合は、もう一度 **(SELECT▶)** ボタンを押してください。



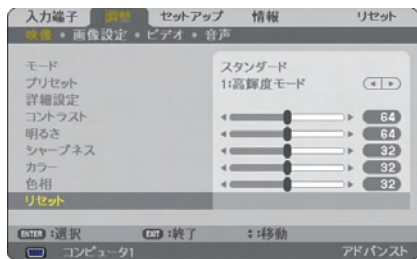
- 3 項目を選択したら、**(SELECT▼)** ボタンを押して[確定]にカーソルを合わせ、**(ENTER(決定))** ボタンを押す。  
選択した項目が決定されます。

## ●実行ボタン

機能を実行します。

実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で (EXIT(戻る)) ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

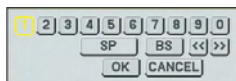
### 【例3】【調整】の【リセット】



- 1 [リセット] にカーソルが合っていることを確認する。
- 2 (ENTER(決定)) ボタンを押す。  
確認メッセージが表示されます。
- 3 実行する場合は、(SELECT(左右)) ボタンを押して[はい]にカーソルを合わせ、(ENTER(決定)) ボタンを押す。  
機能が実行されます。
  - 機能を実行しない場合は、確認メッセージで[いいえ]を選択し、(ENTER(決定)) ボタンを押します。

## ●英数字の入力方法

【IP アドレス、パスワード  
入力するとき】



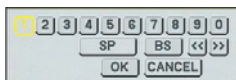
【ユーザー名、プロジェク  
ター名するとき】



【パスワードのとき】

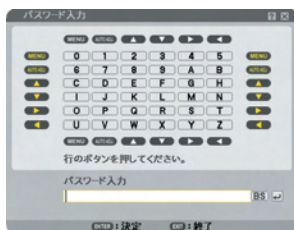


入力する項目によって、入力画面が異なります。  
次の画面が表示されたときは、以下のように操作します。



- 1** 文字を入力する項目にカーソルを合わせ、**(ENTER(決定))** ボタンを押す。  
文字以外の項目は、次のような働きをします。
- [**<<**] [**>>**] .....英数字入力欄のカーソルを左右に移動します。
  - [**MODE**] .....英大文字、英小文字、特殊文字の切り替えを行います。
  - [**SP**] .....スペースを入力します。
  - [**BS**] .....カーソルの左側にある1文字を消します。
  - [**OK**] .....入力した文字を確定して、文字入力画面を閉じます。
  - [**CANCEL**] ...入力した文字を取り消して、文字入力画面を閉じます。
  - [**HEX**] .....16進数が入力できる場合に表示され、16進数入力ができます。

次の画面が表示されたときは、以下のように操作します。



## リモコンの場合

- 1** 入力したい文字が含まれる行（横のライン）のリモコンのボタン**(MENU)**  
**(AUTO ADJ.) (SELECT ▲) (SELECT ▼) (SELECT ►) (SELECT ◄)** を押す。  
例：「C」を入力する場合は、**(SELECT ▲)** ボタンを押します。
- 2** 入力したい文字が含まれる列（縦のライン）のリモコンのボタン**(MENU)**  
**(AUTO ADJ.) (SELECT ▲) (SELECT ▼) (SELECT ►) (SELECT ◄)** を押す。  
例：「C」を入力する場合は、**(MENU)**ボタンを押します。  
文字以外の項目は、次のような働きをします。
- **(EXIT)** .....カーソルの左側にある1文字を消します。
  - **(ENTER)** .....入力した文字を確定して、文字入力画面を閉じます。

## マウス操作の場合

スクリーンに投写されている英数字をクリックします。  
文字以外の項目は、次のような働きをします。

- [**BS**] .....カーソルの左側にある1文字を消します。
- [**リターンマーク**] ...入力した文字を確定して、文字入力画面を閉じます。

## 6-2. オンスクリーンメニュー一覧

以下は、「アドバンスメニュー」の一覧です。「ベーシックメニュー」で表示される項目には「**B**」マークを付けています。

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー		選択項目		参照 ページ		
メインメニュー	サブメニュー					
入力端子	—	コンピュータ1 <b>B</b>		125		
		コンピュータ2 <b>B</b>				
		コンピュータ3 <b>B</b>				
		コンポーネント <b>B</b>				
		ビデオ <b>B</b>				
		S-ビデオ <b>B</b>				
		ビューワ <b>B</b>				
		ネットワーク <b>B</b>	IMAGE EXPRESS UTILITY <b>B</b>	(注)		
			DESKTOP CONTROL UTILITY <b>B</b>			
			ネットワークプロジェクタ <b>B</b>	84		
			リモートデスクトップ接続 <b>B</b>	90		
			時刻設定	143		
			ネットワーク設定	150		
			マウス設定	144		
	ヘルプ <b>B</b>	144				
	信号リスト	呼出、登録、カット、コピー、貼付け、編集（信号名、入力端子、ロック、スキップ）、全削除	126			
調整	映像	モード	スタンダード、プロフェッショナル	129		
		プリセット	1. 高輝度モード、2. プレゼンテーション、3. ビデオ、4. ムービー、5. グラフィック、6. sRGB、7. DICOM SIM.			
		詳細設定	全般	参照	高輝度、プレゼンテーション、ビデオ、ムービー、グラフィック、sRGB、DICOM SIM.	130
				ガンマ補正	ダイナミック、ナチュラル、ソフト	
			色温度	5000、6500、7800、8500、9300、10500		
			ホワイトバランス	コントラスト赤、コントラスト緑、コントラスト青 明るさ赤、明るさ緑、明るさ青		
		コントラスト <b>B</b>		131		
		明るさ <b>B</b>				
		シャープネス <b>B</b>				
		カラー <b>B</b>				
色相 <b>B</b>						
リセット <b>B</b>						

(注) 添付の Users Supportware 6 CD-ROM に収録しているソフトウェアを使用する際に選択します。ソフトウェアについて詳しくは、添付の「ネットワーク設定ガイド」をご覧ください。

画像設定	クロック周波数		131		
	位相		132		
	表示位置 (水平)				
	表示位置 (垂直)				
	オーバースキャン	0%、5%、10%			
アスペクト <sup>B</sup>	(コンピュータ信号入力時) 4:3、5:4、16:9、16:10、15:9		133		
	(コンポーネント/ビデオ/S-ビデオ信号入力時) 4:3、レターボックス、ワイドスクリーン、スタジアム(スクリーンタイプが「ワイドスクリーン」時)				
	(コンポーネント/ビデオ/S-ビデオ信号入力時) 4:3、レターボックス、ワイドスクリーン、ズーム(スクリーンタイプが「4:3スクリーン」時)				
解像度	フル、リアル		136		
ビデオ	ノイズリダクション	ランダム NR	オフ、弱、中、強	137	
		モスキート NR	オフ、弱、中、強		
		ブロック NR	オフ、オン		
	デインターレース	自動、ビデオ、フィルム			
	3D Y/C 分離	オフ、オン			
スイートビジョン					
音声	音量 <sup>B</sup>		138		
	低音				
	高音				
	バランス				
	3D サラウンド	オフ、オン			
セットアップ	ベーシック	台形補正 <sup>B</sup>	水平		139
			垂直		
		4点補正			
	PIP/SIDE BY SIDE <sup>B</sup>	モード	PIP、SIDE BY SIDE		
		表示位置	上端 - 左端、上端 - 右端、 下端 - 右端、下端 - 左端		
		入力選択	オフ、ビデオ、S-ビデオ		
	壁色補正 <sup>B</sup>	オフ、ホワイトボード、黒板、黒板 (グレー)、 ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、 スカイブルー、ライトローズ、ピンク		140	
	ランプモード <sup>B</sup>	ノーマル、エコ			
	オフタイマー <sup>B</sup>	オフ、30分、1時間、2時間、4時間、8時間、 12時間、16時間			
	ツール	プログラムタイマー			
4点補正			143		
信号リスト					
時刻設定		日付		月/日/年	
		時刻		時:分	
		タイムゾーン		GMT-12:00 ~ GMT ~ GMT+13:00 夏時間の調整 をする、インターネット時 刻サーバ	
	マウス設定	ボタン設定		右手用、左手用	
	スピード設定	高速、標準、低速			
ヘルプ					
ログオフ <sup>B</sup>			145		
	ログオン	ユーザー名、パスワード			

	言語 <sup>B</sup>	ENGLISH, DEUTSCH, FRANÇAIS, ITALIANO, ESPAÑOL, SVENSKA, 日本語, DANSK, PORTUGUÊS, ČEŠTINA, MAGYAR, POLSKI, NEDERLANDE, SUOMI, NORSK, TÜRKÇE, РУССКИЙ, عربي, ΕΛΛΗΝΙΚΑ, 中文, 한국어	145		
メニュー設定	表示色選択	カラー、モノクロ	146		
	入力端子表示	オフ、オン			
	メッセージ表示	オフ、オン			
	時刻表示	オフ、オン			
	ID表示	オフ、オン			
	メニュー表示時間	手動、自動5秒、自動15秒、自動45秒			
	バックグラウンド	ブルーバック、ブラックバック、ロゴ		147	
フィルタメッセージ	オフ、100[H]、200[H]、500[H]、1000[H]				
設置 (1)	投写方法	デスク／フロント、天吊り／リア、デスク／リア、天吊り／フロント	148		
	スクリーン設定	スクリーンタイプ <sup>*1</sup>	4:3スクリーン、ワイドスクリーン	149	
		表示位置 <sup>*2</sup>			
	幾何学補正	オフ、1、2、3			
	MULTI-SCREENCOMP.	モード	オフ、オン		
コントラスト					
	明るさ				
設置 (2)	ネットワーク設定		150		
	ネットワーク設定	全般	プロジェクト名	152	
		有線	プロファイル、DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS設定、WINS設定、再接続		
		無線	プロファイル、DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS設定、WINS設定、再接続		
		詳細設定	接続	サイトサーベイ、SSID、通信モード、チャンネル	153
			セキュリティ	セキュリティの種類、キーインデックス、キー1～キー4、暗号化の種類	154
			認証	(注)	
		ドメイン	ホスト名、ドメイン名	156	
		メール	メール通知、差出人アドレス、SMTPサーバ名、宛先アドレス1～宛先アドレス3、送信テスト		
		通信速度	4800bps、9600bps、19200bps、38400bps	157	
		セキュリティ設定	本体キーロック		
			バックグラウンドロック		158
			アカウントロック		159
			アカウント	作成、編集、削除	
			セキュリティ	キーワード、プロテクトキーを使用、ドライブ、読み、登録、削除	161

※ 1 NP3250J/NP2250J/NP1250Jでは「4:3スクリーン」、NP3250WJでは「ワイドスクリーン」が工場出荷時の値です。

※ 2 NP3250J/NP2250J/NP1250Jで表示

(注) 設定方法については、「ネットワーク設定ガイド」内の「WPA設定ガイド」をご覧ください。

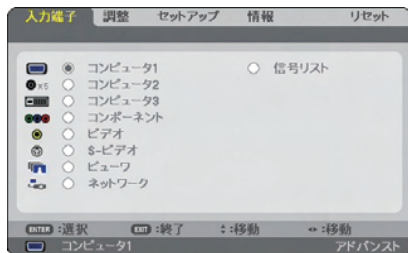
		PJLink	164
		HTTP サーバ	
	リモコン受光部設定	前側/後側、前側、後側	
	コントロール ID	コントロール ID 番号 1 ~ 254	165
		コントロール ID オフ、オン	
オプション	自動調整	オフ、ノーマル、ファイン	166
	オートパワーオン(AC)	オフ、オン	
	オートパワーオン (COMP1/2)	オフ、コンピュータ 1、コンピュータ 2	
	オートパワーオフ	オフ、0:05、0:10、0:20、0:30	167
	ファンモード	自動、高速、高地	
	初期入力選択	ラスト、自動、コンピュータ 1、コンピュータ 2、コンピュータ 3、コンポーネント、ビデオ、S-ビデオ、ビューワ、ネットワーク	168
	信号選択	コンピュータ 1 RGB/コンポーネント、 コンピュータ 2 RGB、コンポーネント	
	カラー方式	ビデオ 自動判別、NTSC3.58、 S-ビデオ NTSC4.43、PAL、PAL-M、 PAL-N、PAL60、SECAM	
	モニタ出力	ラスト、コンピュータ 1、コンピュータ 2、コンポーネント	
情報	使用時間 <sup>ⓑ</sup>	ランプ残量 (%)	169
		ランプ使用時間	
		フィルタ使用時間	
	信号(1) <sup>ⓑ</sup>	入力端子	コンピュータ 1、コンピュータ 2、コンピュータ 3、 コンポーネント、ビデオ、S-ビデオ、ビューワ、 ネットワーク
		信号形式	---、RGB、ビデオ、S-ビデオ、コンポーネント、 HDTV、デジタル
		ビデオ標準	---、NTSC3.58、NTSC4.43、PAL、PAL-M、 PAL-N、PAL60、SECAM
		信号名	
		登録番号	
	信号(2) <sup>ⓑ</sup>	水平同期周波数	
		垂直同期周波数	
		同期形態	---、セパレート、コンポジット、シンクオング リーン、シンクオンビデオ
		同期極性	---、H:(+) V:(+)、H:(-) V:(+)、H:(+) V:(-)、 H:(-) V:(-)、H:( ) V:( )
		走査方式	---、インターレース、ノンインターレース
	有線 LAN	IP アドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ/MAC アドレス	
	無線LAN(1)	IP アドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ/MAC アドレス/ 認証*3	
	無線LAN(2)	SSID/通信モード(インフラストラクチャ、アドホック、かんたん接続)/ WEP/WPA (オフ、オン) /チャンネル/信号レベル	
	VERSION (1) <sup>ⓑ</sup>	PRODUCT / SERIAL NUMBER / LAN UNIT TYPE / LAN UNIT VERSION / CONTROL ID*4	
	VERSION (2) <sup>ⓑ</sup>	FIRMWARE / DATA / FIRMWARE2 / DATA2	
リセット	—	表示中の信号、全データ、全データ (信号リストを含む)、ランプ時 間クリア、フィルタ時間クリア	171

※ 3：認証は、セキュリティの種類を WPA-EAP または WPA2-EAP に設定したときに表示されます。

※ 4：CONTROL ID は、コントロール ID を設定しているときに表示されます。



## 6-3. 入力端子



### 入力端子を選択する

投写する入力端子を選択します。

コンピュータ 1	コンピュータ 1 映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
コンピュータ 2	コンピュータ 2 映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
コンピュータ 3	コンピュータ 3 映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
コンポーネント	コンポーネント映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
S-ビデオ	S-ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
ビューワ	本機にセットした USB メモリのデータを投写します。
ネットワーク	LAN ポート (RJ-45) または標準装備の無線 LAN ユニートを介してパソコンから送られてくるデータを投写します。
信号リスト	信号リストから選択して映像を投写します。

参考

- コンポーネント入力信号をコンピュータ 1 およびコンピュータ 2 映像入力端子に接続している場合は、「コンピュータ 1」および「コンピュータ 2」を選択してください。  
(➡38 ページ)

## 信号リストを利用する

画像設定を少しでも行くと、信号の調整値が本機の「信号リスト」に自動的に登録されます。登録された信号（の調整値）は、必要なときに信号リストから呼び出すことができます。

信号リストには100パターンまで登録できます。信号リストへの登録数が100パターンに達すると、それ以降降メッセージを表示して登録できなくなります。必要なくなった信号（の調整値）は、信号リストから削除してください。

### ●信号リストを表示する

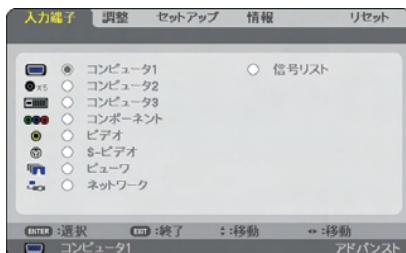
- 1 **MENU(メニュー)** ボタンを押す。

アドバンストメニューが表示されます。

- ベーシックメニューが表示される場合は、アドバンストメニューを使用できるユーザーでログインしてアドバンストメニューに切り替えてください。(▶ 80 ページ)

- 2 **SELECT(◀▶)** ボタンを押して [入力端子] にカーソルを合わせる。

入力端子一覧が表示されます。



- 3 **ENTER(決定)** ボタンを押す。

- 4 **SELECT(◀▶)** ボタンを押して [信号リスト] にカーソルを合わせ、**ENTER(決定)**

ボタンを押す。

信号リストが表示されます。



クリップボード

### ●投写している信号を登録する [登録]

- 1 信号リストで**SELECT(▼▲)**ボタンを押して登録する番号にカーソルを合わせる。

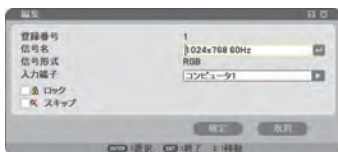
- 2 **SELECT(◀▶)** ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、**SELECT(▼▲)** で [登録] にカーソルを合わせ、**ENTER(決定)** ボタンを押す。

## ●信号リストから信号を選択する [呼出]

- 1 信号リストで (SELECT ▼/▲) ボタンを押して選択する信号にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。

## ●信号リストの項目を編集する [編集]

- 1 信号リストで (SELECT ▼/▲) ボタンを押して編集する信号にカーソルを合わせる。
- 2 (SELECT ◀▶) ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(SELECT ▼/▲) ボタンで [編集] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。信号編集画面が表示されます。



信号名	最大英数 18 文字で、信号名を入力します。
入力端子	入力端子の変更ができます。コンピュータ信号は、コンピュータ 1 / コンピュータ 2 の切り替えができます。 ビデオ、S-ビデオ信号は、ビデオ / S-ビデオの切り替えができます。 コンポーネント信号は、コンピュータ 1 / コンピュータ 2 / コンポーネントの切り替えができます。
ロック (🔒)	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) を付けておくと、[全削除] を行ったときに残しておくことができます。また、ロック後に調整を行った値は保存されません。
スキップ (🚫)	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) を付けておくと、入力信号を自動検出するときにスキップすることができます。

- 3 各項目を設定し、[確定] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。

### 注意

- 現在投写中の信号を編集する場合、入力端子は変更できません。

## ●信号リストの項目を削除する [カット]

- 1 信号リストで (SELECT ▼/▲) ボタンを押して削除する信号にカーソルを合わせる。
- 2 (SELECT ◀▶) ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(SELECT ▼/▲) ボタンで [カット] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。信号リストから削除され、信号リストのいちばん下の「クリップボード」に、削除した信号が表示されます。

**注意**

- 現在投写中の信号を削除することはできません。
- 信号編集画面で「ロック」した信号を選択した場合は、[カット] は文字が薄く表示され選択できません。

**参考**

- クリップボードの内容は、信号編集コマンドの[貼付け]で信号リストに貼り付ける(複製する)ことができます。
- クリップボードの内容は、信号リストを閉じて消えません。

## ●信号リストの項目をコピーする [コピー] [貼付け]

- 1 信号リストで (SELECT ▼/▲) ボタンを押してコピーする信号にカーソルを合わせる。
- 2 (SELECT ◀▶) ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(SELECT ▼/▲) ボタンで[コピー]にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。信号リストのいちばん下の「クリップボード」に、コピーする信号が表示されます。
- 3 (SELECT ◀▶) ボタンを押して信号リストに移動する。
- 4 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、コピーしたい項目へカーソルを合わせる。
- 5 (SELECT ◀▶) ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(SELECT ▼/▲) ボタンで[貼付け]にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。クリップボードの内容がコピーされます。

## ●信号リストの項目をすべて削除する [全削除]

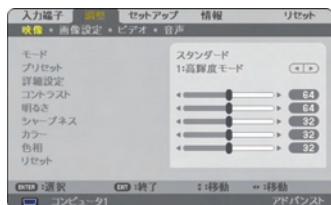
- 1 (SELECT ◀▶) ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(SELECT ▼/▲) ボタンで[全削除]にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。確認メッセージが表示されます。
- 2 (SELECT ◀▶) ボタンを押して [はい] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。

**注意**

- 信号編集画面で「ロック」した信号は削除されません。

## 6-4. 調整

### 映像



#### ●モード

[プリセット]の[詳細設定]の設定値を、入力信号ごとに保存するかどうかを設定します。

スタンダード	[プリセット]の[詳細設定]の設定値を、プリセットの項目ごと(1～7)に保存します。
プロフェッショナル	[映像] ページ内のすべての設定値が入力信号ごとに保存されます。

#### ●プリセット

##### 映像ソースに最適な設定を選択する

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。本機の工場出荷時は、プリセット項目1～7に、あらかじめ次の設定がされています。また、お好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目1～7に登録できます。

1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
7：DICOM SIM.	医療業界で用いられているDICOM規格に近似した設定にします。

#### 注意

- [モード]で「プロフェッショナル」を選択した場合は、プリセットは選択できません。
- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

#### 参考

- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、パソコンやモニタ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年に Hewlett-Packard社と Microsoft社が策定し、1999年に IECの国際規格となりました。
- 「DICOM SIM.」の DICOM(ダイコム)は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピュータ断層撮影(CT)、磁気共鳴映像法(MRI)や内視鏡などの診療で用いられています。

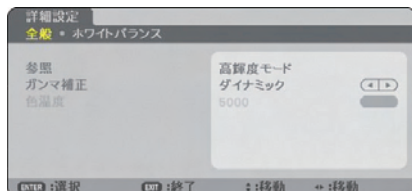
## 詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。

調整値を登録するには、プリセット項目 1～7 のいずれかを選択し、[詳細設定] にカーソルを合わせ、(ENTER(決定)) ボタンを押します。

ガンマ補正、色温度、ホワイトバランスの項目について、細かな設定ができます。

さらに、[モード] を「プロフェッショナル」にすると、入力信号ごとに細かな設定ができます。



### 全般一参照

[詳細設定] のもとになるモードを選択します。

### 全般一ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

### 全般一色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。

### ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	画像の黒色を調整します。
コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	画像の白色を調整します。

### 注意

- [参照] で「高輝度モード」、「プレゼンテーション」を選択した場合は、[色温度] は選択できません。
- [ホワイトバランス] を操作した場合は、[色温度] の数値と実際の色合いが異なります。

## ●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。



- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

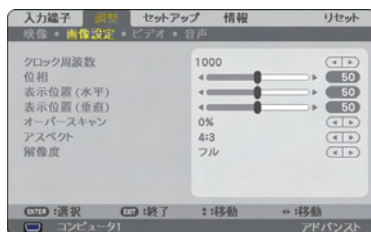
入力信号	明るさ	コントラスト	シャープネス	カラー	色相
コンピュータ (RGB アナログ)	○	○	×	×	×
コンピュータ (RGB デジタル)	○	○	×	×	×
コンポーネント	○	○	○	○	○
ビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○
ビューフ、ネットワーク	○	○	×	×	×

(○：調整可、×：調整不可)

## ●リセット

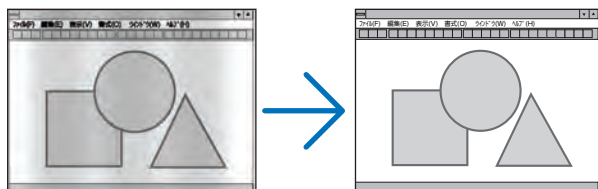
「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。ただし、[モード] が「スタンダード」のときは [プリセット] の番号、およびその [詳細設定] 内の [参照] はリセットされません。現在選択されていない [プリセット] の [詳細設定] もリセットされません。

### 画像設定



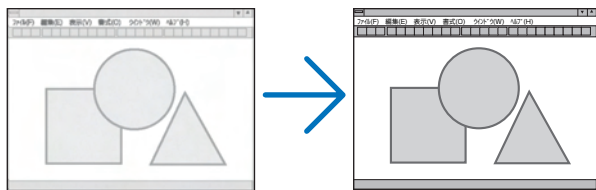
## ●クロック周波数

画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。



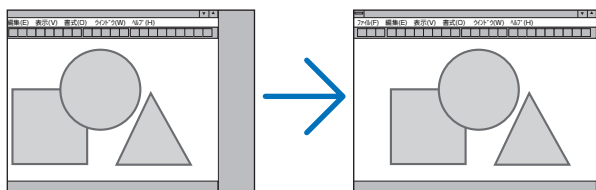
## ●位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。



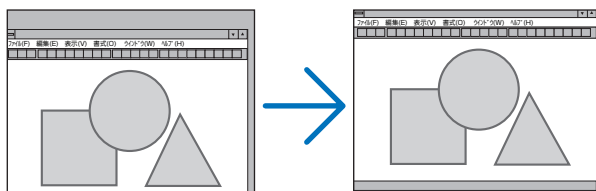
## ●表示位置（水平）

画面を水平方向に移動します。



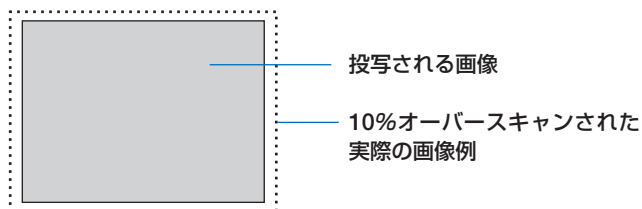
## ●表示位置（垂直）

画面を垂直方向に移動します。



## ●オーバースキャン

オーバースキャン（画面周囲のフレーム部分をカットする処理）の割合を設定します。

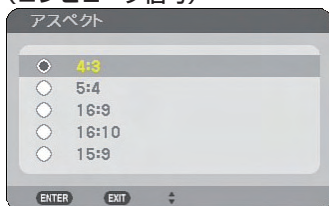


● [解像度] が「リアル」のときは選択できません。

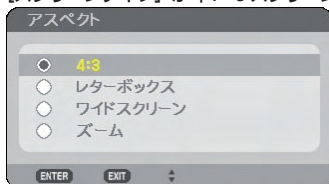


## ●アスペクト

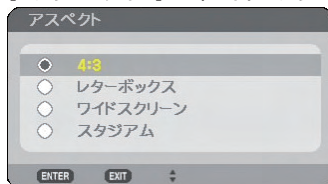
(コンピュータ信号)



(コンポーネント/ビデオ/S-ビデオ信号入力時)  
[スクリーンタイプ] が「4:3スクリーン」のとき



(コンポーネント/ビデオ/S-ビデオ信号入力時)  
[スクリーンタイプ] が「ワイドスクリーン」のとき



画面の縦横の比率を選択します。

4 : 3	通常の画面サイズです。4 : 3のサイズで投写します。
5 : 4	5 : 4のサイズで投写します。
レターボックス	16 : 9のレターボックス信号を投写します。
15 : 9	15 : 9のサイズで投写します。
16 : 9	16 : 9のサイズで投写します。
16 : 10	16 : 10のサイズで投写します。
ワイドスクリーン	16 : 9のスクイーズ信号入力時、垂直方向を圧縮して16 : 9のサイズで投写します。
ズーム	16 : 9のスクイーズ信号入力時、左右に引き伸ばして4 : 3のサイズで投写します。そのため、左右の両端は表示されません。
スタジアム	4 : 3の入力信号を左右に引き伸ばして16 : 9のサイズで投写します。

ビデオ信号のとき

適応機種 NP3250J/NP2250J/NP1250J

入力信号の例	4 : 3	スクイーズ	レターボックス	
アスペクト選択項目	4 : 3	ワイドスクリーン	ズーム	レターボックス
スクリーンタイプ 4 : 3 選択時 の投写イメージ				
アスペクト選択項目	4 : 3	スタジアム	ワイドスクリーン	レターボックス
スクリーンタイプ ワイドスクリーン 選択時 の投写イメージ				

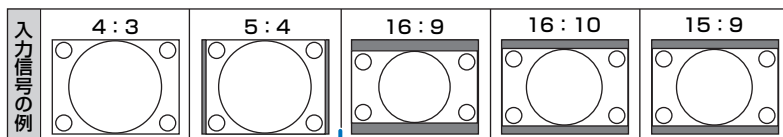
適応機種 NP3250WJ

入力信号の例	4:3	レターボックス	スクイーズ	4:3	
アスペクト選択項目	4:3	レターボックス	ワイドスクリーン	ズーム	4:3
スクリーンタイプ 4:3 選択時の 投写イメージ					
アスペクト選択項目	4:3	レターボックス	ワイドスクリーン	ズーム	スタジアム
スクリーンタイプ ワイドスクリーン の投写イメージ					

コンピュータ信号のとき

適応機種 NP3250J/NP2250J/NP1250J

入力信号の例	4:3	5:4	16:9	16:10	15:9
アスペクト選択項目	4:3	5:4	16:9	16:10	15:9
スクリーンタイプ 4:3 選択時の 投写イメージ					
アスペクト選択項目	4:3	5:4	16:9	16:10	15:9
スクリーンタイプ ワイドスクリーン 選択時の 投写イメージ					



アスペクト選択項目	4 : 3	5 : 4	16 : 9	16 : 10	15 : 9
スクリーンタイプ 4 : 3 選択時 の投写イメージ					

アスペクト選択項目	4 : 3	5 : 4	16 : 9	16 : 10	15 : 9
スクリーンタイプ ワイドスクリーン 選択時 の投写イメージ					

**注意**

- アスペクトを設定する前に、[スクリーンタイプ] (4:3 スクリーン/ワイドスクリーン) を選択してください。(▶ 149 ページ)
- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、[アスペクト] や [スクリーンタイプ] などの画面サイズ切り替え機能を使って画面の圧縮や引き伸ばしを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
- [解像度] が「リアル」に設定されているときは、[アスペクト] は文字が薄く表示され選択できません。

**参考**

- NP3250J/NP2250J/NP1250J でスクリーンタイプをワイドスクリーンにしているときは、[表示位置] で垂直位置を調整できます。(▶ 149 ページ)
- ビデオ映像の標準アスペクト比 4 : 3 より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのビスタサイズ 1.85 : 1 やシネマスコープ 2.35 : 1 のアスペクト比があります。
- アスペクト比 16 : 9 の映像を横方向にスクイーズ (圧縮) して 4 : 3 にした映像を、「スクイーズ」と呼びます。
- パソコンの主な解像度とアスペクトは次のとおりです。

	解像度	アスペクト
VGA	640 × 480	4 : 3
SVGA	800 × 600	4 : 3
XGA	1024 × 768	4 : 3
SXGA	1280 × 1024	5 : 4
WXGA	1280 × 800	16 : 10
WXGA	1280 × 768	15 : 9
UXGA	1600 × 1200	4 : 3

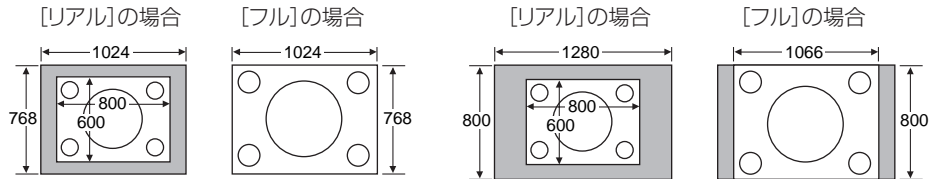
## ●解像度

投写する解像度を設定します。

フル	コンピュータ信号を本機の解像度 (NP3250J/NP2250J/NP1250J: 1024 × 768 ドット、NP3250WJ:1280 × 800 ドット) に自動的に拡大／縮小して投写します。
リアル	コンピュータ信号を入力機器の解像度のまま投写します。

(例) NP3250J/NP2250J/NP1250J で  
入力信号が 800 × 600 ドットの場合

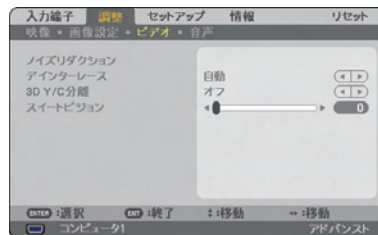
(例) NP3250WJ で入力信号が 800 × 600 ドットの場合



### 参考

- [リアル] を選択しているときは「オーバースキャン」、「アスペクト」の設定はできません。
- 次のような場合は「解像度」での設定はできません。
  - ・ [スクリーンタイプ] の設定が 本機の解像度以外のとき
  - ・ コンピュータ以外の信号を選択しているとき
  - ・ 本機の解像度以上の信号を入力しているとき

## ビデオ



## ●ノイズリダクション

ビデオ映像入力端子から入力された映像を投写するとき、ノイズリダクション機能を使うと、画面のノイズ（ざらつきや乱れ）を軽減することができます。本機には3種類のノイズ軽減機能がありますので、ノイズの種類に応じた機能を選択します。またノイズの度合いに応じて、ランダム NR およびモスキート NR は「弱」「中」「強」の3段階から、ブロック NR は「オフ」「オン」の2段階からノイズリダクション効果を選択できます。

ランダム NR	画面全体に散らしたようなノイズを軽減します。
モスキート NR	映像の輪郭部に蚊の大群がまとわり付いているような、もやもやしたノイズを軽減します。
ブロック NR	映像がモザイクのように四角いかたまり状態に見えるノイズを軽減します。

## ●デインターレース

インターレース信号が入力された場合のプログレッシブ変換処理を選択します。

自動	映像によって最適な処理方法を自動判別します。
ビデオ	通常の変換処理を適用します。
フィルム	テレシネ信号の自動検出モードを適用します。映画を投写する場合に設定します。



- コンピュータ信号のときは選択できません。

## ●3D Y / C 分離

ビデオ映像入力端子から入力された映像を投写するとき、「オン」に設定すると画質を向上することができます。

オフ	3次元の Y/C 分離機能を無効にします。
オン	3次元の Y/C 分離機能を有効にします。

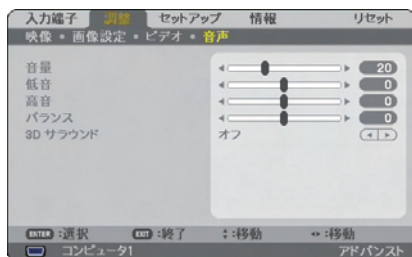


- NTSC3.58 のビデオ信号以外のときは選択できません。

## ●スイートビジョン

人間の目の特性を利用してコントラスト感のある画質を実現します。数値を増減して、スイートビジョンの強弱を調整します。

## 音声



### ●音量

本機の内蔵スピーカおよび音声出力端子から出力する音声の音量を調整します。

#### 参考

- 工場出荷時、音量は 10 に設定されています。
- 音量は、メニューが表示されていないとき、本体操作部の (SELECT ◀▶) ボタン、およびリモコンの (VOLUME +/-) ボタンでも調整できます。

### ●低音

本機の内蔵スピーカおよび音声出力端子から出力する音声の低音を調整します。

### ●高音

本機の内蔵スピーカおよび音声出力端子から出力する音声の高音を調整します。

### ●バランス

本機の内蔵スピーカおよび音声出力端子から出力する音声の左右の音量バランスを調整します。

#### 参考

- ビデオ／コンポーネント音声入力端子の「左 / モノラル」のみ接続している場合、音声出力端子から出力される音声は、右チャンネルと左チャンネルは同じ音声を出します。

### ● 3D サラウンド

コンサートホールのような臨場感 (反響音) を疑似的に作ります。

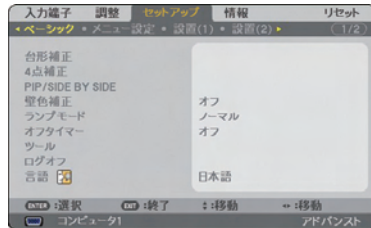
本機の内蔵スピーカおよび音声出力端子から出力される音声に 3D サラウンドが働きます。

#### 注意

- 本機の音声出力端子を外部機器に接続した場合、外部機器で音質の調整を行ったときに、本機の低音／高音／3D サラウンドの調整によっては、音が割れたり歪むことがあります。このようなときは、本機の調整を工場出荷状態 (低音：0 / 高音：0 / 3D サラウンド：オフ) に戻してください。

## 6-5. セットアップ

### ベーシック



#### ● 台形補正

[台形補正] 画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

操作について詳しくは、「3-5. 台形歪みを調整する」(▶ 54 ページ) をご覧ください。

#### 注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の台形補正の調整値を保持しています。
- [4点補正] で画面調整している場合、または [幾何学補正] を設定している場合は、[台形補正] は文字が薄く表示され選択できません。

#### ● 4点補正

[4点補正] 画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

操作について詳しくは、「4-8. 台形歪みを調整する (4点補正)」(▶ 69 ページ) をご覧ください。

#### 注意

- [台形補正] で画面を調整している場合、または [幾何学補正] を設定している場合は、[4点補正] は文字が薄く表示され選択できません。

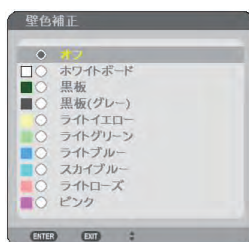
#### ● PIP/SIDE BY SIDE

ピクチャーインピクチャー機能およびサイドバイサイド機能を設定します。

操作について詳しくは、「4-9. 2つの映像を同時に投写する」(▶ 72 ページ) をご覧ください。

モード	PIP (ピクチャーインピクチャー画面) にするか SIDE BY SIDE (サイドバイサイド画面) にするかを選択します。
表示位置	PIP モードのときの子画面の表示位置を選択します。
入力選択	子画面または副画面に表示する入力信号を選択します。

## ●壁色補正



画像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

## ●ランプモード

小さいスクリーンサイズで投写して画面が明るすぎるときや、暗い室内で投写する場合、ランプモードを「エコモード」にし、ランプ交換時間(目安)\*を延ばすことができます。

(🔗 62 ページ) ※保証時間ではありません。

## ●オフタイマー

オフタイマーを設定しておくことで、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。[登録時間]後に本機の電源が切れます(スタンバイ状態になります)。オンスクリーンメニュー下部の[残り時間]には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

## ●ツール

### プログラムタイマー



曜日や時刻を設定することにより、本機の電源オン/オフや映像信号の切り替え、およびランプモードの切り替えを自動で行うことができます。たとえば、上の画面の設定では、日曜日の9時に電源がオンになり、9時1分にコンピュータ3の画面に切り替わり、17時に電源がオフになります。



- 「プログラムタイマー」を使用するときは、必ず「時刻設定」に現在の日付/時刻を設定してください(🔗 143 ページ)。

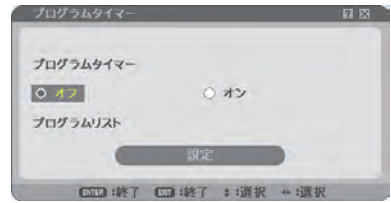
また、本機の主電源スイッチを切らずに、スタンバイ状態にしておいてください。本機の主電源スイッチを切ったあと、そのまま約2週間以上経過すると、日付・時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「時刻設定」を再度行ってください。



## プログラムを新しく設定する

- 1 プログラムタイマー画面で、  
(SELECT ▼/▲) ボタンを押して、[設定] にカーソルを合わせ、  
(ENTER(決定)) ボタンを押す。

プログラムリスト画面が表示されます。  
プログラムタイマーがオンになっているときは、  
プログラムリストの編集はできません。

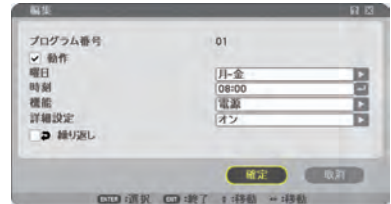


- 2 予定が入っていない番号にカーソルを合わせ、(ENTER(決定)) ボタンを押す。

編集画面が表示されます。



- 3 編集画面で、各項目を設定したい内容に変更する。



動作	チェックマークを付けるとプログラムが有効になります。
曜日	プログラムを実行する曜日を設定します。「月 - 金」を選択すると月曜日から金曜日まで毎日、「月 - 土」を選択すると月曜日から土曜日まで毎日、「毎日」を選択すると毎日実行されます。
時刻	プログラムを実行する時刻を設定します。時刻は 24 時間表記で入力します。
機能	実行したい機能を設定します。「電源」を選択すると [ 詳細設定 ] で電源のオン/オフ、「入力端子」を選択すると [ 詳細設定 ] で映像信号、「ランプモード」を選択すると [ 詳細設定 ] でランプモードを選べるようになります。
詳細設定	[ 機能 ] で選択した内容に応じて、電源のオン/オフ、映像信号の種類、またはランプモードのノーマル/エコを選択します。
繰り返し	プログラムを継続して実行する場合はチェックマークを付けます。一度だけ実行する場合はチェックマークを付けません。

- 4 設定が終わったら「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER(決定)) ボタンを押す。

これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

**注意**

- プログラムは 30 個まで設定できます。
- [繰り返し] にチェックを付けていないプログラムは、一度実行すると自動的に [動作] のチェックが外されて無効になります。
- 電源オン時刻、および電源オフ時刻が同時刻に重なるときは、電源オフのプログラムが優先されます。
- 異なる入力端子の映像信号設定が同時刻に重なるときは、プログラム番号の大きいプログラムが優先されます。
- 冷却ファン回転中やエラー状態のときは、電源オンの時刻になっても電源オンは実行されません。
- 電源オフできない状態のときに電源オフの時刻になると、電源オフができる状態になったときに電源オフが実行されます。
- プログラムタイマーを [オン] にしても [動作] にチェックが付いていないプログラムは実行されません。
- 電源オンのプログラムを設定したときは、本機の電源が入ったままにならないように電源オフのプログラムを設定するか、手動で電源をオフにしてください。

**プログラムタイマーを有効にする**

- 1** プログラムタイマー画面で [プログラムタイマー] の項目の [オン] にカーソルを合わせ、**(ENTER (決定)) ボタンを押す。**

「オン」が選択されます。

プログラムタイマー画面から、ツール画面に戻ります。

**注意**

- プログラムタイマーが「オフ」になっているときは、プログラムリストの [動作] の項目にチェックが付いていてもプログラムは実行されません。
- プログラムタイマーが「オン」になっているときは、プログラムリストの編集はできません。プログラムを編集する場合は、プログラムタイマー画面で [プログラムタイマー] を「オフ」にしてください。

**プログラムを編集する**

- 1** プログラムリスト画面で編集したい番号にカーソルを合わせ、**(ENTER (決定)) ボタンを押す。**

- 2** 編集画面で設定を変更する。

- 3** 設定が終わったら「確定」にカーソルを合わせ、**(ENTER (決定)) ボタンを押す。**

これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

**プログラムの順番を変更する**

プログラムタイマーは、設定時刻の早い順にプログラムを実行します。

- 1 プログラムリスト画面で順番を変更したい番号にカーソルを合わせ、**(SELECT ▶)** ボタンを押す。
- 2 **(SELECT ▼)** ボタンを押して「▲」または「▼」を選択する。
- 3 希望の位置まで移動するまで **(ENTER (決定))** ボタンを数回押す。  
これでプログラムの順番が変更されます。

**プログラムを削除する**

- 1 プログラムリスト画面で削除したい番号にカーソルを合わせ、**(SELECT ▶)** ボタンを押す。
- 2 **(SELECT ▼)** ボタンを押して「削除」にカーソルを合わせ、**(ENTER (決定))** ボタンを押す。  
確認画面が表示されます。
- 3 「はい」にカーソルを合わせ、**(ENTER (決定))** ボタンを押す。  
これでプログラムが削除されます。

**● ツール****4点補正**

「ベーシック -4点補正」([👉 139 ページ](#))と同じ設定項目です。

**信号リスト**

「入力端子 - 信号リスト」([👉 125 ページ](#))と同じ設定項目です。

**時刻設定 (ツール/ネットワーク) (🕒)**

本機に「日付・時刻」と「タイムゾーン」を設定します。

日付・時刻	現在の「月/日/年」、「時/分」を設定します。
タイムゾーン (注)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻を設定するときに必ず「タイムゾーン」も設定してください。</li> <li>・日本の時刻の場合は「GMT +09:00」を選択します。</li> </ul>
インターネット時刻サーバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク上のNTPサーバと同期して、正しい時刻を取得するときに設定します。</li> <li>・NTPサーバのIPアドレス、またはホスト名を入力します。</li> </ul>

(注) 日本で使用する場合は「夏時間の調整をする」は、チェックしないでください。

**注意**

- 本機の時計機能を使用するときは、本機の未使用時に主電源スイッチを切らずに、スタンバイ状態にしておいてください。  
本機の主電源スイッチを切ったあと、そのまま約 2 週間以上経過すると、日付・時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「時刻設定」を再度行ってください。

**マウス設定 (ツール/ネットワーク)** 

市販の USB マウスを本機と接続すると、マウスを使用してメニュー操作ができます。

[\(▶ 65 ページ\)](#)

このときのマウスの設定です。

ボタン設定	マウスの左右ボタンの役割を入れ替えます。	
	右手用	マウスボタンが右手用の動作をします。
	左手用	マウスボタンが左手用の動作をします。
スピード設定	マウスを動かしたときのポインタの速度を 3 つのレベルから選択します。	

**ヘルプ** 

「4-5. 本機の操作説明を投写する」 [\(▶ 64 ページ\)](#) をご覧ください。

## ● ログオフ

ログオンしているユーザーをログオフ処理します。ログオンとログオフを使用することでメニューの設定できる項目をユーザーによって変更することができます。(🔗 80 ページ)

### ログオンする

ユーザーが設定されている場合に、オンスクリーンメニューを表示しようとするするとログオン画面が表示され、ユーザーの選択とパスワードの入力をする画面が表示されます。



- すでに他のユーザーがログオンしている場合、その他のユーザーはログオンできません。

**1** ユーザー名を選択する。

**2** パスワードが設定されているユーザーの場合は、パスワードを入力する。

**3** [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER(決定)) ボタンを押す。



- パスワードを忘れたときの対処  
本機の管理者アカウント「ADMINISTRATOR」でログインし、ユーザーアカウントの設定をやりなおしてください。  
なお、本機の管理者アカウントでログインできない場合は、お客様お問い合わせ窓口 (NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター) にご連絡ください。

### ログオフする

現在のアカウントが有効のまま他の使用者が設定を変更することを防止するため、設定が終わったら、ログオフすることをおすすめします。

**1** オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [ベーシック] の [ログオフ] にカーソルを合わせ、(ENTER(決定)) ボタンを押す。

**2** [はい] にカーソルを合わせ、(ENTER(決定)) ボタンを押す。

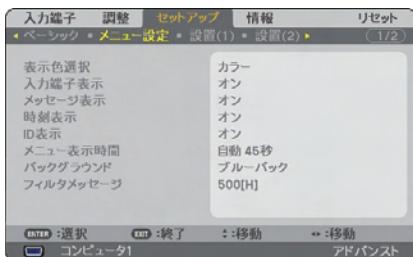
## ● 言語

メニューに表示される言語を選択します。



- 言語は、[リセット] を行っても変更されません。

## メニュー設定



### ●表示色選択

本機のメニューの表示色を変更します。

### ●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。

「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。

- ・入力信号を切り替えたときに、画面右上に[コンピュータ1]などの入力端子名を表示します。
- ・信号が入力されていないとき、画面右上に[無信号]と表示されます。

### ●メッセージ表示

投写画面下側に本機のメッセージを表示するか、しないかを選択します。

「オフ」を選択しても、セキュリティロック中の警告は表示されます。セキュリティロック中の警告は、ロックを解除すると表示が消えます。

### ●時刻表示

画面左上に現在の時刻を表示するか、しないかを選択します。

#### 注意

- 画面右上の入力端子表示と左上の時刻表示は、[メニュー表示時間]で設定している時間だけ表示されます。[メニュー表示時間]で「手動」を選択している場合、入力端子表示と時刻表示は消えません。

### ●ID表示

複数台のプロジェクターをオプションリモコンNP02RCを使って操作する場合、リモコンの(ID SET) ボタンを押したときに、コントロールID画面を表示するか、しないかを選択します。設定は「コントロールID」([▶165ページ](#))をご覧ください。

#### 注意

- ID表示機能は、オプションリモコンNP02RCを使用する場合に有効です。本機に標準添付のリモコンでは利用できません。

### ●メニュー表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

**注意**

- メニューが自動的に画面から消えたあとに (MENU(メニュー)) ボタン、(ENTER(決定)) ボタン、(EXIT(戻る)) ボタン、(SELECT ▼/▲) ボタンのいずれかを押すと、閉じる前に表示していた状態のメニューが表示されます。  
ただし、メニューが閉じている間に入力信号を切り替えた場合は、閉じる前に表示していたメニューは表示されず、通常のメニュー操作と同様になります。

## ●バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

**注意**

- 「ロゴ」を設定しているとき、コンピュータ 3 映像入力端子で無信号状態になると、ロゴは表示されずブルーバック表示になります。

**参考**

- 「ロゴ」を選択すると、工場出荷状態では「NEC Projector」と表示されます。
- 自作の背景をバックグラウンドに設定するには、ビューワの「バックグラウンドロゴを登録する」(▶ 105 ページ) をご覧ください。
- [セキュリティ設定] の [バックグラウンドロック] が「オン」のときは [バックグラウンド] を選択できません。
- バックグラウンドは、[リセット] を行っても変更されません。

## ●フィルタメッセージ

本機には、フィルタの清掃時期をお知らせする機能があります。[フィルタメッセージ] で設定した時間 (500 時間：工場出荷状態) を超えると、画面上に「フィルタ清掃時期です。」のメッセージが表示されます。

この場合はフィルタの清掃時期ですので、フィルタを清掃してください。清掃のしかたは「7-1. フィルタの清掃」(▶ 172 ページ) をご覧ください。

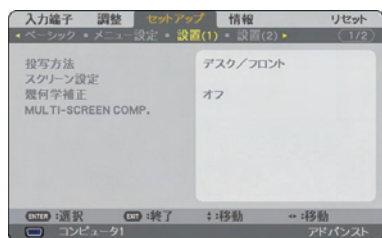
フィルタの汚れかたに応じて、工場出荷時の設定 (500 時間) を変更してください。たとえば、フィルタの汚れかたがひどい場合は、設定時間を短くしてこまめに清掃してください。

オフ	フィルタ清掃のメッセージは表示されません。
100 [H] / 200 [H] / 500 [H] / 1000 [H]	設定した時間 (100 時間 / 200 時間 / 500 時間 / 1000 時間) を超えると、画面上にフィルタ清掃のメッセージが表示されます。

**参考**

- フィルタ清掃のメッセージは、電源投入時の 1 分間、および本機の (入/スタンバイ) ボタンまたはリモコンの POWER(OFF) ボタンを押したときに表示されます。電源投入時にフィルタ清掃のメッセージを消す場合は、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
- フィルタメッセージは、[リセット] を行っても変更されません。

## 設置 (1)

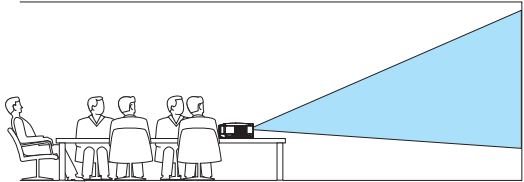
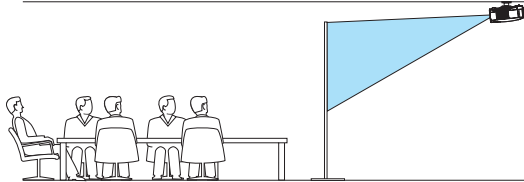
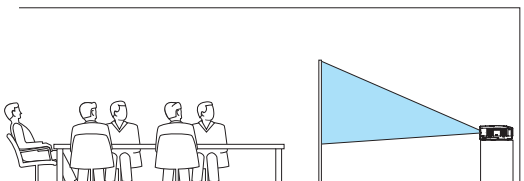
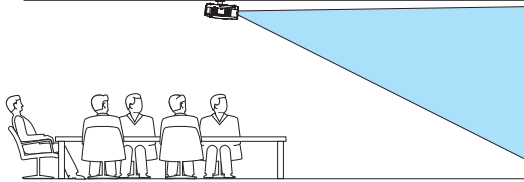


### ● 投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

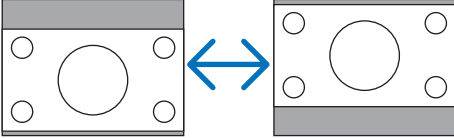


天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。  
お客様による設置は絶対にしないでください。  
落下してけがの原因となります。

デスク/フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写 
天吊り/リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写 
デスク/リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 
天吊り/フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写 



## ●スクリーン設定

スクリーンタイプ	投写するスクリーンの比率を設定します。	
	4 : 3 スクリーン	縦横比が 4 : 3 のスクリーンの場合
	ワイドスクリーン	縦横比が 16 : 9 のスクリーンの場合
表示位置 (NP3250J/ NP2250J/ NP1250J のとき)	[スクリーンタイプ] が「ワイドスクリーン」のときに、表示領域の垂直位置を調整します。 下へ ↓  上へ ↑	

### 注意

- スクリーンタイプを変更したら、必ず [アスペクト] の設定を確認してください。  
(▶ 135 ページ)
- [スクリーンタイプ] が「4 : 3 スクリーン」のとき、および [アスペクト] が「レターボックス」のときは、[表示位置] は文字が薄く表示され選択できません。

## ●幾何学補正

本機にあらかじめ登録されている幾何学補正のデータを呼び出します。  
登録データは 3 つあります。

### 注意

- 幾何学補正を設定しているときは、台形補正および 4 点補正は選択できません。
- 設定した幾何学補正のデータをクリアする場合は、(3D REFORM) ボタンを 2 秒以上押ししてください。
- [幾何学補正] は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

## ●MULTI-SCREEN COMP. (マルチスクリーン補正)

複数台のプロジェクターを並べて投写するとき、各プロジェクター間の投写映像を近づけます。

モード	オフ	マルチスクリーン補正を無効にします。 通常の明るさに戻ります。
	オン	マルチスクリーン補正を有効にします。 画面が暗くなります。コントラスト、明るさの調整が可能になります。
コントラスト	明部を調整します。	
明るさ	暗部を調整します。	

### 調整方法

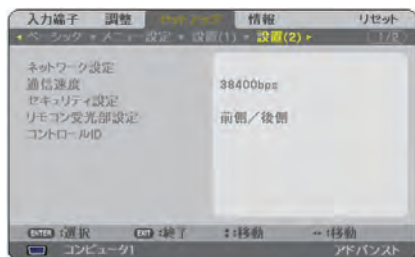
- 1 パソコン画面いっぱいに白色および黒色が表示できるような画面を用意する。
- 2 パソコンに黒画面を表示し、複数のプロジェクターで投写する。

- 3 調整するプロジェクターの [MULTI-SCREEN COMP.] のモードを「オン」にする。  
[MULTI-SCREEN COMP.] 設定画面の [モード] にカーソルを合わせ、(ENTER(決定)) ボタンを押します。  
(SELECT▼) ボタンを押して「オン」にカーソルを合わせ、(ENTER(決定)) ボタンを押します。
- 4 プロジェクター間の暗部を調整する。  
(SELECT▼) ボタンを押して、「明るさ」にカーソルを合わせ、(SELECT◀▶) ボタンを押して他のプロジェクターの黒色に合わせます。
- 5 パソコンに白画面を表示し、複数のプロジェクターで投写する。
- 6 プロジェクター間の明部を調整する。  
(SELECT▲) ボタンを押して、「コントラスト」にカーソルを合わせ、(SELECT◀▶) ボタンを押して他のプロジェクターの白に合わせます。  
+ 方向にスライドさせると白みが変わる場合がありますので、このときは-方向で調整してください。

### 参考

- 本機を複数台使用して投写している場合、コントロール ID 機能を使って、リモコンから目的のプロジェクターを操作したり、同時に操作することができます。165 ページの「コントロール ID」をご覧ください。
- MULTI-SCREEN COMP. で設定した内容は、[リセット] を行っても変更されません。

## 設置 (2)



## ● ネットワーク設定

### 重要

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 有線 LAN を使う場合は、本機の LAN ポート (LAN) に LAN ケーブル (Ethernet ケーブル) を接続してください。(👉 41 ページ)

### 参考

- ネットワーク設定で設定した内容は、[リセット] を行っても変更されません。

### ● LAN の設定を行うには？（設定を本機のメモリに記憶するには？）

[有線]または[無線]ページを表示し、[プロファイル]のリストから、設定を記憶するプロファイル番号を選択します。

本機では、内蔵の LAN ポートを使用する設定を 2 とおり、また無線 LAN ユニットを使用する設定を 2 とおり、メモリに記憶することができます。

続いて、同じページで、[DHCP]の有効/無効、[IP アドレス]、[サブネットマスク]などの設定後、[確定]にカーソルを合わせ(ENTER(決定))ボタンを押します。(▶次ページ)

### ● プロファイル番号に記憶した設定を呼び出すには？

[有線]または[無線]ページの[プロファイル]のリストから呼び出すプロファイル番号を選択します。続いて[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER(決定))ボタンを押します。

(▶次ページ)

### ● DHCP サーバに接続するには？

[有線]または[無線]ページで[DHCP]にカーソルを合わせ、(ENTER(決定))ボタンを押します。

チェックマークが付きます。[DHCP]にカーソルを合わせ、もう一度(ENTER(決定))ボタンを押すと、チェックマークが外れます。DHCP サーバを使用せず直接 IP アドレスを設定する場合は、[DHCP]のチェックマークを外してください。(▶次ページ)

### ● 無線 LAN 特有の設定（通信モードや WEP(セキュリティ通信)）を行うには？

[無線]ページの[プロファイル]で、「プロファイル 1」または「プロファイル 2」を選択します。

続いて、同じページの[詳細設定]にカーソルを合わせ、(ENTER(決定))ボタンを押します。

[詳細設定]画面が表示されます。(▶153 ページ～155 ページ)

### ● 接続する SSID を選択するには？

[無線]ページの[詳細設定] → [接続]ページで[サイトサーベイ]にカーソルを合わせ、

(ENTER(決定))ボタンを押します。リストの中から、接続する SSID にカーソルを合わせます。

(SELECT▶) ボタンを押して[確定]にカーソルを移動し(ENTER(決定))ボタンを押します。

[サイトサーベイ]を使用しない場合は、同じ[接続]ページで、[SSID]を直接入力し、「インフラストラクチャ」または「アドホック」を選択します。(▶154 ページ)

### ● プロジェクターのランプ交換時期や各種のエラーを E メールで受け取るには？

[メール]ページで[メール通知]にカーソルを合わせ(ENTER(決定))ボタンを押します。チェックマークが付きます。続いて、[差出人アドレス]や[SMTP サーバ名]、[宛先アドレス]

などを設定し、[確定]にカーソルを合わせ(ENTER(決定))ボタンを押します。(▶156 ページ)

### ● Image Express Utility 2.0 を使って “かんたん接続” を行うには？

添付の User Supportware 6 CD-ROM に収録している Image Express Utility 2.0 では、無線 LAN を使ったパソコンとプロジェクターの接続を少ない手順で行う “かんたん接続” モードがあります。

“かんたん接続”を行う場合は、[無線]ページの[プロファイル]のリストの中から「かんたん接続」を選択します。

(注) “かんたん接続”は、OS が Windows Vista または Windows XP で「管理者」権限の場合に使用できます。

## 全般 - プロジェクター名

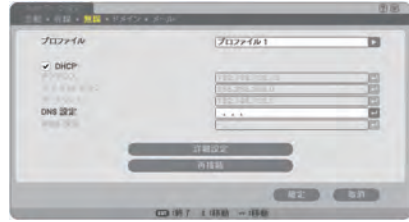
本機を含む複数のプロジェクターが LAN に接続されている場合、パソコン側でプロジェクターを識別するのに使います。

英数字および記号が使用でき、最大 16 文字まで入力できます。

### 参考

- プロジェクター名は、[リセット] を行っても変更されません。

## 有線 または 無線



<p>プロファイル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本機に内蔵の LAN ポートを使用する場合の設定を 2 とおり、また無線 LAN ユニットを使用する場合の設定を 2 とおりの合計 4 とおりを、本機のメモリに記憶することができます。</li> <li>・ 「プロファイル 1」、「プロファイル 2」を選択し、[DHCP] 以下の項目の設定を行います。設定が終わったら、画面下の [確定] にカーソルを合わせ (ENTER(決定)) ボタンを押します。設定内容が本機のメモリに記憶されます。</li> <li>・ 本機のメモリに記憶した設定を呼び出す場合は、[プロファイル] から選んで画面下の [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER(決定)) ボタンを押します。</li> <li>・ 添付の User Supportware 6 CD-ROM に収録している Image Express Utility 2.0 を使って “かんたん接続” を行う場合は、[無線] ページの [プロファイル] のリストから「かんたん接続」を選択します。</li> <li>・ 無線 LAN ユニットから電波を出さないようにするには「無効」を選択します。</li> </ul>	<p>—</p>
<p>DHCP</p>	<p>本機を接続するネットワークが、DHCP サーバによって IP アドレスを自動的に割り当てる場合は、チェックマーク (☑) を付けます。自動的に割り当てられない場合は、チェックマークを付けずに、下の「IP アドレス」と「サブネットマスク」を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……DHCP サーバによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。</li> <li>・ <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。</li> </ul>	<p>—</p>

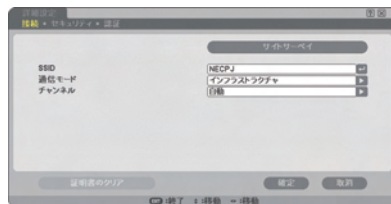
IP アドレス	[DHCP] のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。	数字 12 文字
サブネットマスク	[DHCP] のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。	数字 12 文字
ゲートウェイ	[DHCP] のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。	数字 12 文字
DNS 設定	本機を接続するネットワークの DNS サーバの IP アドレスを設定します。	数字 12 文字
WINS 設定	[DHCP] のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークの WINS サーバの IP アドレスを設定します。	数字 12 文字
詳細設定 (注)	無線 LAN に接続するための詳細設定 (通信モード、セキュリティ) を行います。	—
再接続	ネットワークの接続を試みます。[プロファイル] を変更したときなどに実行してください。	—




(注) [詳細設定] ボタンは、[無線] ページのときに表示されます。

**注意**

- [プロファイル] で「かんたん接続」を選択した場合は、DHCP 以下の項目の設定を変更できません。ただし、[詳細設定] の [チャンネル] の設定は変更できます。

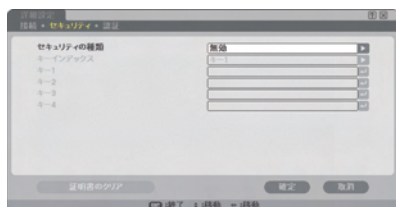
## 詳細設定 (接続) (無線LANユニット使用時のみ設定が必要)



サイトサーベイ	<p>その場所で接続可能な無線 LAN の SSID をリスト表示し、リストの中から接続する SSID を選択します。SSID を選択するには、SSID にカーソルを合わせ、<b>(SELECT ▶)</b> ボタンを押して [確定] にカーソルを移動し、<b>(ENTER (決定))</b> ボタンを押します。リストに表示されるアイコンは、次の意味を持っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> : 無線 LAN アクセスポイント</li> <li> : パソコン (アドホック)</li> <li> : WEP または WPA の設定あり</li> </ul>	—
SSID	無線 LAN の識別名 (SSID) を入力します。SSID が一致する機器とのみ、通信が行えます。	英数字 最大 32 文字 注: 大文字と小文字は区別されます。

通信モード	無線 LAN を使用するときの通信方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラストラクチャ……無線 LAN 端末と無線 LAN アクセスポイントを利用した形態の通信を行うときに選択します。</li> <li>・アドホック……無線 LAN アクセスポイントを使わず、無線 LAN 端末同士で通信を行うときに選択します。</li> </ul>	—
チャンネル	国によって使用できるチャンネルが異なります。インフラストラクチャのときは、無線 LAN アクセスポイント、アドホックのときは相手のパソコンと同じチャンネルに設定してください。	—

### 詳細設定 (セキュリティ) (無線 LAN ユニット使用時のみ設定が必要)



セキュリティの種類	無線 LAN でセキュリティを設定するかしないかを選択します。セキュリティを行う場合は、WEP キーまたは暗号キーを設定します。お使いのパソコンや無線 LAN 機器の機能にあわせて、どのセキュリティを使用するか選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・無効…暗号化を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。</li> <li>・WEP (64bit) …WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 64bit 長のデータを使います。</li> <li>・WEP (128bit) …WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 128bit 長のデータを使います。64bit 長の秘密鍵に比べ、セキュリティが強化されます。</li> <li>・WPA-PSK/WPA-EAP/WPA2-PSK/WPA2-EAP…これらは WEP 形式よりもセキュリティが強化された形式です。  <b>設定方法については、「ネットワーク設定ガイド」内の「WPA 設定ガイド」をご覧ください。</b> </li> </ul> <p><b>注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュリティの種類、WEP キー、暗号キーは、通信を行う相手の機器 (パソコンや無線 LAN アクセスポイント) と同じ設定にしてください。</li> <li>● セキュリティ設定をすると、画像転送速度が低下します。</li> <li>● 通信モードで「アドホック」を使用している場合、WPA-PSK、WPA-EAP、WPA2-PSK、および WPA2-EAP は使用できません。</li> </ul>
-----------	--

### ● [セキュリティの種類]で「WEP(64bit)」または「WEP(128bit)」を選択したとき

キーインデックス	下のキー-1～キー-4のどの WEP キーを使うかを選択します。
----------	----------------------------------

キー1/キー2/ キー3/キー4	WEPキーを入力します。								
	●最大入力文字数								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>英数文字 (ASCII)</th> <th>16進数 (HEX)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WEP (64bit)</td> <td>5文字</td> <td>10文字</td> </tr> <tr> <td>WEP (128bit)</td> <td>13文字</td> <td>26文字</td> </tr> </tbody> </table>	選択	英数文字 (ASCII)	16進数 (HEX)	WEP (64bit)	5文字	10文字	WEP (128bit)	13文字
選択	英数文字 (ASCII)	16進数 (HEX)							
WEP (64bit)	5文字	10文字							
WEP (128bit)	13文字	26文字							

## ● [セキュリティの種類] で「WPA-PSK」、「WPA-EAP」、「WPA2-PSK」、または「WPA2-EAP」を選択したとき

暗号化の種類	TKIP または AES を選択します。
キー	暗号キーを入力します。暗号キーは、8文字以上、63文字以下の英数文字を入力します。

**詳細設定(認証)** (WPA-EAPまたはWPA2-EAPを使用する場合に設定が必要)  
設定方法については、「ネットワーク設定ガイド」内の「WPA 設定ガイド」をご覧ください。



### ● WEP キーの入力 (英数文字入力と 16 進数入力の切り替え)

[キー 1] ~ [キー 4] に WEP キーを入力する場合は、次のように操作します。

- 1 カーソルが [キー 1] ~ [キー 4] に合っているときに **(ENTER (決定))** ボタンを押す。文字入力画面が表示されます。



- 2 **(SELECT ▼▲◀▶)** ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、**(ENTER (決定))** ボタンを押す。

文字が入力されます。

- ・文字入力画面の操作については、119 ページをご覧ください。
- ・WEPキーまたはパスフレーズを入力する場合は、英数文字 (ASCII) と 16 進数 (HEX) の 2 とおり、PSKキーの場合は、英数文字 (ASCII) の入力が行えます。次のようにして切り替えます。
- ・文字入力画面の左下に「HEX」と表示されているときは、英数文字 (ASCII) が入力できます。
- ・16 進数を入力する場合は、「HEX」にカーソルを合わせ **(ENTER (決定))** ボタンを押します。「HEX」表示が「ASCII」表示に変わります。
- ・文字入力画面の左下に「ASCII」と表示されているときは、16 進数が入力できます。
- ・16 進数入力のときは、入力欄の先頭に自動的に「0x(ゼロエックス)」と表示されます。

- 3 WEPキーまたはパスフレーズを入力したら、**(SELECT ▼▲◀▶)** ボタンを押して、**[OK]** にカーソルを合わせ、**(ENTER (決定))** ボタンを押す。

入力した文字が確定して、文字入力画面が閉じます。

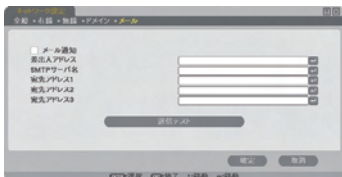
## ドメイン



本機のホスト名とドメイン名を設定します。

ホスト名	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 15 文字
ドメイン名	本機のドメイン名を設定します。	英数字 最大 60 文字

## メール



メール通知	<p>本機を LAN に接続して使用する場合、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでパソコンなどへ通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。</li> <li>• <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……メール通知機能は停止します。</li> </ul> <p><b>【本機から送信される E メール の例】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。</p> <p>[情報]</p> <p>プロジェクター名：xxxx</p> <p>ランプ使用時間：xxxx [H]</p> </div>	
差出人アドレス	本機から E メールを送信する際の差出人アドレスを設定します。Eメールの「from」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
SMTPサーバ名	本機が接続をするネットワークの SMTP サーバを設定します。	最大 60 文字
宛先アドレス 1 宛先アドレス 2 宛先アドレス 3	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。Eメールの「to」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
送信テスト	<p>Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。</p> <p><b>注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワーク設定を確認してください。</li> <li>● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。</li> </ul>	



## 注意

- 無線 LAN でメール通知を使用する場合は、[通信モード] で「インフラストラクチャ」を選択してください。
- 次の 2 つの項目が設定されていないと [送信テスト] は選択できません。「差出人アドレス」、「宛先アドレス 1～3 (のいずれか)」
- 「メール」以外のネットワーク設定を変更した場合は、[確定] を選んで変更した設定を決定したあとで、[送信テスト] を行ってください。

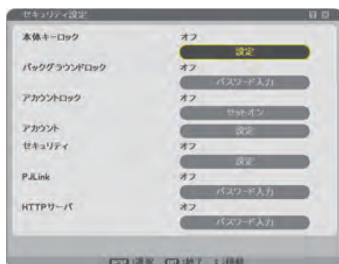
## ●通信速度

PC コントロール端子のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

## 参考

- 通信速度は、[リセット] を行っても変更されません。

## ●セキュリティ設定



### 本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが働きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります (ロック)。

## 注意

- 本体キーロックの解除方法  
本体の操作ボタンが「オン」に設定されているときに、本体の **EXIT(戻る)** ボタンを約 10 秒間押しと、本体キーロックの設定が解除されます。

## 参考

- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。
- 本体キーロックは、[リセット] を行っても解除されません。

## バックグラウンドロック

バックグラウンド用パスワードを設定すると、ビューワでログデータを変更するとき（[105 ページ](#)）に、パスワード確認画面を表示します。  
また、[メニュー設定] の [バックグラウンド] も文字が薄く表示され選択できなくなります。

## 登録



パスワードを登録します（英数字で最大 10 文字）。

### 1 パスワードを入力する。

- ・パスワード入力欄にカーソルを合わせ、**(ENTER (決定))** ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。（[119 ページ](#)）
- ・USB マウスで操作している場合は、入力したい文字を左クリックします。
- ・1 文字入力するごとに、パスワード入力欄に「\*」が表示されます。



重要

- パスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

### 2 パスワードを入力したら、**(ENTER (決定))** ボタンを押す。

パスワード確認画面が表示されます。

### 3 手順 1 で入力したパスワードを、再度入力する。

- ・1 文字入力するごとに、パスワード入力欄に「\*」が表示されます。

### 4 **(ENTER (決定))** ボタンを押す。

パスワードが登録されメニューに戻ります。

## 削除

登録しているパスワードを削除します。

### 1 [パスワード削除] を選択して決定する。

### 2 パスワードを入力する。

- ・1 文字入力するごとに、パスワード入力欄に「\*」が表示されます。

### 3 **(ENTER (決定))** ボタンを押す。

パスワードが削除されメニューに戻ります。



参考

- 登録したバックグラウンド用パスワードを忘れてしまった場合は、お客様問い合わせ窓口（NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター）にご連絡ください。
- バックグラウンドロックは、[リセット] を行っても解除されません。

## アカウントロック

本機の管理者アカウント「ADMINISTRATOR」以外のアカウントでログインしているとき、ユーザーアカウントを作成、編集、削除する操作を禁止することができます。アカウントロックを「オン」または「オフ」するときは、独自のパスワードを設定します。



- パスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。
- パスワードを忘れたときは、本機の管理者アカウント「ADMINISTRATOR」でログインし、[アカウントロック] を「オフ」にしてください。

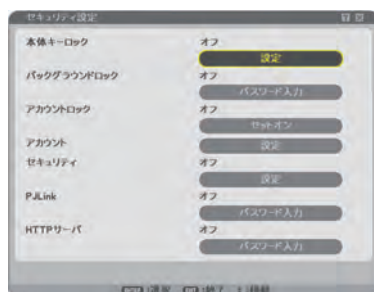
## アカウント

ユーザーアカウントの作成、編集、削除ができます。

### ユーザーの作成

- 1 **オンスクリーンメニューから [セットアップ] → [設置 (2)] → [セキュリティ設定] を選択する。**

セキュリティ設定画面が表示されます。



- 2 **[アカウント] の「設定」にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。**

アカウント設定画面が表示されます。

- 3 **[作成] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。**

アカウント作成画面が表示されます。



- 4 **ユーザー名、ユーザーの種類、パスワードを入力します。**

- ユーザー名は、16文字までの英数字で設定してください。
- ユーザータイプは、「アドバンスト」「ベーシック」の中から一つ選択してください。
- パスワードは、10文字までの英数字で設定してください。パスワード欄に何も入力しないと、パスワードなしのユーザーになります。



- パスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

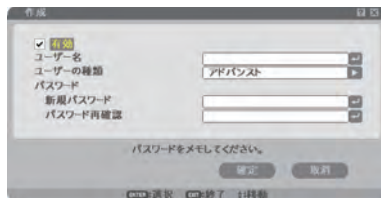


- 「管理者」と「アドバンスト」は、ユーザーアカウントの操作、アドバンストメニュー、およびベーシックメニューの操作ができます。
- 「ベーシック」は、ベーシックメニューの操作ができます。

## 5 [有効] にカーソルを合わせ、

**(ENTER (決定)) ボタンを押す。**

有効にチェックを入れると、そのアカウントが有効になります。



## 6 [確定] にカーソルを合わせ、

**(ENTER (決定)) ボタンを押す。**

これでアカウントの追加が終わりました。



- ユーザーは 12 名まで作成できます。

### ユーザーの編集

**1 159 ページの手順 1、2 を参照し、アカウント設定画面を表示する。**

**2 編集したいユーザー名にカーソルを合わせる。**

**3 (SELECT ▶)、(SELECT ▼) ボタンを押して [編集] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。**

アカウント作成画面が表示されます。

**4 設定内容を修正して、[確定] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。**

### ユーザーの削除

**1 159 ページの手順 1、2 を参照し、アカウント設定画面を表示する。**

**2 削除したいユーザー名にカーソルを合わせる。**

**3 (SELECT ▶)、(SELECT ▼) ボタンを押して [削除] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。**

確認画面が表示されます。

**4 [はい] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。**

これでユーザーの削除が完了しました。



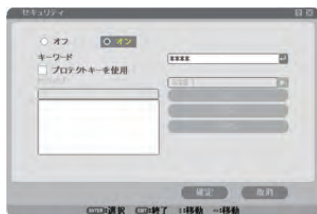
- パスワードを忘れたときの対処。  
本機の管理者アカウント「ADMINISTRATOR」でログインし、ユーザーアカウントの編集、削除を行ってください。  
なお、本機の管理者アカウントでログインできない場合は、お客様お問い合わせ窓口（NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター）にご連絡ください。

## セキュリティ

キーワードを設定することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。また、USB メモリをプロテクトキーとして登録することで、本機の電源を入れたときに、USB メモリが本機にセットされていないと投写できないようにします。

詳しい操作は「4-10. セキュリティを設定して無断使用を防止する」をご覧ください。

 75 ページ



オフ/オン	セキュリティをオンにするか、オフにするかを選択します。この設定は、次の電源オンから有効になります。	
キーワード	セキュリティを使用する際に必要なキーワードを入力します（最大 10 文字）。キーワードを入力しないとセキュリティはオンになりません。	
プロテクトキーを使用	セキュリティロックの方法を設定します。	
	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける)	キーワードと USB メモリの両方を登録してセキュリティロックをかけます。
	<input type="checkbox"/> (チェックマークを外す)	キーワードのみでセキュリティロックをかけます。
ドライブ	プロテクトキーの場所を切り替えます。	
読込	登録する USB メモリの情報を読み込みます。	
登録	読み込んだ USB メモリの情報を登録します。 [プロテクトキーを使用] に <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) を付けた場合、USB メモリが 1 枚も登録されていないとセキュリティはオンになりません。最大 5 個の USB メモリを登録できます。	
削除	登録した USB メモリの情報を削除します。	

## セキュリティをオンにする

### USB メモリを使用しない場合

- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンで [キーワード] にカーソルを合わせ、キーワードを入力する。



● キーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

- 2 (SELECT ▼/▲) ボタンで [オフ] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンで [オン] にカーソルを合わせる。
- 3 (SELECT ▼/▲) ボタンで [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。  
確認メッセージが表示されます。
- 4 (SELECT ◀/▶) ボタンで [はい] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。  
セキュリティがオンになります。

### USB メモリをプロテクトキーとして使用する場合

準備：USB メモリを本機の USB ポート (タイプ A) にセットしてください。

- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンで [プロテクトキーを使用] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。  
 (チェックマーク) が付きます。
- 2 (SELECT ▼/▲) ボタンで [読込] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。  
USB メモリの情報が読み込まれます。
- 3 (SELECT ▼/▲) ボタンで [登録] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。  
読み込まれた USB メモリの情報が登録され、登録リストに表示されます。
- 4 (SELECT ▼/▲) ボタンで [キーワード] にカーソルを合わせ、キーワードを入力する。



● キーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

- 5 (SELECT ▼/▲) ボタンで [オフ] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンで [オン] にカーソルを合わせる。
- 6 (SELECT ▼/▲) ボタンで [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。  
確認メッセージが表示されます。
- 7 (SELECT ◀/▶) ボタンで [はい] にカーソルを合わせ、(ENTER (決定)) ボタンを押す。  
セキュリティがオンになります。



- USB メモリによってはプロテクトキーとして登録できないものもあります。
- 登録した USB メモリが破損、紛失したときのために、複数の USB メモリを登録しておくことをおすすめします。最大 5 つまで登録できます。
- プロテクトキーとして登録したあと、USB メモリをフォーマットすると、プロテクトキーとして認識できなくなります。

## セキュリティをオンにしているときの電源の入れかた

### USB メモリを使用しない場合

- 1 電源 (入/スタンバイ) ボタンを 2 秒以上押す。
  - リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを 2 秒以上押します。

本機の電源が入り、セキュリティロック中のメッセージが表示されます。

**2** (MENU(メニュー)) ボタンを押す。

キーワード入力画面が表示されます。

**3** キーワード入力画面にキーワードを入力する。

セキュリティロックが一時的に解除され、選択されている信号を投写します。

## USB メモリをプロテクトキーとして使用する場合

**準備:** 情報を登録した USB メモリを本機の USB ポート (タイプ A) にセットしてください。

**1** 電源 (入/スタンバイ) ボタンを 2 秒以上押す。

- ・リモコンで操作する場合は、POWER(ON) ボタンを 2 秒以上押します。  
電源が入り、USB メモリが認識されると入力信号を投写します。  
電源が入ったあとは USB メモリを抜いてもそのまま動作します。

**注意**

- 本機は、NTFS 形式でフォーマットされた USB メモリを認識できません。  
本機にセットした USB メモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。  
本機のビューワやセキュリティで使用する USB メモリは、FAT32 形式、FAT16 形式または FAT 形式でフォーマットしてください。  
フォーマット方法については、お使いの Windows の取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。
- 本機の USB ポートは、市販されているすべての USB メモリの動作を保証するものではありません。
- 本機の電源を入れたとき、情報を登録した USB メモリが本機にセットされていないと、セキュリティロック中のメッセージが表示され画面が投写されません。その場合は、情報を登録した USB メモリを本機にセットすると、セキュリティロックを解除することができます。
- セキュリティロックの解除状態は、主電源を切る (主電源スイッチを「O (切)」にするか、電源コードを抜く) まで保持されます。  
次の場合に、プロテクトキーのチェック、またはキーワードの要求を行います。  
(1) セキュリティ設定画面で [確定] して電源をオフしたあと電源をオンしたとき。  
(2) セキュリティ「オン」中に主電源を切ったあと再び主電源を入れ電源をオンしたとき。  
(3) セキュリティ「オン」中にセキュリティ設定画面を表示しようとしたとき。
- キーワードに空白 (スペース) は使用できません。

## 登録した USB メモリ情報を削除する

**1** (SELECT ▼/▲) ボタンで [削除] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀) ボタンで登録リスト内にカーソルを移動する。

**2** (SELECT ▼/▲) ボタンで削除したい USB メモリの情報を選択する。

**3** (SELECT ▶) ボタンで [削除] にカーソルを合わせ、(ENTER(決定)) ボタンを押す。

USB メモリの情報が削除されます。

## 参考

- プロテクトキーとして登録した USB メモリを紛失してしまったときの対応

### 1 電源 (入/スタンバイ) ボタンを 2 秒以上押す。

- ・ リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを 2 秒以上押します。  
本機の電源が入り、セキュリティロック中のメッセージが表示されます。

### 2 (MENU) ボタンを押す。

キーワード入力画面と一緒にお問い合わせコード (Request Code) (英数字 24 文字) が表示されます。

- セキュリティ設定画面で登録したキーワードと、表示されたお問い合わせコードの 2 つをお客様問い合わせ窓口 (NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター) にご連絡ください。解除コード (Release Code) をお知らせします。

### 3 キーワード入力画面に解除コードを入力する。 セキュリティロックが解除されます。

- キーワードを忘れたときの対処  
お客様問い合わせ窓口 (NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター) にご連絡ください。
- セキュリティは、[リセット] を行っても解除されません。

## ● PJLink

PJLink (ピージェイリンク) を使用する場合に、パスワードを設定します。

パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。

パスワードの設定方法は「バックグラウンドロック」と同じです。(🔗 158 ページ)

## 参考

- PJLink (ピージェイリンク) とは社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (略称 JBMIA) が制定したネットワーク (通信) インターフェイス規格です。

<http://pjlink.jbmia.or.jp/index.html>

本機は、PJLink class 1 のすべてのコマンドに対応しています。

- 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、お客様問い合わせ窓口 (NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター) にご連絡ください。
- パスワードは、[リセット] を行っても解除されません。

## ● HTTP サーバ

HTTP サーバを使用する場合に、パスワードを設定します。

パスワードは最大 10 文字までの英数字で設定してください。

パスワードの設定方法は (🔗 158 ページ)「バックグラウンドロック」と同じです。

## ● リモコン受光部設定

本体前面と後面のリモコン受光部の設定を行います。

前側/後側	前面および後面のリモコン受光部を有効にします。
前側	前面のみのリモコン受光部を有効にします。
後側	後面のみのリモコン受光部を有効にします。



## ●コントロール ID

### 注意

- コントロール ID 機能は、オプションリモコン NP02RC を使用する際に利用できます。

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。  
また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	割り当てる番号を 1 ~ 254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。

### 注意

- コントロール ID をオンにすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。  
また、オプションリモコン NP01RC など ID 機能に対応していないリモコンからも操作できなくなります。

### 参考

- コントロール ID は、[リセット] を行っても解除されません。
- 本体の (ENTER (決定)) ボタンを 10 秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

## リモコンへの ID の設定／変更方法

- 1 プロジェクターの電源を入れる。
- 2 オプションリモコン NP02RC の (ID SET) ボタンを押す。  
コントロール ID 画面が表示されます。



このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。

「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順 3 でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。

- 3 オプションリモコン NP02RC の (ID SET) ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。  
たとえば「3」に変更するには数字の 3 を押します。  
ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）するには、000 を入力するか、または (CLEAR) ボタンを押します。

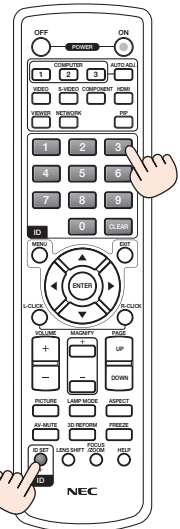
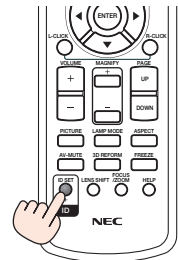
### 参考

- リモコンの ID は 1 ~ 254 まで登録できます。

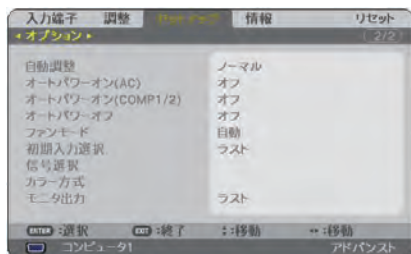
- 4 (ID SET) ボタンを離す。  
コントロール ID 画面が表示されます。  
このとき、変更されたリモコン ID で動作・非動作画面が更新されます。

### 注意

- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。



## オプション



### ●自動調整

調整されていないコンピュータ信号に切り替わったときに、表示位置と画素のずれについて調整方法を設定します。

オフ	自動調整を行いません。 本体の(自動調整)ボタン、またはリモコンの(AUTO ADJ.)を押して表示を調整してください。 または、オンスクリーンメニューを表示して、クロック周波数や位相を調整してください
ノーマル	簡易的な自動調整を行います。
ファイン	より精密な自動調整を行います。 「ノーマル」よりも処理時間がかかるため、信号を切り替えたあと映像が表示されるまで時間がかかります。

#### 参考

- 工場出荷時は「ノーマル」に設定されています。
- 本体の(自動調整)ボタン、またはリモコンの(AUTO ADJ.)を押したときは、「ファイン」と同じ調整処理を行います。

### ●オートパワーオン (AC)

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC 電源が供給されると電源が入ります。

### ●オートパワーオン (COMP1/2)

本機がスタンバイ状態のとき、コンピュータ信号 (アナログ) が入力されると自動的に投写する設定です。

本機のコンピュータ 1 映像入力端子またはコンピュータ 2 映像入力端子とパソコンをコンピュータ接続ケーブルで接続し、本機をスタンバイ状態にします。

オフ	オートパワーオン (COMP1/2) 機能は動きません。
コンピュータ 1	コンピュータ 1 映像入力端子の信号を感知すると本機の電源を自動で入れてパソコン画面を投写します。
コンピュータ 2	コンピュータ 2 映像入力端子の信号を感知すると本機の電源を自動で入れてパソコン画面を投写します。

### 注意

- コンピュータ 1 映像入力端子またはコンピュータ 2 映像入力端子にコンポーネント信号を入力したときやシンクオングリーン (Sync on Green) またはコンポジットシンク (Composite Sync) のコンピュータ信号の場合は動きません。
- コンピュータ 3 映像入力端子でこの機能は利用できません。

## ●オートパワーオフ

入力選択がコンピュータ 1、コンピュータ 2、コンピュータ 3、コンポーネント、ビデオ、S-ビデオのとき、設定した時間以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切ります。

オフ	オートパワーオフ機能は動きません。
0:05 / 0:10 / 0:20 / 0:30	設定した時間 (5分 / 10分 / 20分 / 30分) 以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

## ●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。
高速	常に高速で回転します。
高地	標高約 1600m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。

### 注意

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。
- 標高約 1600m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ず「ファンモード」を「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 「ファンモード」を「高地」に設定しないまま、標高約 1600m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクタが動き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 「高地」を選択した状態のまま本機を低地 (標高約 1600m 未満) で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。
- 高地で使用すると、光学部品 (ランプなど) の交換時期が早まる場合があります。
- ファンモードは、[リセット] を行っても変更されません。

## ●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定を行います。

ラスト	最後に映した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
コンピュータ 1	コンピュータ 1 映像入力端子の入力信号を投写します。
コンピュータ 2	コンピュータ 2 映像入力端子の入力信号を投写します。
コンピュータ 3	コンピュータ 3 映像入力端子の入力信号を投写します。
コンポーネント	コンポーネント映像入力端子の入力信号を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。
S-ビデオ	S-ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。
ビューワ	ビューワ入力を投写します。 (🔗 97 ページ)
ネットワーク	LAN ポート (RJ-45) または標準装備の無線 LAN ユニットの介してパソコンから送られてくるデータを投写します。

## ●信号選択

本機の各映像入力端子の信号モードを選択します。

コンピュータ 1、2	DVD プレーヤなどのコンポーネント信号を、コンピュータ 1 映像入力端子およびコンピュータ 2 映像入力端子に専用ケーブルで接続する場合に選択します。 (🔗 38 ページ)
------------	---

## ●カラー方式

NTSC や PAL など、国によって異なるテレビジョン映像信号方式を選択します。

## ●モニタ出力

本機がスタンバイ状態のときにモニタ出力端子および音声出力端子から出力する信号を選択します。

ラスト	コンピュータ 1、コンピュータ 2、コンポーネントのうち、スタンバイ状態になる前に出力していた映像および音声信号を出力します。
コンピュータ 1	コンピュータ 1 映像入力端子およびその音声入力端子の信号を出力します。
コンピュータ 2	コンピュータ 2 映像入力端子およびその音声入力端子の信号を出力します。
コンポーネント	コンポーネント映像入力端子およびその音声入力端子の信号を出力します。



- [オートパワーオン (COMP1/2)] で [コンピュータ 1] または [コンピュータ 2] を選択した場合、[モニタ出力] は文字が薄く表示され選択できません。

## 6-6. 情報



ランプ使用時間、入力選択されている入力信号の詳細、内蔵の LAN ポートおよび標準装備の無線 LAN ユニットの LAN 設定の状態、製品の形名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

- ・信号 (1)、信号 (2) は、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が映らない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(196 ページ) もあわせてご覧ください。

### 参考

- ランプ残量／ランプ使用時間の表示について  
本機にはエコモード機能があります。ノーマルモードとエコモードではランプの交換時間 (目安) \* が異なります。\*保証時間ではありません。  
[ランプ使用時間] はランプの通算使用時間を示し、[ランプ残量] はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。
  - ・0%になると、電源オフ時の確認メッセージと同時に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます。新しいランプと交換してください。交換のしかたは「7-4. ランプとフィルタの交換」(175 ページ) をご覧ください。
  - ・ランプ交換のメッセージは電源投入時の 1 分間および本機の電源 (入/スタンバイ) またはリモコンの POWER (OFF) ボタンを押したときに表示されます。電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。

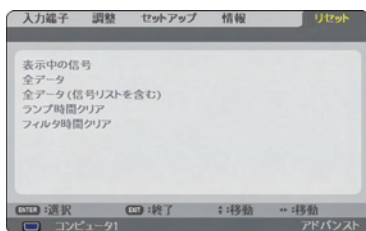
- ランプ交換時間 (目安) \* に到達 (ランプ残量 0%) 後、[ランプ残量] 表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、[ランプ残量] 表示は「100 時間」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そして [ランプ残量] 表示が「0 時間」になると、本機の電源が入らなくなります。
- ランプ使用時間は、ランプの個体差や使用条件によって差があり、下の表の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。

	ランプ使用時間		ランプ残量
	ノーマルモードでのみ使用 (最小)	エコモードでのみ使用 (最大)	
工場出荷時	0000 時間		100%
ランプ交換時間 (目安) *	2000 時間	3000 時間	0%

※保証時間ではありません。



## 6-7. リセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

### ●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

**注意** ● 信号リストでロックされている信号調整値は変更されません。

### ●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

#### 【リセットされないデータ】

[信号リスト]・[言語]・[バックグラウンド]・[フィルタメッセージ]・[MULTI-SCREEN COMP.]・[セキュリティ設定]・[ネットワーク設定]・[通信速度]・[時刻設定]・[コントロールID]・[ファンモード]・[ランプ残量]・[ランプ使用時間]・[フィルタ使用時間]

### ●全データ（信号リストを含む）

信号リストに登録されている内容を含め、すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

#### 【リセットされないデータ】

[言語]・[バックグラウンド]・[フィルタメッセージ]・[MULTI-SCREEN COMP.]・[セキュリティ設定]・[ネットワーク設定]・[通信速度]・[時刻設定]・[コントロールID]・[ファンモード]・[ランプ残量]・[ランプ使用時間]・[フィルタ使用時間]

**注意** ● 信号リストでロックされている信号の調整値は削除されません。

### ●ランプ時間クリア

ランプ交換を行ったときに [ランプ残量] と [ランプ使用時間] をクリアします。

**注意** ● ランプ時間は、[リセット] ではクリアされません。

### ●フィルタ時間クリア

フィルタの清掃または交換を行ったときに [フィルタ使用時間] をクリアします。

**注意** ● フィルタ時間は、[リセット] ではクリアされません。

# 7. 本体のお手入れ／ランプの交換

## 7-1. フィルタの清掃

吸気口のフィルタはプロジェクター内部をほこりや汚れから守っています。フィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃してください。

### 参考

#### ● フィルタ清掃時期の表示について

本機には、フィルタの清掃時期をお知らせする機能があります。あらかじめ設定した時間（500 時間：工場出荷状態）を超えて本機を使用すると、画面上に「フィルタ清掃時期です。」のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、フィルタを清掃してください。

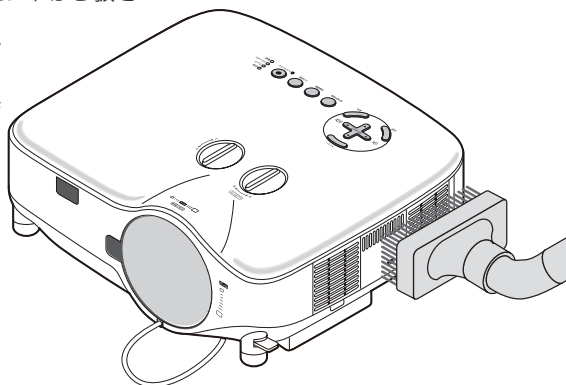
- ・ 設置する環境に合わせて、フィルタ清掃のメッセージ表示間隔を変更することができます。設定についてはオンスクリーンメニューの【フィルタメッセージ】（[▶ 147 ページ](#)）をご覧ください。
- ・ フィルタ清掃のメッセージは、電源投入時の 1 分間、および本機の電源（[入/スタンバイ](#)）ボタンまたはリモコンの POWER（OFF）ボタンを押したときに表示されます。
- ・ 「フィルタ清掃時期です。」というメッセージは、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押すと消えます。

### 1 フィルタを清掃する。

フィルタは本体右側面に 2 個あります。

電源を切り電源プラグをコンセントから抜きます。

掃除機で吸気口越しにフィルタの清掃を行ってください（フィルタカバーを外す必要はありません）。



### 2 フィルタ使用時間をクリアする。

電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

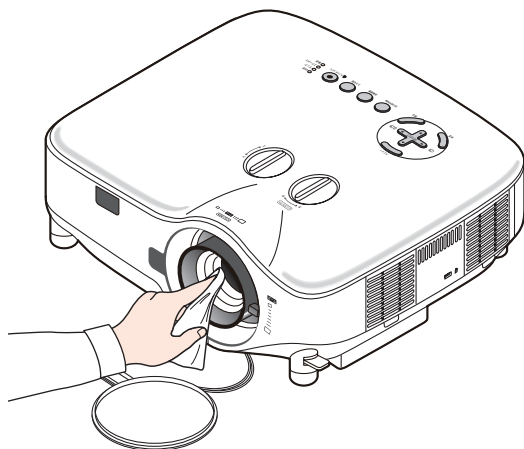
メニューの[リセット]の「フィルタ時間クリア」を選択してください。

（[▶ 前ページ](#)）



## 7-2. レンズの清掃

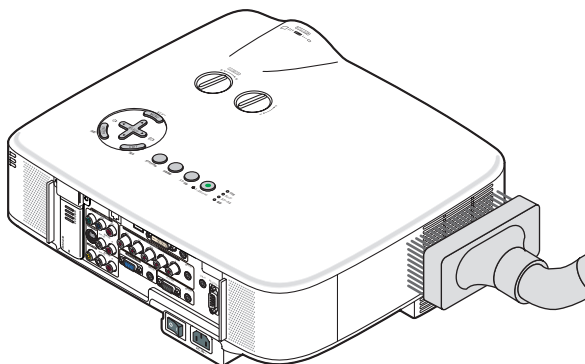
カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブロワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。



## 7-3. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。  
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。  
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



側面の通風孔と背面のスピーカ部のほこりを吸い取ります。

- 通風孔にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

### 注意

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。  
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるとの原因となります。

## 7-4. ランプとフィルタの交換

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間（目安）\*（▶170 ページ）を超えるとランプインジケータが赤く点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます。

この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。

なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ交換時間（目安）\*が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安はオンスクリーンメニューの「情報（使用時間）」（▶169 ページ）をご覧ください。

- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は交換用ランプ形名 NP06LP とご指定ください。
- 交換用ランプにはフィルタが添付されていますので、ランプを交換したあとにフィルタも交換してください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプハウスには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。  
また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ交換時間（目安）\*に到達後 100 時間を超えて使用すると、ランプインジケータが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

※保証時間ではありません。



**注意**

ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約 1 時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

### ランプとフィルタ交換の流れ

#### ステップ 1

ランプを交換する（▶次ページ）



#### ステップ 2

フィルタを交換する（▶178 ページ）



#### ステップ 3

ランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアする（▶179 ページ）

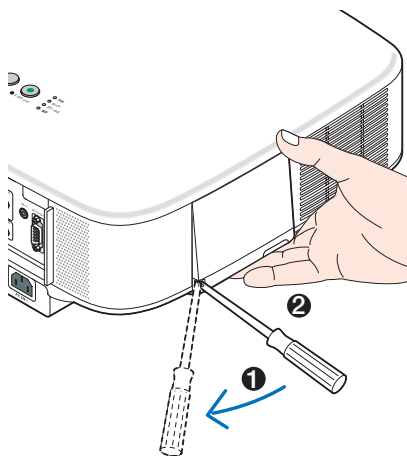
## ランプを交換する

準備：プラスドライバーを用意してください。

### 1 ランプカバーを外す。

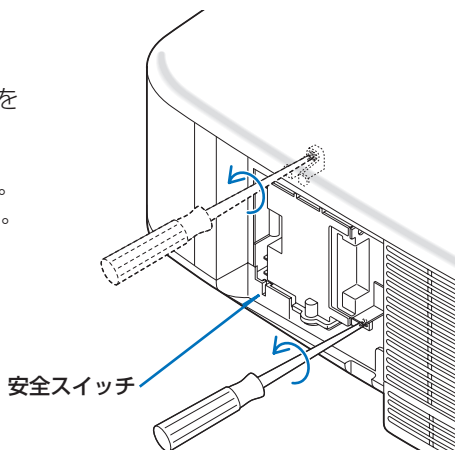
- 1 ドライバーをランプカバーの穴に差し込み、ツメを押し下したまま、2 手でフックを押します。

そのまま少し手前に引いて、ランプカバーを取り外します。



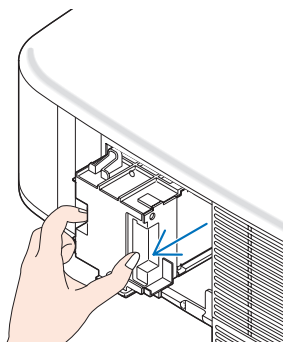
### 2 ランプハウスを外す。

- 1 ランプハウス固定のネジ (2箇所) を左に空転するまでゆるめる。
  - ・ネジは外れません。
  - ・本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。



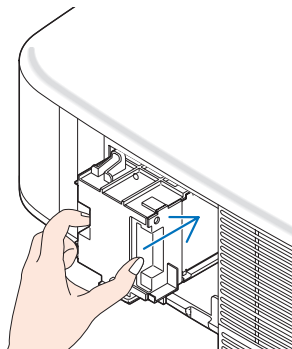
- 2 ランプハウスのつまみを指で挟んで引き出す。

	<b>注意</b>
高温に注意してください。ランプハウスが冷えていることを確認してから外してください。	

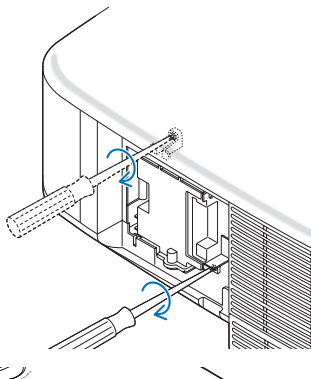


### 3 新しいランプハウスを取り付ける。

- ① ランプハウスを静かに入れる。
  - ・カチッと音がするまで押し込んでください。

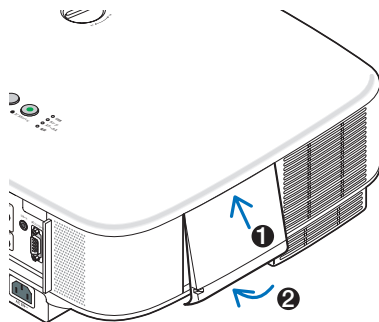


- ② ランプハウス固定のネジ（2箇所）を右に回してしめる。
  - ・ネジは確実にしめてください。



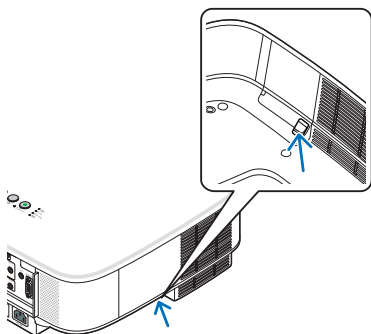
### 4 ランプカバーを取り付ける。

- ① ランプカバーのツメを本体のガイドに入れる。



- ② ランプカバーをしめる。
  - ・「カチッ」と音がしてランプカバーが固定されるまで押します。

これで、ランプ交換が終わりました。  
続いてフィルタを交換してください。



**参考**

- ランプ交換時間（目安）\* (170 ページ) に到達後 100 時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの (HELP) ボタンを 10 秒以上押すことでランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、ランプインジケータが消灯することで確認できます。  
※保証時間ではありません。

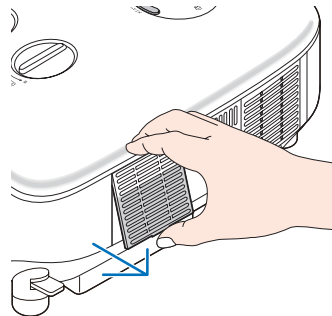
## フィルタを交換する

**注意**

- フィルタは、2 枚とも同時期に交換してください。
- フィルタを交換するときは、プロジェクター本体のほこりをよくふき取ってから行ってください。
- プロジェクターは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようご注意ください。
- フィルタは水洗いしないでください。目詰まりの原因となります。
- 必ずフィルタカバーを正しく取り付けてください。カバーを正しく取り付けしていないと、内部にほこりなどが入り故障の原因となります。

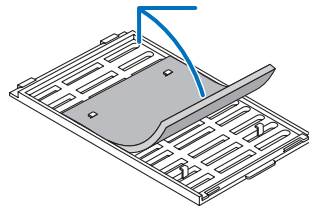
準備：先にランプの交換を行ってください (176 ページ)。

- 1** ツメに指をかけ、手前にフィルタカバーを引き抜いて外す。

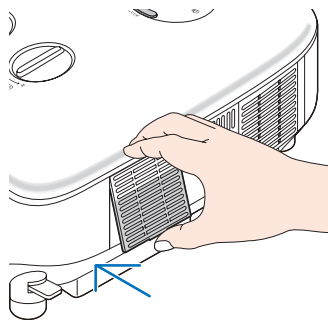


- 2** フィルタを交換する。

- ① フィルタを外して、フィルタカバーを清掃する。
- ② 新しいフィルタをフィルタカバーに取り付ける。



- 3** フィルタカバーを取り付ける。
- ・「カチッ」と音がしてフィルタカバーが固定されるまで差し込みます。



これで、フィルタ交換が終わりました。  
続いてランプ使用時間とフィルタ使用時間を  
クリアしてください。

## ランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアする

- 1** 本機を投写する場所に設置する。
- 2** 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。
- 3** ランプ使用時間やフィルタ使用時間をクリアする。
  - ① オンスクリーンメニューの [リセット] で [ランプ時間クリア] を実行してください。
  - ② 続いて [フィルタ時間クリア] を実行してください。(🔵171 ページ)

## 8. 別売のレンズユニットを使用する

本機は、5種類の別売レンズユニットが使用できます。このページの情報を参考にし、お客様の設置環境（スクリーンサイズと投写距離）に応じたレンズユニットをお買い求めください。また、レンズユニットの取り付け方法は、183ページをご覧ください。

### 8-1. レンズユニットの種類と投写距離

適応機種 NP3250J/NP2250J/NP1250J

単位：m

スクリーン サイズ	レンズの形名					
	標準レンズ	NP01FL	NP02ZL	NP03ZL	NP04ZL	NP05ZL
30型	0.9～1.2		0.7～0.9			
40型	1.2～1.6	0.64	0.9～1.2	1.6～2.5		
60型	1.8～2.5	0.98	1.4～1.9	2.4～3.8	3.6～5.8	5.7～8.8
80型	2.5～3.3	1.32	1.9～2.5	3.2～5.1	4.8～7.8	7.7～11.7
100型	3.1～4.1	1.66	2.4～3.2	4.0～6.4	6.1～9.8	9.6～14.7
120型	3.7～5.0	2.00	2.9～3.8	4.8～7.7	7.3～11.8	11.6～17.7
150型	4.7～6.2	2.50	3.7～4.8	6.0～9.6	9.2～14.8	14.5～22.2
200型	6.2～8.3		4.9～6.4	8.1～12.8	12.3～19.7	19.4～29.6
300型	9.4～12.5		7.4～9.6	12.2～19.3	18.5～29.7	29.2～44.5
400型	12.5～16.7		9.9～12.9	16.2～25.7	24.7～39.6	39.0～59.4
500型	15.7～20.8		12.4～16.1	20.3～32.1	30.9～49.5	48.9～74.4

#### 参考

##### ●画面サイズからの投写距離算出法

標準レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 1.5 \sim H \times 2.0$  : 0.9m(最小)～20.8m(最大)

NP01FL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 0.8$  : 0.64m(最小)～2.5m(最大)

NP02ZL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 1.2 \sim H \times 1.5$  : 0.7m(最小)～16.1m(最大)

NP03ZL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 1.9 \sim H \times 3.1$  : 1.6m(最小)～32.1m(最大)

NP04ZL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 3.0 \sim H \times 4.8$  : 3.6m(最小)～49.5m(最大)

NP05ZL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 4.7 \sim H \times 7.2$  : 5.7m(最小)～74.4m(最大)

(例) NP3250J/NP2250J/NP1250J でレンズユニット NP03ZL を使用して 100 型スクリーンに投写する場合の投写距離

「スクリーンサイズ (参考情報)」(194 ページ) の表より、H (スクリーン幅) = 2.032m となります。

投写距離は、 $2.032 \times 1.9 \sim 2.032 \times 3.1 = 3.860\text{m} \sim 6.299\text{m}$  となります (ズームレンズのため)。



スクリーン サイズ	レンズの形名					
	標準レンズ	NP01FL	NP02ZL	NP03ZL	NP04ZL	NP05ZL
30型	0.9~1.3		0.7~1.0			
40型	1.3~1.7	0.68	1.0~1.3	1.6~2.6		
60型	1.9~2.6	1.03	1.5~2.0	2.5~4.0	3.8~6.1	6.0~9.2
80型	2.6~3.5	1.39	2.0~2.7	3.4~5.3	5.1~8.2	8.1~12.3
100型	3.3~4.3	1.74	2.6~3.4	4.2~6.7	6.4~10.3	10.1~15.5
120型	3.9~5.2	2.10	3.1~4.0	5.1~8.1	7.7~12.4	12.2~18.6
150型	4.9~6.5	2.63	3.9~5.0	6.4~10.1	9.7~15.5	15.2~18.6
200型	6.6~8.7		5.2~6.7	8.5~13.5	12.9~20.8	20.4~31.2
300型	9.9~13.1		7.8~10.1	12.8~20.3	19.5~31.2	30.8~46.8
400型	13.2~17.5		10.4~13.5	17.1~27.0	26.0~41.6	41.1~62.5
500型	16.5~21.9		13.0~16.9	21.4~33.8	32.5~52.1	51.4~78.2

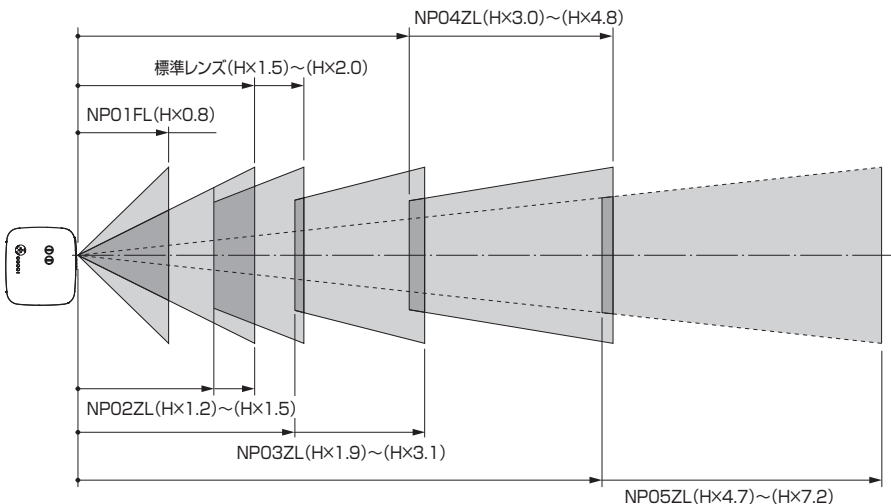
参考

- 画面サイズからの投写距離算出法

標準レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 1.5 \sim H \times 2.0$  : 0.94m(最小)~21.9m(最大)  
 NP01FL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 0.8$  : 0.68m(最小)~2.63m(最大)  
 NP02ZL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 1.2 \sim H \times 1.5$  : 0.74m(最小)~16.9m(最大)  
 NP03ZL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 1.9 \sim H \times 3.1$  : 1.64m(最小)~33.8m(最大)  
 NP04ZL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 3.0 \sim H \times 4.8$  : 3.79m(最小)~52.1m(最大)  
 NP05ZL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 4.7 \sim H \times 7.2$  : 6.00m(最小)~78.2m(最大)

(例) NP3250WJ でレンズユニット NP03ZL を使用して 100 型スクリーンに投写する場合の投写距離  
 「スクリーンサイズ (参考情報)」(194 ページ) の表より、H (スクリーン幅) = 2.154m となります。  
 投写距離は、 $2.154 \times 1.9 \sim 2.154 \times 3.1 = 4.093m \sim 6.677m$  となります (ズームレンズのため)。

適応機種 NP3250J/NP2250J/NP1250J/NP3250WJ

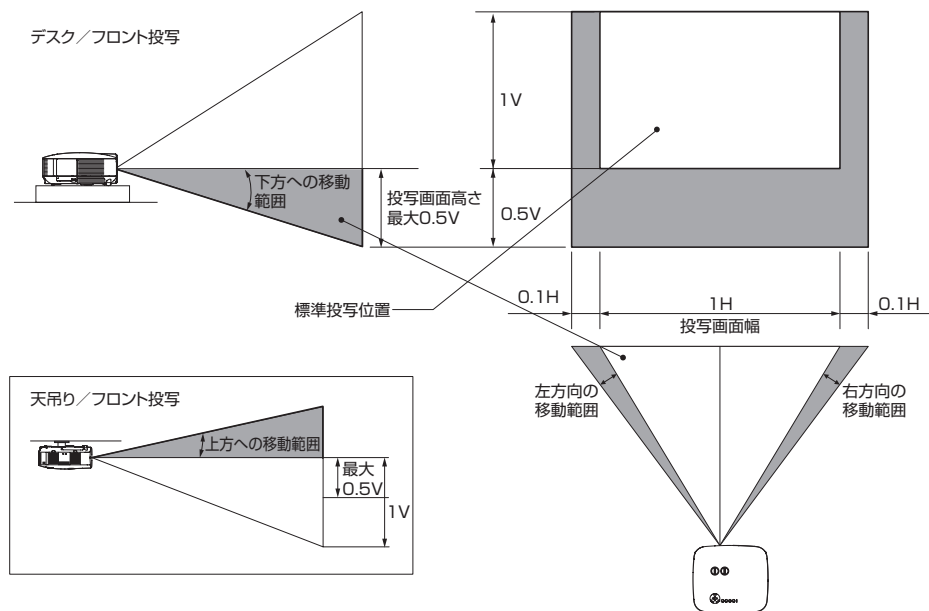


注意

- 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

## 8-2. レンズシフト範囲

本機にはレンズシフト機能があります。(🔗51 ページ) 次の範囲内のレンズシフトができます。デスク/フロント投写するときの画面位置の調整に使用します。



- 別売のレンズユニット「NP01FL」をお使いの場合、レンズシフト機能を利用することはできません。

## 8-3. レンズユニットを交換する



- プロジェクターおよびレンズユニットは精密部品でできています。衝撃を与えたり、無理な力を加えたりしないでください。
- 別売のレンズユニットを装着しているときに本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してから行ってください。移動する際にレンズユニットに衝撃を与えると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。
- レンズユニットの取り外しおよび取り付けの際は、電源を切り、冷却ファン停止後、主電源スイッチを切ってから行ってください。
- 作業中、レンズ面には絶対に手を触れないでください。
- レンズ面にゴミや油などが付着しないよう、また、傷が付かないように十分ご注意ください。
- 作業は平らな場所で、傷が付かないように布などを敷いて行ってください。
- 長時間レンズユニットを外しておく場合は、レンズキャップを本体に取り付け、ほこりやゴミが内部に入らないようにしてください。
- 本機を複数台お持ちのお客様は、次の点にご注意ください。  
本機から標準レンズを取り外して別売のレンズユニットに交換し、再び標準レンズに戻す際は、必ず本機の工場出荷時に取り付けてあった標準レンズを取り付けてください。  
別の本体に取り付けてあった標準レンズを本機に取り付けた場合、十分な性能を発揮しない場合があります。  
標準レンズは、必ず工場出荷時の本体と組み合わせてお使いください。

### ● レンズユニットを取り外す

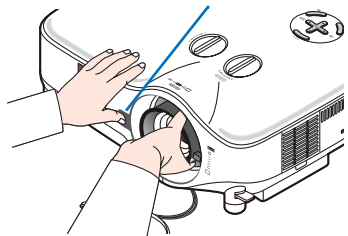
- 1 プロジェクター本体前面のレンズリリースボタンを奥まで押し込みながら、レンズを左に回す。

レンズユニットが外れます。

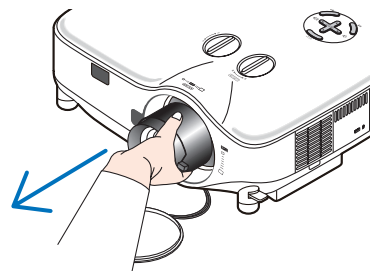


- レンズリリースボタンを押してもレンズユニットを取り外せない場合は、レンズユニット盗難防止用ネジが取り付けられていないか確認してください。(次ページ)

レンズリリースボタン

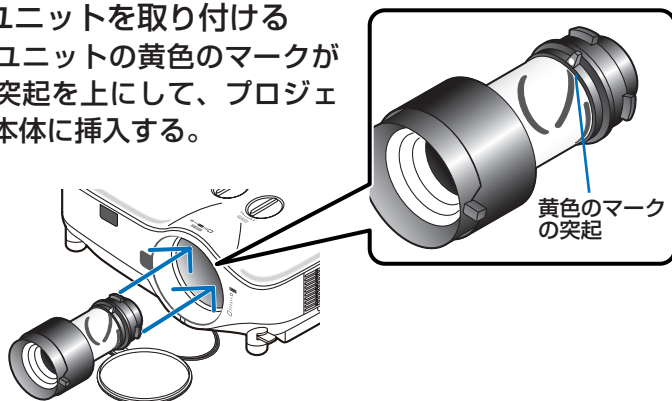


- 2 プロジェクター本体からレンズユニットをゆっくり引き出す。



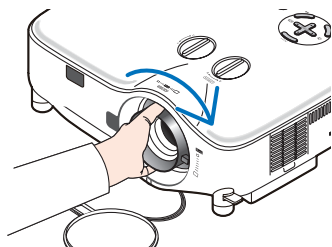
## ● レンズユニットを取り付ける

- 1 レンズユニットの黄色のマークが付いた突起を上にして、プロジェクター本体に挿入する。



## 2 レンズユニットを右に回す。

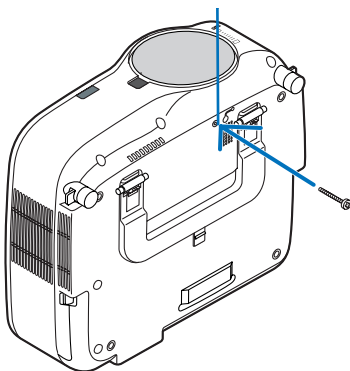
カチッと音がするまで回します。  
レンズユニットがプロジェクター本体に固定されます。



### 参考

- レンズユニット盗難防止用ネジの取り付けかた  
レンズユニットを簡単に取り外されないようには、本機に添付のレンズユニット盗難防止用ネジを本体背面にネジ止めします。

レンズユニット  
盗難防止用  
ネジ穴



# 9. 付 録

## 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

### 現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	43
	主電源スイッチは「I (入)」になっていますか。	45
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	177
	ランプ交換時間 (目安) * を超えて使用していませんか。 新しいランプに交換してください。 交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの (HELP) ボタンを 10 秒以上押し続けてください。本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。 ※保証時間ではありません。	170
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	191
	標高約 1600m 以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューの [ファンモード] で「高地」を選択してください。 高地で本機を使用する場合に [ファンモード] で「高地」を選択していないと、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	167
使用中に電源が切れる	上記の電源コードの接続、ランプ交換時間、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、主電源スイッチを「O (切)」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続し、主電源スイッチを「I (入)」にしてください。	43, 45
	オンスクリーンメニューの「オートパワーオフ」または「オフタイマー」を「オン (時間を選択)」にしていますか。	140, 167
	プログラムタイマーが設定されていませんか。	140

映像が出ない	接続している入力を選んでいませんか。	47
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	33 ~ 42
	[調整]の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。	131
	DVD プレーヤをコンピュータ 1 または 2 映像入力端子と接続しているとき、RGB/ コンポーネントの選択を行っていますか。	168
	コンピュータ信号入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 パソコンの解像度を確認してください。	196
	コンピュータ信号入力の場合、画面調整を正しく行っていますか。	56
	パソコンの画面がうまく投写できない場合は、188 ページをご覧ください。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	121
	それでも解決しない場合は、[リセット]を行ってみてください。	171
	セキュリティがオンになっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたキーワードを入力しないと映像は投写されません。	75 162
映像が歪む	正しく設置されていますか。	50
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	54
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	52
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	50
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	192 ~ 195
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像の画質が悪い	コンピュータ信号の場合は、本体の(自動調整)ボタンまたはリモコンの(AUTO ADJ.)ボタンを押してください。	56
画面がちらつく	オンスクリーンメニューの [ファンモード] で「高地」を選択した状態のまま本機を低地 (標高約 1600m 未満) で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。 [ファンモード] で「高地」以外を選択してください。	167
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。 [ファンモード] を「高速」に設定するなどして、本機内部の温度が下がるようにしてください。	63 167
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピュータ信号入力の場合、[表示位置 (水平、垂直)] を正しく調整しましたか。	132
	コンピュータ信号入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 パソコンの解像度を確認してください。	196

コンピュータ信号 (コンピュータ 1,2) 入力で文字がちらついたり色がずれている	本体の(自動調整)ボタンまたはリモコンの(AUTO ADJ.) ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューの [クロック周波数] と [位相] を調整してください。	56 131, 132
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	28
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	28
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	28
	本体のリモコン受光部を前面のみ、または後面のみに切り替えていませんか。	164
	リモコンの有効範囲 (7m) を超えていませんか。	28
	リモート端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。	29
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。コントロール ID をオンにすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。	165
	本機のリモコンを使って、パソコンのマウス操作を行う場合は、添付のマウスレシーバをパソコンに接続してください。	67
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	190
USB マウスが動作しない	USB マウスが正しく取り付けられていますか。マウスによっては使用できないものもあります。	65
	オンスクリーンメニューの項目によっては、USB マウスを使って操作ができないものもあります。	66
本機の動作が不安定になる	主電源スイッチを「○ (切)」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続し、主電源スイッチを「  (入)」にしてください。	43, 45

## パソコンの画面がうまく投写できない場合

パソコンを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

### ●パソコンの起動のタイミング

パソコンと本機をコンピュータ接続ケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、パソコンを起動してください。

特にノートパソコンの場合、接続してからパソコンを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

#### 参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、[情報]の[信号2]の[水平同期周波数]を確認してください。  
水平同期周波数が「---」と表示されているときは、パソコンから外部出力信号が出力されていません。([169ページ](#))

### ●パソコンの起動後に操作が必要な場合

ノートパソコンの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートパソコン自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

#### 参考

- Windowsのノートパソコンの場合は、ファンクションキーを使って「外部」に切り替えます。

**Fn** キーを押したまま (⇧/⇩) などの絵表示や (LCD/VGA) の表示があるファンすると投写クシヨンキーを押すと切り替わります。しばらく (プロジェクターが認識する時間) されます。

通常、キーを押すごとに「外部出力」→「パソコン画面と外部の同時出力」→「パソコン画面」…と繰り返します。

【パソコンメーカーとキー操作の例】

<b>Fn</b> + <b>F3</b>	NEC、Panasonic、GATEWAY、SOTEC
<b>Fn</b> + <b>F4</b>	HP
<b>Fn</b> + <b>F5</b>	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
<b>Fn</b> + <b>F7</b>	SONY、IBM、Lenovo、HITACHI
<b>Fn</b> + <b>F8</b>	DELL、EPSON
<b>Fn</b> + <b>F10</b>	FUJITSU

表に記載されていないメーカーのノートパソコンをお使いの場合は、ノートパソコンのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

- Macintosh PowerBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。



## ● ノートパソコンの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートパソコンの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートパソコンの制限（パソコン自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートパソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

## ● Macintosh を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintosh 用信号アダプタ(市販品)を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Macintosh および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Macintosh を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

## ● PowerBook と本機を同時に表示させる場合

PowerBook ディスプレイの「ビデオミラーリング」を「切」にしないと外部出力を 1024 × 768 ドットに設定できないことがあります。

## ● Macintosh の投写画面からフォルダなどが切れている場合

Macintosh に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Macintosh の Finder 画面で「option」キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

# インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



## ●電源インジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	主電源が切れている	—	
点滅	緑色 (短い点滅)	電源オン準備中	しばらくお待ちください。
	緑色 (長い点滅)	オフタイマー (有効状態) プログラムタイマー (オフ時刻有効状態)	—
	オレンジ色 (短い点滅)	本体冷却中	しばらくお待ちください。
	オレンジ色 (長い点滅)	プログラムタイマー (オン時刻有効状態)	—
点灯	緑色	電源オン状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態	—

コメント：スタンバイモード 削除

## ●ステータスインジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	異常なし	—	
点滅	赤色 (1回周期)	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。(177 ページ)
	赤色 (2回周期)	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。(次ページ)
	赤色 (4回周期)	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
	赤色 (6回周期)	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。1分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
	緑色	ランプ点灯失敗後の再点灯準備中	しばらくお待ちください。
オレンジ色	ネットワークの競合	本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時に同じネットワークに接続することはできません。本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時にネットワークに接続する場合は、異なるネットワークに接続してください。(152 ページ)	

点灯	緑色	スタンバイ状態	—
	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(▶ 157 ページ)
		プロジェクターのID番号とリモコンのID番号が一致しないとき	コントロールIDを確認してください。(▶ 165 ページ)

## ●ランプインジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	異常なし	—	
点滅 赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が0%になり、ランプ交換の猶予時間(100時間)中です。すみやかにランプを交換してください。(▶ 175 ページ)	
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません。(▶ 175 ページ)
	緑色	ランプエコモード	—

## ●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、ステータスインジケータが点滅します(2回点滅の繰り返し)。

同時に本機の「温度プロテクタ」機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。このようなときは、以下のことを行ってください。

- ・冷却ファンの回転が終了したら、主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・通風孔にほこりがたまっていたら、清掃してください。(▶ 174 ページ)
- ・本機内部の温度が下がるまで、約1時間そのままにしてください。

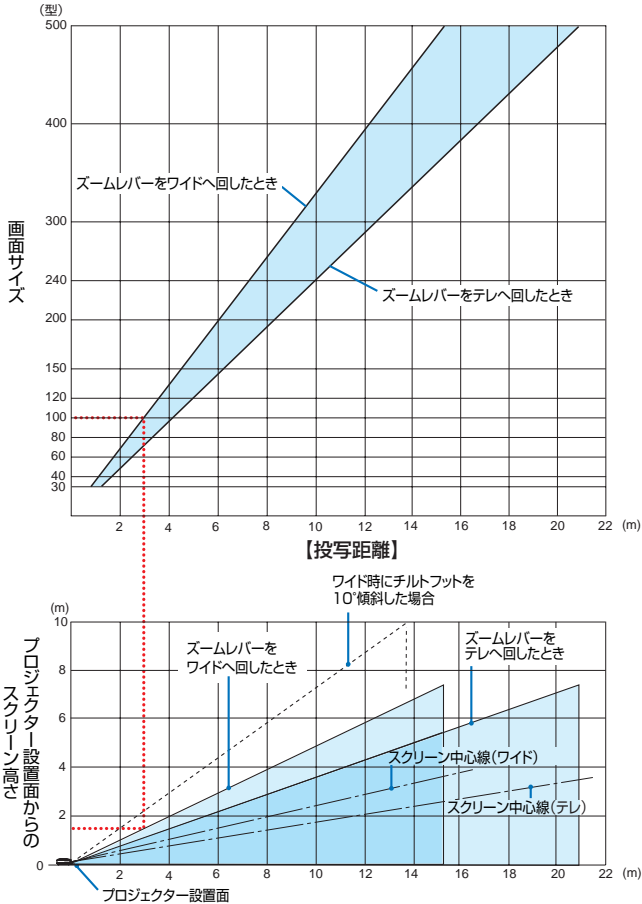
# 投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいか、また、目的の大きさで投写するにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。

ここに記載している数値は、標準レンズ使用時のものです。

**適応機種** NP3250J/NP2250J/NP1250J

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 1.0m（30 型の場合）～ 18.2m（500 型の場合）です。この範囲で設置してください。



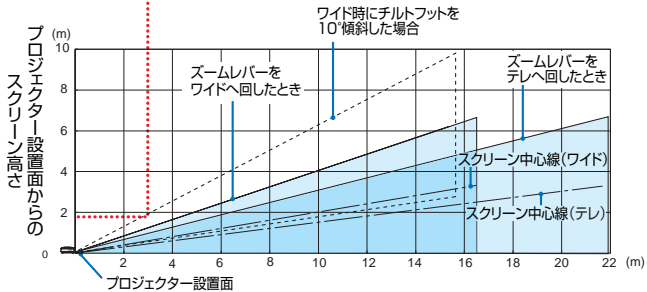
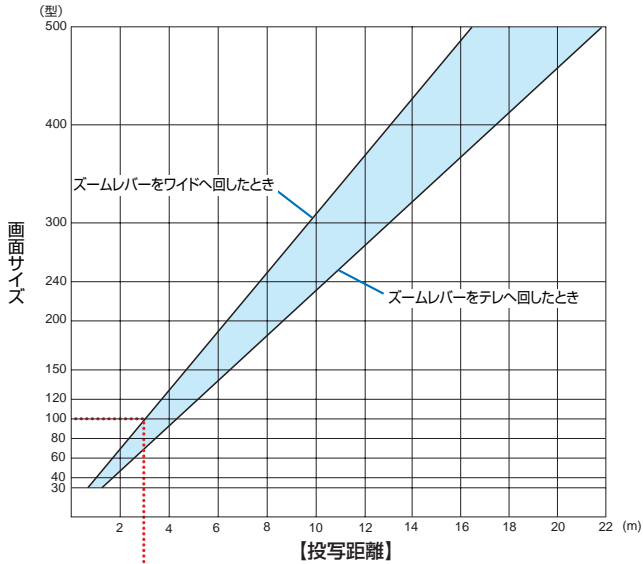
## 【表のみかた】

上の表より 100 型スクリーンにワイドで投写するには表より、3.1m 付近に設置することになります。

また、下の表はレンズシフトを上方向へ最大にしたときの高さを表しています。プロジェクター設置面からスクリーンの上端までが約 1.5m 必要となりますので、プロジェクターを置いた台から天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。(図はプロジェクターを水平に設置したとき) チルトフットにより上へ最大約 10° 上げることができます。

**適応機種** NP3250WJ

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 1.1m（30 型の場合）～ 19.2m（500 型の場合）です。この範囲で設置してください。

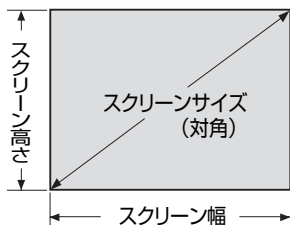


**【表のみかた】**

上の表より 100 型スクリーンにワイドで投写するには表より、3.3m 付近に設置することになります。

また、下の表はレンズシフトを上方向へ最大にしたときの高さを表しています。プロジェクター設置面からスクリーンの上端までが約 1.4m 必要となりますので、プロジェクターを置いた台から天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。(図はプロジェクターを水平に設置したとき) チルトフットにより上へ最大約 10° 上げることができます。

## スクリーンサイズと寸法表



**適応機種** NP3250J/NP2250J/NP1250J

サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
30	61.0	45.7
40	81.3	61.0
60	121.9	91.4
80	162.6	121.9
100	203.2	152.4
120	243.8	182.9
150	304.8	228.6
200	406.4	304.8
240	487.7	365.8
300	609.6	457.2
400	812.8	609.6
500	1016.0	762.0

**適応機種** NP3250WJ

サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
30	64.6	40.4
40	86.2	53.8
60	129.2	80.8
80	172.3	107.7
100	215.4	134.6
120	258.5	161.5
150	323.1	201.9
200	430.8	269.2
240	516.9	323.1
300	646.2	403.9
400	861.6	538.5
500	1077.0	673.1

## デスクトップの例

下の図はデスクトップで設置し、標準レンズを使用するときの例です。

水平投写位置……レンズを中心に左右均等

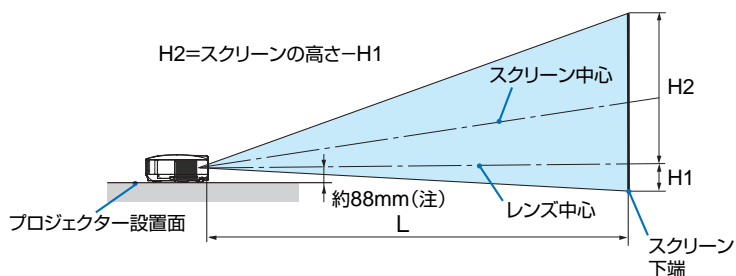
垂直投写位置……（下表参照）

**適応機種** NP3250J/NP2250J/NP1250J

スクリーン サイズ (型)	投写距離L(m)		寸法H1 (cm)
	ワイド時	テレ時	
30	0.89	1.20	0~22.9
40	1.20	1.62	0~30.5
60	1.83	2.45	0~45.7
80	2.46	3.29	0~61.0
84	2.59	3.46	0~64.0
90	2.78	3.71	0~68.6
100	3.09	4.13	0~76.2
120	3.72	4.96	0~91.4
150	4.66	6.21	0~114.3
200	6.23	8.30	0~152.4
240	7.49	9.97	0~182.9
300	9.37	12.48	0~228.6
400	12.51	16.66	0~304.8
500	15.65	20.83	0~381.0

適応機種 NP3250WJ

スクリーン サイズ (型)	投写距離L(m)		寸法H1 (cm)
	ワイド時	テレ時	
30	0.94	1.27	0~20.2
40	1.27	1.71	0~26.9
60	1.96	2.58	0~40.4
80	2.59	3.46	0~53.8
84	2.72	3.64	0~56.5
90	2.92	3.90	0~60.6
100	3.25	4.34	0~67.3
120	3.91	5.22	0~80.8
150	4.90	6.54	0~101.0
200	6.55	8.73	0~134.6
240	7.87	10.49	0~161.5
300	9.86	13.13	0~201.9
400	13.16	17.52	0~269.2
500	16.46	21.91	0~336.5



(注) プロジェクター設置面からレンズ中心までの高さ  
(チルトフットを最小にした高さを含む)

参考

- 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。
- レンズシフトの移動範囲については [51 ページ](#) をご覧ください。

# 対応解像度一覧

機種		解像度		走査周波数		
				水平 (kHz)	垂直 (Hz)	
ビデオ	NTSC/PAL60	—	*	15.73	59.94/60.00	
	PAL/SECAM	—	*	15.63	50.00	
IBM PC/AT 互換機		640	×	480	31.47	59.94
		640	×	480	37.86	72.81
		640	×	480	37.50	75.00
		640	×	480	39.38	75.00
		640	×	480	43.27	85.01
		800	×	600	35.16	56.25
		800	×	600	37.88	60.32
		800	×	600	48.08	72.19
		800	×	600	46.88	75.00
		800	×	600	53.67	85.06
		1024	×	768	48.36	60.00
		1024	×	768	56.48	70.07
		1024	×	768	60.02	75.03
		1024	×	768	68.68	85.00
		1152	×	864	54.35	60.05
		1152	×	864	63.99	70.02
		1152	×	864	67.50	75.00
		1152	×	864	77.49	85.06
		1280	×	800	49.70	59.81
		1280	×	800	62.80	74.93
		1280	×	800	71.55	84.88
		1280	×	960	60.00	60.00
		1280	×	960*	75.00	75.00
		1280	×	960*	85.94	85.00
		1280	×	1024	63.98	60.02
		1280	×	1024*	79.98	75.02
		1280	×	1024*	91.15	85.02
		1400	×	1050	65.32	60.00
		1440	×	900	55.94	59.89
		1600	×	1200*	75.00	60.00
		1600	×	1200*	81.25	65.00
		1600	×	1200*	87.50	70.00
		1600	×	1200*	93.75	75.00
		1680	×	1050*	65.29	59.95
Apple Macintosh®		640	×	480	35.00	66.67
		832	×	624	49.72	74.55
		1024	×	768	60.24	74.93
		1152	×	870	68.68	75.06
		1280	×	1024	69.87	65.18
SUN		1152	×	900	61.80	65.95
SGI		1152	×	900	71.74	76.05
HDTV	720p	1280	×	720	37.50	50.00
	720p	1280	×	720	45.00	60.00
	1080i	1920	×	1080	26.97	47.95
	1080i	1920	×	1080	28.13	50.00
	1080i	1920	×	1080	33.75	60.00
SDTV	480p	720	×	480	31.47	59.94
	576p	720	×	576	31.25	50.00
DVD	YCbCr	720	×	480*	15.73	59.94
		720	×	576*	15.63	50.00
	Progressive	720	×	480	31.47	59.94
		720	×	576	31.25	50.00

- ・ 出荷時はその表示解像度/周波数の標準的な信号に合わせていますが、パソコンの種類によっては調整が必要な場合があります。
- ・ ワークステーションとの接続に関する詳細は、当社にお問い合わせください。
- ・ コンポジット同期信号などの場合は、正常に表示できない場合があります。
- ・ NP3250J/NP2250J/NP1250Jの場合は1024 × 768のとき、NP3250WJの場合は1280 × 800のときにリアル表示ができません。
- \* デジタル信号は表示できません。



# 無線 LAN ユニットを取り外す

ここでは無線 LAN ユニットの取り外しかたと取り付けかたを説明します。

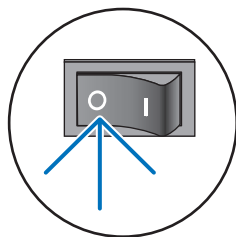


- 無線 LAN ユニットには表と裏があり、無線 LAN ユニット専用ポートに取り付ける向きが決まっています。逆に取り付けようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると、無線 LAN ユニット専用ポートが壊れます。
- 静電気による破損を防ぐため、無線 LAN ユニットに触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しは、本機の主電源スイッチが「○（切）」のときに行ってください。  
本機の電源が入っているときやスタンバイ状態のときに無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しを行うと、無線 LAN ユニットが壊れたり、本機が誤動作することがあります。万一本機が誤動作した場合は、本機の主電源スイッチを切り、電源を入れなおしてください。

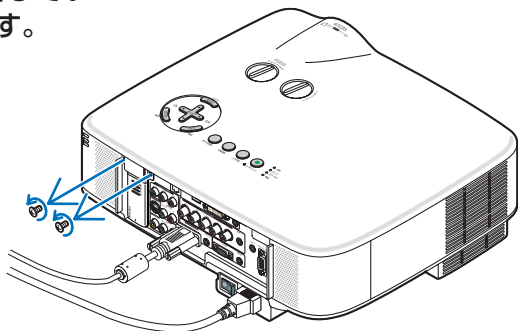
## 無線 LAN ユニット専用ポートからの取り外し

準備：プラスドライバーを用意してください。

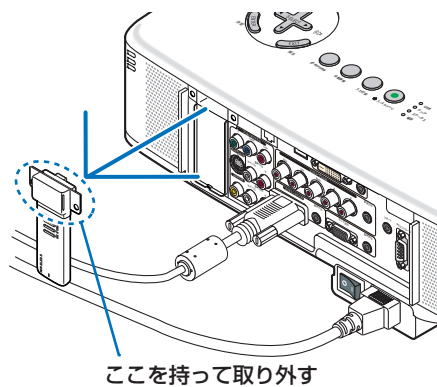
- 1 電源（入/スタンバイ）ボタンを押して本機をスタンバイ状態にし、主電源スイッチを「○（切）」にする。



- 2 無線 LAN ユニートを固定しているネジ（2箇所）を取り外す。



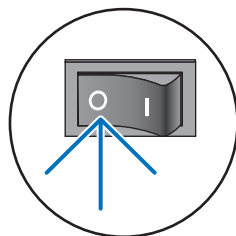
- 3** 無線 LAN ユニット専用ポートからゆっくりと取り外す。



## 無線 LAN ユニット専用ポートへの取り付け

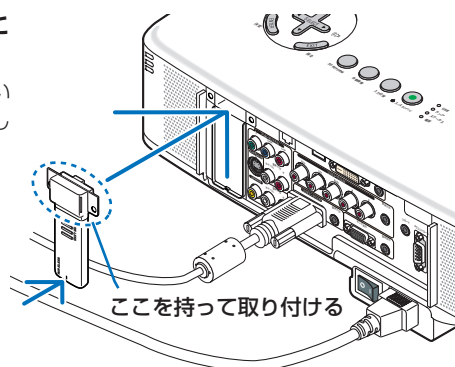
準備：プラスドライバーを用意してください。

- 1 電源(入/スタンバイ) ボタンを押して本機をスタンバイ状態にし、主電源スイッチを「○ (切)」にする。

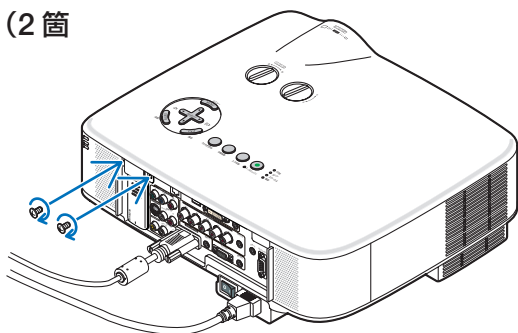


- 2 無線 LAN ユニートをゆっくりと取り付ける。

取り付け後、無線 LAN ユニット下部が浮いてしまっている場合には、下部を押して正しく取り付けられたか確認してください。



- 3 無線 LAN ユニートをネジ (2箇所) で固定する。

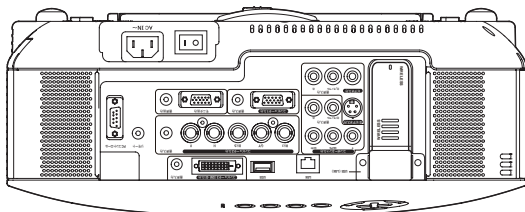


### 注意

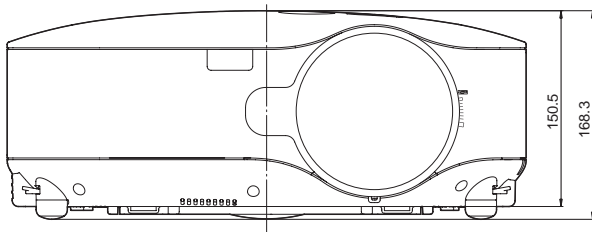
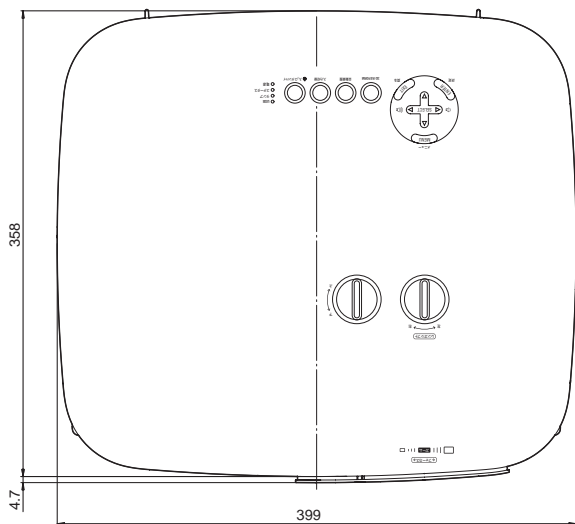
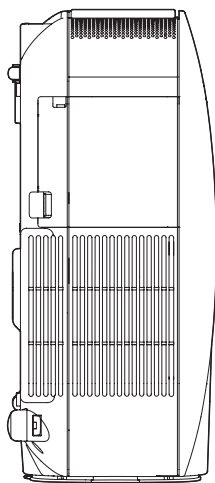
- 挿入しづらい場合は、無理に押し込まないでください。
- 無線 LAN 専用ポートには、無線 LAN ユニット以外の USB 機器を取り付けないでください。
- 無線 LAN ユニットが動作中には、無線 LAN ユニットにある青色 LED が点滅します。無線 LAN ユニットが正しく取り付けられていない場合、LED は点滅しません。

# 外觀図

NP3250J、NP2250J、NP1250J、およびNP3250WJのキャビネットの外観、外形寸法および接続端子部は同じです。



単位：mm



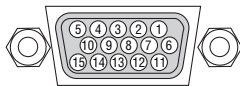
# 別売品

商 品 名		形 名
ランプ	交換用ランプ	NP06LP
天吊り金具	天井取付けユニット	NP05CM
レンズ	短焦点固定レンズ	NP01FL
	ズームレンズ	NP02ZL
	ズームレンズ	NP03ZL
	ズームレンズ	NP04ZL
	ズームレンズ	NP05ZL

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

## コンピュータ 1 映像入力端子のピン配列と信号名

### 各ピンの接続と信号レベル



### 信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p (アナログ)

同期信号：TTL レベル

ピン番号	コンピュータ信号 (アナログ)	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	非接続	
10	同期信号 接 地	
11	非接続	
12	Bi-directional DATA (SDA)	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

# 仕様

## ●プロジェクター本体

形名	NP3250J/NP2250J/NP1250J		NP3250WJ	
方式	三原色液晶シャッタ投影方式			
主要部品仕様	液晶パネル	サイズ	0.8型MLA付き(アスペクト比 4:3)	0.74型MLA付き(アスペクト比 16:10)
		画素数 <sup>(*1)</sup>	786,432画素(1024ドット×768ライン)	1,024,000画素(1280ドット×800ライン)
	投写レンズ	ズーム	マニュアル(1~1.33倍、f=24.4~32.5mm)	
		フォーカス	マニュアル	
	光源	NP3250J:330W ACランプ (ランプエコモード時264W) NP2250J/NP1250J:300W ACランプ (ランプエコモード時264W)		330W ACランプ (ランプエコモード時264W)
光学装置	ダイクロイックミラーによる光分離・クロスダイクロプリズムによる合成方式			
明るさ <sup>(*2)</sup>	NP3250J:5000lm、NP2250J:4200lm、 NP1250J:3700lm <sup>(*3)</sup>		4000lm <sup>(*3)</sup>	
コントラスト比 <sup>(*2)</sup> (全白/全黒)	600:1		500:1	
画面サイズ(投写距離)	30~500型(0.9~20.8m):標準レンズのとき オプションレンズについては180ページをご覧ください。		30~500型(0.9~21.9m):標準レンズのとき オプションレンズについては180ページをご覧ください。	
色再現性	10ビット カラープロセッシング(約10億7000万色) <sup>(*4)</sup>			
音声出力	5W+5W ステレオスピーカ内蔵			
走査周波数	水平	15~108kHz(RGB入力は24kHz以上)		
	垂直	48~120Hz		
主な調整機能	マニュアルズーム、マニュアルフォーカス、 入力信号切替(コンピュータ/ビデオ/S-ビデオ)、 画像自動調整、画像拡大、台形補正、4点補正、画面位置調整、ミュート (映像/音声とも)、オンスクリーン表示/選択など			
最大表示解像度(横×縦)	1600×1200(デジタル信号:1400×1050)			
入力信号	R,G,B,H,V	RGB:0.7Vp-p / 75Ω		
		H/V Sync:TTL		
		Composite Sync:TTL		
		Sync on G:1.0Vp-p / 75Ω (With Sync) 負極性		
	コンポジットビデオ	75Ω 1.0Vp-p		
	S-ビデオ	Y:75Ω 1.0Vp-p		
		C:75Ω 0.286Vp-p		
	コンポーネント	Y:1.0Vp-p / 75Ω (With Sync)		
Cb,Cr(Pb,Pr):0.7Vp-p / 75Ω				
DTV:480i, 480p, 720p, 1080i(60Hz), 576i, 576p, 1080i(50Hz)				
DVD:プログレッシブ信号(50/60Hz)				
音声	0.5Vrms/22kΩ以上			

形名		NP3250J/NP2250J/NP1250J	NP3250WJ	
入出力端子	コンピュータ	映像入力	ミニD-Sub 15ピン×1、BNC端子×5	
		映像出力	ミニD-Sub 15ピン×1	
		音声入力	ステレオミニジャック×1	
	DVI-D	映像入力	DVI-D24ピン×1 (HDCP対応 <sup>(*5)</sup> )	
		音声入力	ステレオミニジャック×1	
	コンポーネント	映像入力	RCA (Y/Cb/Cr) ×1	
		音声入力	RCA (RCA L/MONO.R) ×1	
	ビデオ	映像入力	RCA×1	
		音声入力	RCA (RCA L/MONO.R) ×1	
	S-ビデオ	映像入力	ミニDIN4ピン×1	
		音声入力	(ビデオの音声入力端子と共通)	
	音声出力		ステレオミニジャック×1	
	PCコントロール端子		D-Sub 9ピン×1	
USBポート		タイプA×1		
無線LANユニット専用USBポート		タイプA×1		
LANポート		RJ-45×1		
使用環境		動作温度:5~40°C <sup>(*6)</sup> 動作湿度:20~80%(ただし、結露しないこと) 保存温度:-10~50°C 動作湿度:20~80%(ただし、結露しないこと)		
電源		AC 100V 50/60Hz <sup>(*7)</sup>		
消費電力	ランプノーマルモード時	NP3250J:490W、 NP2250J/NP1250J:460W	490W	
	ランプエコモード時	410W		
	スタンバイ時	26W		
定格入力電流		NP3250J:5.9A、 NP2250J/NP1250J:5.5A	5.9A	
外形寸法		399(幅)×150(高)×358(奥行)mm(突起部含まず)		
質量		約7.3kg		

(\* 1) : .有効画素数は99.99%です。

(\* 2) : 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書2に基づいています。

(\* 3) : ランプモードが「ノーマルモード」で、プリセットが「高輝度モード」のときの明るさです。NP3250JおよびNP3250WJでは明るさが約80%に低下します。NP2250JおよびNP1250Jでは明るさが約88%に低下します。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(\* 4) : 入力端子で、「コンピュータ3」、「ビューワ」、「ネットワーク」を選択しているときは、10ビット カラープロセッシング(約1677万色以上)となります。

(\* 5) : HDCP/HDCP 技術とは?

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DVI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機には、コンピュータ3映像入力端子を装備しています。

本機のコンピュータ3映像入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、コンピュータ3映像入力端子の映像が表示されないことがあります。

(\* 6) : 35~40°Cは「強制エコモード」になります。

(\* 7) : 高周波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・USB ポートは USB 規格 Ver2.0 High Speed に準拠。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

# トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状をNECプロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。  
※このページと次のページをコピーしてお使いください。

発生頻度  常時  時々 (  回中  回 )  その他( )

## 電源関係

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない (電源インジケータが緑色に点灯しない)。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> 主電源スイッチは「入」になっている。</li><li><input type="checkbox"/> ランプカバーは正しく取り付けられている。</li><li><input type="checkbox"/> ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。</li><li><input type="checkbox"/> 電源(入/スタンバイ)ボタンを2秒以上押しても電源が入らない。</li></ul> | <input type="checkbox"/> 使用中、電源が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> ランプカバーは正しく取り付けられている。</li><li><input type="checkbox"/> オートパワーオフは「オフ」に設定されている。</li><li><input type="checkbox"/> オフタイマーは「オフ」に設定されている。</li><li><input type="checkbox"/> プログラムタイマーは「オフ」に設定されている。</li></ul> |
|---|---|

## 映像・音声関係

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> パソコンの画面が投写されない。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> パソコンと本機を接続したあとにパソコンを起動してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> ノートパソコンにおいて外部出力信号が出力されている。<br/>IBM PC/AT互換機の場合は、[Fn]キー+[F1]～[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます (パソコンによって異なります)。</li></ul>   | <input type="checkbox"/> 映像が歪む。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。</li></ul>   |
| <input type="checkbox"/> 映像が出ない (ブルーバック・ロゴ・表示なし)。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> [リセット] を実行してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> 画面に何かメッセージが出ている。<br/>( )</li><li><input type="checkbox"/> 接続している入力を選択している。</li><li><input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。</li></ul> | <input type="checkbox"/> 映像が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> [リセット] を実行してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> 水平または垂直方向に映像がずれる。</li><li><input type="checkbox"/> コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。</li><li><input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。</li><li><input type="checkbox"/> 数ドット欠けている。</li></ul> |
| <input type="checkbox"/> 映像が暗い。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。</li></ul>   | <input type="checkbox"/> 映像がちらつく。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> [リセット] を実行してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> コンピュータ映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。</li><li><input type="checkbox"/> [ファンモード] を [高地] から [自動] にしてもなおらない。</li></ul>  |
|   | <input type="checkbox"/> 映像がぼやける・フォーカスが合わない。  |
|   | <input type="checkbox"/> 音が出ない。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> 音量を調整してもなおらない。</li></ul>   |

## その他

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> リモコンが利かない。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。</li><li><input type="checkbox"/> 蛍光灯の近くに本体が設置されている。</li><li><input type="checkbox"/> プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している(オプションリモコン「NP02RC」の場合のみ)。</li></ul> | <input type="checkbox"/> 本体操作パネルのボタンが利かない。<br>[本体キーロック] 設定のある機種において <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。</li><li><input type="checkbox"/> 本体の (EXIT(戻る)) ボタンを10秒以上押してもなおらない。</li></ul> |
|---|---|



症状を具体的に記入してください。

## 使用状況・環境

**プロジェクター**

形名：  NP3250J  NP2250J  
 NP1250J  NP3250WJ

製造番号：  
購入時期：  
ランプ使用時間：  
ランプモード：  ノーマル  エコ

入力信号情報：  
水平同期周波数 [kHz]  
垂直同期周波数 [Hz]  
同期極性 H  (+)  (-)  
V  (+)  (-)  
同期形態  セパレート  コンボジット  
 シンク オン グリーン

ステータスインジケータの状態  
点灯 (オレンジ・緑)  
点滅 ( 回周期)

**設置環境**

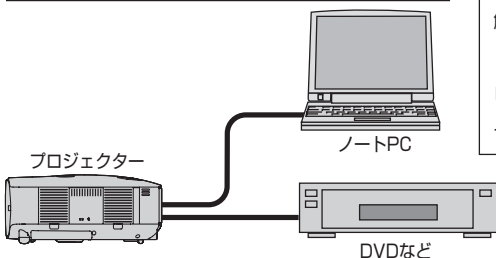
スクリーンサイズ： 型  
タイプ：  ホワイトマット  ビーズ  偏光  
 広視野角  ハイコントラスト

投写距離： m  
投写方法：  天吊り  床置き

電源コンセントは？  
 壁からのコンセントを直接利用している。  
 電源用テーブルタップを利用している。  
(他、接続機器の数： 台)  
 電源ドラム (ロール式) を利用している。  
(他、接続機器の数： 台)

**コンピュータ**

メーカー：  
形名：  
ノートPC・デスクトップ型  
解像度：  
リフレッシュレート：  
ビデオボード：  
その他：



**信号ケーブル**

純正・その他 (形名： 長さ： m)  
分配器 形名：  
スイッチャ 形名：  
アダプタ 形名：

**接続機器**

ビデオ・DVD・カメラ・ゲーム・その他  
メーカー：  
形名：

## 海外でご使用になる場合：トラベルケアのご紹介

この商品には、NEC ディスプレイソリューションズの国際保証「トラベルケア」が適用されています。

なお、このトラベルケアの内容は、お買い上げ時に、本機に添付された保証書の記載内容とは一部異なります。

### トラベルケアで受けられるサービス

本保証では、出張や旅行などの理由により一時的に海外に本機を持ち出した場合につき、本書に記載された国の NEC ディスプレイソリューションズ指定サービスステーションで下記のサービスを受けることができます。

本サービスをご利用の際は、本書記載のトラベルケア窓口リストの各サービスステーションに電話または E メールにてご連絡いただいたあと、巻末に添付されている申し込み用紙 "Application Sheet for TravelCare Service Program" に必要事項をご記入のうえ、FAX にて送信してください。

各サービスステーションのサービス内容については、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。

#### 1 修理サービス

輸送期間を除く、実働 10 日以内に修理してお届けいたします。

保証期間内の場合は、保守部品代、修理工賃、および各サービスステーションの対応地域内のお届けにかかる輸送費が保証範囲です。

#### 2 代替機貸出サービス

お客様の製品修理の間、ご希望があれば有償にて代替機を貸し出しいたします。

料金：12 日間 US\$ 200

料金は、現地のサービスステーションにて現金またはクレジットカードにてお支払いください。

代替機は、実働 3 日以内にお届けいたします。

ただし、本サービスが受けられない国または地域がございますので、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。

また、保証期間を経過している場合は、代替機貸出サービスは受けられません。

### 輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター (📞208 ページ) にお問い合わせください。

## 保証期間

### 1 a お買い上げ時の保証書またはレシートをご提示いただいた場合：

保証書に記載された期間、またはご購入された国の通常の保証期間まで有効。

### b 本機のみ持ち込まれた場合：

本機に貼付されている製造番号（SERIAL NO.）の製造年月より 14 か月以内。

### 2 保証期間を経過した製品を持ち込まれた場合：

有償にて修理対応いたします。ただし、代替機貸出サービスは受けることはできません。

### 3 次のような場合には、保証期間中でも有償修理になる場合があります。

- 1) 保証書に、お買い上げ日、形名、および製造番号（SERIAL NO.）、販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
- 2) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
- 3) お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
- 4) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
- 5) 高温・多湿の場所、車輛、船舶等で使用された場合に生ずる故障および損傷。
- 6) 本機に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
- 7) 正常なご使用状態のもとで部品が自然消耗、磨耗、劣化により故障した場合。
- 8) ランプなどの消耗品、および添付品、別売品が故障および損傷した場合。
- 9) その他、本機に添付された保証書の保証規定が適用されます。



## 注意

海外でご使用になる場合は、使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを使用することにより 100-240V で使用可能です。

使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを必ず使用してください。

また、本機に搭載している無線 LAN ユニットは国内仕様ですので海外では使用できません。

詳細に関しては、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（次ページ参照）までお問い合わせください。

## トラベルケア窓口リスト

このリストは、2008年7月1日現在のものです。

最新の連絡先に関しては、トラベルケア窓口リストに記載されている各国のサービスステーションのホームページまたは当社 **ViewLight CLUB ホームページ**

<http://www.nec-display.com/support/projector/vlclub/> をご覧ください。

また、詳細に関しては、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

**NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター 0120-610-161**

(受付 9:00 ~ 18:00、土・日・祝祭日、および当社指定日は除く)

---

### 〔欧州〕 In Europe

NEC Europe, Ltd. / European Technical Centre

Address: Unit G, Stafford Park 12, Telford TF3 3BJ, U.K.

Telephone: +44 1952 237000

Fax Line: +44 1952 237006

Email Address: AFR@uk.neceur.com

WEB Address: <http://www.neceur.com>

(対応地域) <Regions Covered>

EU: Austria\*, Belgium\*, Bulgaria\*, Czech Republic\*, Cyprus\*, Denmark\*, Estonia\*, Finland\*, France\*, Germany\*, Greece\*, Hungary\*, Ireland\*, Italy\*, Latvia\*, Lithuania\*, Luxembourg\*, Malta\*, The Netherlands\*, Poland\*, Portugal\*, Romania\*, Slovakia\*, Slovenia\*, Spain\*, Sweden\* and the United Kingdom\*

EEA: Norway\*, Iceland and Liechtenstein

---

### 〔北米〕 In North America

NEC Display Solutions of America, Inc.

Address: 500 Park Boulevard, Suite 1100 Itasca, Illinois 60143, U.S.A

Telephone: +1 800 836 0655

Fax Line: +1 800 356 2415

Email Address: [vsd.tech-support@necdisplay.com](mailto:vsd.tech-support@necdisplay.com)

WEB Address: <http://www.necdisplay.com/>

(対応地域) <Regions Covered>

U.S.A. \*, Canada \*

---

### 〔大洋州〕 In Oceania

NEC Australia Pty., Ltd.

Address:

New South Wales;

Sydney

184 Milperra Road, Reversby NSW 2212

Telephone 131 632

Newcastle

120 Parry Street Newcastle West NSW 2302

Telephone 131 632

Victoria;

Melbourne

Unit 1/6 Garden Road, Clayton VIC 3168

Telephone 131 632

---

\* : 代替機貸出サービスが受けられます。

次ページに続く

Queensland;  
Brisbane  
Unit 4/305 Montague Road West End QLD 4101  
Telephone 131 632  
Southport  
Shop1 48 Ferry Road Southport QLD 4215  
Telephone 131 632  
South Australia;  
Adelaide  
84A Richmond Road, Keswick SA 5035  
Telephone 131 632  
Western Australia;  
Perth  
45 Sarich Court Osborne Park WA 6017  
Telephone 131 632

WEB Address: <http://www.nec.com.au>

(対応地域) <Regions Covered>

Australia \*, New Zealand

---

## 〔アジア・中近東〕 In Asia and Middle East

### NEC Solutions (China) Co.,Ltd.

Address: Rm 1903, Shining Building, 35 Xueyuan Rd,  
Haidian District Beijing 100083, P.R.C.

Telephone: +8610 82317788

Fax Line: +8610 82331722

Email Address: Lily@necsl.com.cn  
Johnson\_liu@necsl.com.cn

WEB Address: <http://www.necsl.com.cn>

(対応地域) <Regions Covered>

China

### NEC Hong Kong Ltd.

Address: 25/F, The Metropolis Tower, 10 Metropolis Drive, Hunghom,  
Kowloon, Hong Kong

Telephone: +852 2369 0335

Fax Line: +852 2795 6618

Email Address: nechksc@nechk.nec.com.hk  
esmond\_au@nechk.nec.com.hk

WEB Address: <http://www.nec.com.hk>

(対応地域) <Regions Covered>

Hong Kong

### NEC Taiwan Ltd.

Address: 7F, No.167, SEC.2, Nan King East Road, Taipei, Taiwan, R.O.C.

Telephone: +886 2 8500 1700

Fax Line: +886 2 8500 1420

Email Address: eric@nec.com.tw

WEB Address: <http://www.nec.com.tw>

(対応地域) <Regions Covered>

Taiwan

### NEC Asia Pte. Ltd.

Address: 401 Commonwealth Drive, #07-02, Haw Par Technocentre,  
Singapore 149598

Telephone: +65 6 273 8333

Fax Line: +65 6 274 2226

Email Address: ncare@nec.com.sg

WEB Address: <http://www.nec.com.sg/ap>

(対応地域) <Regions Covered>

Singapore

---

\* : 代替機貸出サービスが受けられます。

**NEC Corporation of Malaysia Sdn. Bhd.**

Address: 33rd Floor, Menara TA One, 22, Jalan P. Ramlee,  
50250 Kuala Lumpur, Malaysia  
Telephone: +6 03 2178 3600 (ISDN)  
Fax Line: +6 03 2178 3789  
Email Address: necare@nsm.nec.co.jp  
WEB Address: <http://www.necarecenter.com>

(対応地域) <Regions Covered>

Malaysia

**Hyosung ITX Co., Ltd.**

Address: 1st Fl., Ire B/D. #2, 4Ga, Yangpyeng-Dong,  
Youngdeungpo-Gu, Seoul, Korea 150-967  
Telephone: +82 2 2163 4193  
Fax Line: +82 2 2163 4196  
Email Address: moneybear@hyosung.com

(対応地域) <Regions Covered>

South Korea

**Lenso Communication Co., Ltd.**

Address: 292 Lenso House 4, 1st Floor, Srinakarin Road, Huamark,  
Bangkapi, Bangkok 10240, Thailand  
Telephone: +66 2 375 2425  
Fax Line: +66 2 375 2434  
Email Address: pattara@lenso.com  
WEB Address: <http://www.lenso.com/>

(対応地域) <Regions Covered>

Thailand

**ABBA Electronics L.L.C.**

Address: Tariq Bin Ziyad Road, P.O.Box 327, Dubai, United Arab Emirates  
Telephone: +971 4 371800  
Fax Line: +971 4 364283  
Email Address: ABBA@emirates.net.ae

(対応地域) <Regions Covered>

United Arab Emirates

**Samir Photographic Supplies**

Address: P.O.Box 599, Jeddah 21421, Saudi Arabia  
Telephone: +966 2 6828219  
Fax Line: +966 2 6830820  
Email Address: asif@samir-photo.com

Riyadh;

Address: P.O.Box 5519, Riyadh 11432, Saudi Arabia  
Telephone: +966 1 4645064  
Fax Line: +966 1 4657912  
Email Address: bhimji@samir-photo.com

Alkhobar;

Address: P.O.Box 238, Alkhobar 31952, Saudi Arabia  
Telephone: +966 3 8942674  
Fax Line: +966 3 8948162  
Email Address: chamsedin@samir-photo.com

(対応地域) <Regions Covered>

Saudi Arabia

---

Date: / / ,

P-1 / ,

TO: NEC Display Solutions' Authorized Service Station:

FM:

\_\_\_\_\_  
(Company & Name with signature)

Dear Sir (s),

I would like to apply your TravelCare Service Program and agree with your following conditions, and also the Service fee will be charged to my credit card account, if I don't return the Loan units within the specified period. I also confirm the following information is correct.

Regards.

### Application Sheet for TravelCare Service Program

Country, product purchased:	
User's Company Name:	
User's Company Address:	
Phone No., Fax No.:	
User's Name:	
User's Address:	
Phone No., Fax No.:	
Local Contact office:	
Local Contact office Address:	
Phone No., Fax No.:	
User's Model Name:	
Date of Purchase:	
Serial No. on cabinet:	
Problem of units per User:	
Required Service:	(1) Repair and Return (2) Loan unit
Requested period of Loan unit:	
Payment method:	(1) Credit Card (2) Travelers Cheque (3) Cash
In Case of Credit Card: Card No. w/Valid Date:	

# **Condition of your TravelCare Service Program**

Enduser is requested to understand the following conditions of TravelCare Service Program and fill necessary information into the application sheet.

## **1. Service Options:**

There are 3 types of "Service" available. Enduser has to understand the following conditions and is required to fill in the Application sheet.

### **(1). Repair and Return:**

The 'Faulty unit' is sent or collected from the customer. It is repaired and returned within 10 days to the customer, excluding transport time.

There may have a case, repair and return can't be done by Local Service Station, because of shortage of spare parts due to same model is not sold in the territory.

### **(2). Repair and Return with Loan: (This service is limited to some Service Stations)**

This service is offered to the Enduser, who cannot wait until their unit is repaired.

The customer can borrow a unit for US\$ 200 up to 12 days. Customer then sends in inoperable unit to nearest NEC Display Solutions' Authorised Service Station for service. In order to prevent collection problem, Enduser is required to fill in Application Sheet.

Enduser needs to confirm the availability of the Service to Local Service Stations.

### **(3). Loan Only:**

For this service, the local NEC Display Solutions' Authorised Service Station supplies the customer with a loan unit for US\$ 200 up to 12 days. Customer keeps the inoperable unit and when customer returns home, customer arranges to have the projector serviced in the home country.

## **2. Warranty Exclusions:**

This program does not apply if the Projector's serial number has been defaced, modified or removed.

If, in the judgement of the NEC Display Solutions' Authorised Service Station or its agent the defects or failures result from any cause other than fair wear and tear or NEC Display Solutions' neglect, or fault including the following without limitation:

- 1) Accidents, transportation, neglect, misuse, abuse, water, dust, smoke or default of or by the Customer its employees or agents or any third party;
- 2) Failure or fluctuation of electrical power, electrical circuitry, air conditioning, humidity control or other environmental conditions such as use it in smoking area;
- 3) Any fault in the attachments or associated products or components (whether or not supplied by NEC Display Solutions or its agents which do not form part of the Product covered by this warranty);
- 4) Any act of God, fire, flood, war, act of violence or any similar occurrence;
- 5) Any attempt by any person other than any person authorised by NEC Display Solutions to adjust, modify, repair, install or service the product.
- 6) Any Cross-border charges such as, duty, insurance, tax etc.

## **3. Charges for Warranty Exclusions and Out of Warranty Case:**

In case faulty unit is under warranty exclusions case or under Out of Warranty period, Local Service Station will Inform estimation of actual service cost to the Enduser with reason.



#### 4. Dead on Arrival (DOA):

Enduser must take this issue up with their original supplier in the country of purchase.

Local Service Station will repair the DOA unit as a Warranty repair, but will not exchange DOA unit with new units.

#### 5. Loan Service Charges and Conditions:

Upon acceptance of this NEC Projector, Customer agrees to assume liability for this "loan" replacement unit.

The current cost of use of this loan unit is US\$ 200 for 12 calendar days.

If Customer does not return the unit within the 12 calendar days, Customer will be charged the next highest cost up to and including the full list price to Credit Cards, which price will be informed by NEC Display Solutions' Authorized Service Stations.

Please see the attached listing of contacts for each country to arrange for pickup of the 'loan' unit.

If you return to their country of origin with the 'loan' unit, you will be charged additional freight to return the unit to the loaning country.

**Thank you for your understanding of this program.**

# 索引

## 数字／アルファベット

3D Y/C分離	137
3D サラウンド	138
4点補正	69, 139
AC IN 端子	20, 43
ArcSoft MediaImpression	40, 100
CD-ROM	18
Desktop Control Utility 1.0	40
DHCP	151, 152
HDCP	203
HTTP	81
ID 表示	146
Image Express Utility 2.0	25, 40
IP アドレス	153
LAN	40
MULTI-SCREEN COMP.	149
PC Control Utility 3.0	25, 40
PIP	72, 139
PJLink	164
SIDE BY SIDE	72, 139
sRGB	129
SSID	153
USB インジケータ	23
USB キーボード	90
USB マウス	65
USB メモリ	100
User Supportware 6 CD-ROM	18
WEP	154
WPA-EAP/WPA2-EAP	155
WPA-PSK/WPA2-PSK	155

## 五十音

### 【ア行】

アカウント	159
明るさ	131
アスペクト	133
アドバンスメニュー	80
アドホック	42, 154
位相	132
色温度	130
インフラストラクチャ	42, 154
英数字の入力方法	119
映像	129
エコモード	62, 140, 169
オートパワーオフ	167
オートパワーオン (AC)	166

オートパワーオン (COMP1/2)	166
オーバースキャン	132
オプション	106, 166
オフタイマー	140
オンスクリーンメニュー	114
音声	138
温度プロテクタ	191
音量	57, 138

### 【カ行】

解像度	136, 196
拡大	62
画像設定	131
画像送信機能	40
壁色補正	140
カラー	131
カラー方式	168
ガンマ補正	130
キーワード	161
幾何学補正	149
キャリングハンドル	21
吸気口	19
強制エコモード	63
共有フォルダ (ビューワ)	109
クロック周波数	131
言語	145
高音	138
子画面	72
コントラスト	131
コントロールID	165
コントロールバー	104, 106
コンピュータ接続ケーブル	17, 33

### 【サ行】

サイトサーベイ	153
サイドバイサイド	72
サムネイル画面	101
参照	130
色相	131
時刻設定	143
自動調整	56, 166
シャープネス	131
主電源スイッチ	20, 45, 59
情報	169
初期入力選択	168
信号選択	168
信号リスト	126

スイートビジョン		137
ズームレバー	19,	52
スクリーンサイズ	31, 32,	192
スクリーン設定		149
スクリーンタイプ		149
スピーカ	20,	57, 61
ステータスインジケータ	23,	192
スライド画面		101
セキュリティ	75,	161
セキュリティ設定		157
接続端子部	20,	24
設置 (1)		148
設置 (2)		150
セットアップ		139

### 【タ行】

台形補正		139
台形歪み	54,	69
ダイレクトパワーオフ	15,	43
調整		129
チルトフット	19,	53
チルトレバー	19,	53
通信速度		157
通信モード		154
ツール		140
低音		138
ディンターレース		137
電源インジケータ	23,	190
電源コード	17,	43
投写距離	31, 32,	180, 192
投写方法		148
盗難防止用ロック		19
ドメイン		156

### 【ナ行】

入力端子		125
入力端子表示		146
ネットワーク設定		150
ネットワークプロジェクタ		84
ノイズリダクション		137
ノーマルモード	62,	169

### 【ハ行】

バックグラウンド		147
バックグラウンドロゴ		105
バランス		138
ピクチャーインピクチャー		72
ビデオ		136
ビューフ		97
表示位置	73, 132,	139

ファンモード		167
フィルタ時間クリア		171
フィルタの交換		178
フィルタメッセージ		147
フォーカスリング	19,	52
プリセット		129
プログラムタイマー		140
プロジェクター名		152
ベーシック		139
ベーシックメニュー		80
ヘルプ		64
ホワイトバランス		130
本体キーロック		157
本体操作部	19,	23

### 【マ行】

マウス設定		144
マウスレシーバ	18,	67
無線 LAN ユニット	20,	42, 197
メール		156
メッセージ表示		146
メディアサーバ (ビューフ)		112
メニュー設定		146
メニュー表示時間		146
モード		129
モニタ出力		168

### 【ヤ行】

有線 LAN		41
--------	--	----

### 【ラ行】

ランプインジケータ	23,	191
ランプカバー	20,	176
ランプ時間クリア		171
ランプ使用時間	169,	170
ランプの交換		176
ランプモード	62,	140
リセット	131,	171
リモートデスクトップ		90
リモコン	17,	26
リモコンケーブル	17,	29
リモコン受光部	19,	20, 28
リモコン受光部設定		164
レーザーポインタ	26,	58
レンズ		19
レンズキャップ		19
レンズシフト	51,	182
レンズリリリースボタン	19,	183
ログオフ		145
ロゴ	105,	147

## ●商標について

- ・ ViewLight、ビューライトは、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- ・ IBM、PC/AT は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- ・ Macintosh、PowerBook、Mac OS X は、米国 Apple Inc. の登録商標です。
- ・ Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Windows Media Player は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ © 2009, ArcSoft, Inc. All rights reserved.
- ・ IDT、HQV は、米国 Integrated Device Technology, Inc. の登録商標です。
- ・ PJLink 商標は、日本・米国その他の国や地域における登録商標または出願商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

# 保証と修理サービス（必ずお読みください）

## 保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

### ●保証期間

- ・本体：お買い上げ日から1年間です。（ただし添付品は除く）
- ・本体に付属のランプ：次の（1）と（2）の早いほうまでです。
  - （1）お買い上げから6か月間。
  - （2）ランプ残量（[169ページ](#)）が50%になるまで。

## 補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はNEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（電話番号：0120-610-161）にお問い合わせいたします。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（[185ページ](#)）に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」（[204、205ページ](#)）で現象を確認してください。その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

### ●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従ってNEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

### ご連絡していただきたい内容

品名	NEC データプロジェクター
形名	NP3250J / NP2250J / NP1250J / NP3250WJ
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんりメモ	お買い上げ店名	☎ ( ) -
-------	---------	---------

### ●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金の仕組み

- ・ **技術料**  
故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。  
+
- ・ **部品代**  
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。  
+
- ・ **引取費用**  
製品を引き取りするための費用です。

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの  
トータルサポート窓口

## NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

**受付時間** 9:00～18:00 (土・日・祝日、その他特定日を除く)  
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

**ホームページ** <http://www.nec-display.com/support/projector/>

法人様向けユーザーサポートクラブ

**ViewLight CLUB** ビューライトクラブ

**入会金・年会費 無料**



- より「安心」で「快適」に ViewLight をお使いいただくために様々なサポートを行うユーザーサポートクラブです。

**入会方法** 本機に添付しているチラシをご参照ください。

**ホームページ** <http://www.nec-display.com/support/projector/vlclub/>

### 輸出に関する注意事項

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

NECディスプレイソリューションズ株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目13番23号 (MS芝浦ビル)